

## は し が き





この消防年報は、平成26年中における会津若松地方広域市町村圏整備組合の現勢と消防に関する各種資料を収録し、消防防災行政を広く紹介することを目的として編集したものです。






なお、火災・救急・救助の統計については暦年により、その他の関係業務事項については会計年度をもって表していますが、表中年月日を明示したものは、その時点での現況です。












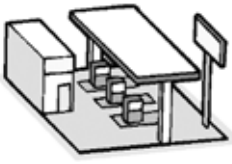
会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部

# 一 目 統 計

			
面 積	人 口	世 帯 数	人 口 密 度
1,992.31km <sup>2</sup> (構成：1市7町2村) 約6.96km <sup>2</sup> (職員一人当り管轄面積)	人口 189,241人 うち男性 90,045人 うち女性 99,196人	70,846世帯	約 94.9人 (1km <sup>2</sup> 当り人口) 約 661.68人 (職員一人当り管轄)

				
署 所	消 防 職 員	消 防 車 両	特 殊 車 両	緊 急 消 防 援 助 隊 登 録 部 隊
消防本部 1 消防署 4 分 署 1 出張所 7	条例定数289人 現員 286人 (ほか短時間 再任用13人) 平均年齢 34.1歳 平均勤続年数 12.9年	ポンプ車 20台 救急車 18台 (うち高規格救急車6台)	水 槽 車 1台 化 学 車 1台 梯 子 車 1台 救助工作車 1台 支 援 車 1台 資材搬送車 1台	救 急 隊 4隊 消 火 隊 4隊 特 殊 装 備 隊 1隊 救 助 隊 1隊 後 方 支 援 隊 2隊

				
火 災	出 火 原 因	火 災 に よ る 死 傷 者	火 災 に よ る 損 害 額	焼 損 面 積
火災件数 57件 (内訳) 建物 39件 林野 2件 車両 6件 その他 10件	1位：こんろ 4件 1位：ストーブ 4件 3位：たばこ 3件 3位：煙突・煙道 3件 3位：たき火 3件	死 者：3人 負 傷 者：15人	96,246 (千円) 1件あたり： 1,689 (千円)	建物床面積： 2,709m <sup>2</sup> 建物表面積： 209m <sup>2</sup> 林野： 15 a

				
救 急	救 助	災 害 通 報 受 理 件 数	防 火 対 象 物	危 険 物 施 設
出動件数 9,142件 搬送人員 8,885人 (搬送人員内訳) 急病 6,045人 交通事故 843人 その他 1,997人	発生件数：112件 救出人員：65人	固定電話 (119) 6,751件 携帯電話 (119) 2,619件 その他 915件	防火対象物数 7,273 対象物 (うち法8条対象物) 2,031 対象物 10階以上の建築物： 29棟	危険物施設数 1,154施設 (内訳) 製造所：11 貯蔵所：813 取扱所：330

※ 平成27年4月1日現在(火災、救急、救助等件数及び災害通報受理件数にあっては平成26年中)

# 目 次

■ 総 括	.....	1
■ 予 防	.....	27
■ 危 険 物	.....	35
■ 火 災	.....	39
■ 警 防	.....	49
■ 救 急	.....	59
■ 機 械	.....	67
■ 通 信	.....	73
■ 消 防 団	.....	85

総  
括

予  
防

危  
険  
物

火  
災

警  
防

救  
急

機  
械

通  
信

消  
防  
団

# ～ 細 目 次 ～

## 総 括

位置及び地勢	1
消防の沿革	2
歴代消防長	13
歴代消防署長	14
面積・人口・世帯数	16
人口の推移	16
一般会計予算	17
消防予算の推移	17
消防庁舎概要	18
消防力の整備指針と現有勢力	19
組合機構図	20
消防職員配置状況	21
消防職員階級別勤続年数	22
消防職員階級別年齢	22
消防職員免許資格等取得状況	24
消防職員教養状況	25
各種相互応援協定	26

## 予 防

予防行政について	28
防火対象物数	29
消防法第8条該当防火対象物数及び防火管理者選任状況	30
立入検査状況	31
階数別防火対象物数	32
消防同意件数	33
消防クラブの状況	33

## 危険物

危険物行政について	35
市町村別危険物施設数	36
類別危険物施設数	37
市町村別危険物施設申請・届出数	38

## 火 災

火災状況	39
1.火災件数の推移	40
2.火災による死者等の状況	40
3.出火原因	41
4.総出火件数	41
5.建物火災用途別内訳	41
6.住宅火災における発火源と出火箇所の関係	42
7.月別火災発生状況	43
8.時間別火災発生状況	43
平成26年火災総括表	44
昭和47年以降の主な火災事例	46

## 警 防

各種災害発生件数の推移	49
地域別災害発生件数	50
署所別災害出動件数	50

月別火災発生件数	51
地域別火災発生状況	51
署所別火災出動状況	51
月別救助発生状況	52
地域別救助発生状況	52
署所別救助出動状況	52
救助件数の推移	53
警戒発生件数の内訳	54
月別警戒発生状況	54
地域別警戒発生状況	55
署所別警戒出動状況	55
磐越自動車道路死亡事故件数	56
緊急消防援助隊	57

## 救 急

救急出動件数及び搬送人員の推移	59
最近10年間の救急出動件数の推移(署管内別)	60
傷病程度別・年齢区分別搬送人員	61
現場到着所要時間別出場件数	62
収容所要時間別搬送人員	62
市町村別救急出場件数	63
市町村別救急搬送人員	63
署所別救急出場件数	64
署所別救急搬送人員	64
応急手当普及啓発状況	65

## 機 械

平成26年度導入車両	67
消防車両等の配置状況	68
消防資器材装備状況	69
配置車両一覧	70

## 通 信

通信指令の現況	73
災害通信体系	74
有・無線通信系統図	75
通信施設一覧	76
災害等通報取扱状況(指令センター)	78
災害等通報取扱状況(会津若松消防本部管内)	79
災害等通報取扱の推移(会津若松消防本部管内)	80
心肺停止状態における口頭指導状況	81
消防案内電話着信度数	82
消防団消防用無線設置状況	83

## 消防団

消防団の現況	85
消防団員数・車両装備状況	86
消防団員報酬額等の現況	86
年齢別消防団員数	87
勤続年数別消防団員数	87

# 会津若松地方広域市町村圏整備組合の概要

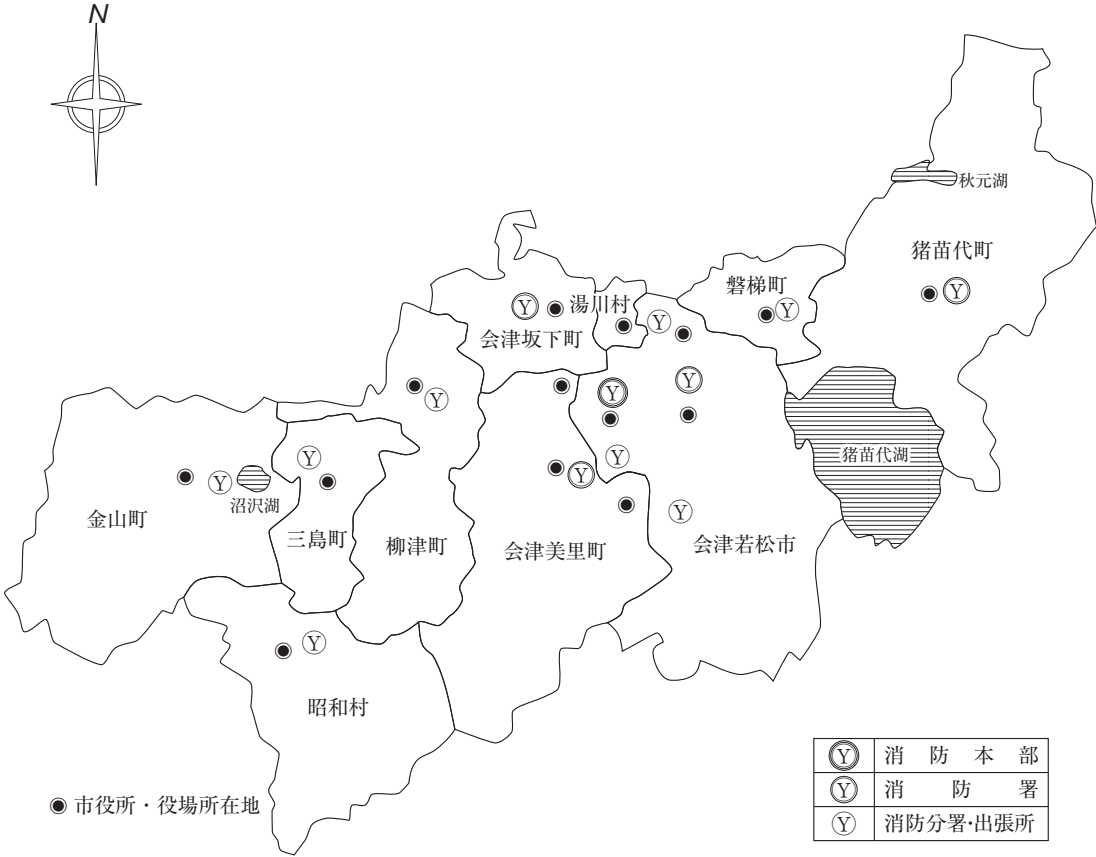
## 位置及び地勢

当組合は、福島県の西部にあり東経139° 56′ 2″、北緯37° 30′ 22″に位置し、会津若松市を拠点都市として、会津若松市、磐梯町、猪苗代町、会津坂下町、湯川村、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津美里町の1市7町2村で構成されている。

圏域の中心部である会津若松市から首都東京まで約300km、県都福島市まで約110kmの地点であり、その面積は福島県総面積13,779.82km<sup>2</sup>の約13.9%を占める1,992.31km<sup>2</sup>を有する。

地勢は、中心部の会津若松市、会津坂下町、湯川村、会津美里町が平坦な会津盆地にあり、盆地の中央を一級河川阿賀川が南北に縦断している。圏域の東部の猪苗代町、磐梯町は古くから唄われる会津磐梯山の麓に位置し、西部の柳津町、三島町、金山町、昭和村は東西に山脈がはしり、豊富な森林、地下水の各資源を数多く有している。また、圏域の東部は日本で4番目の大きさを誇る猪苗代湖に接しており、リゾート地として東北でも有数の観光地でもある。

## 圏域図



# 消 防 の 沿 革

明治時代	明治初年	藩政時代の遺風を踏襲して、各町内に自身番（火消組）を組織
	ㄥ 23年	ポンプ4組、消防組6組を総員260人で組織
	ㄥ 27年	勅令発布により、公設消防組を改組。組頭1人、小頭20人、組員250人を10部に編成し、各部に腕用ポンプ1台を配置
	ㄥ 32年	組頭1人、小頭24人、組員300人で12部に改組
	ㄥ 39年	蒸気ポンプ1台購入配置
	ㄥ 30～45年	腕用ポンプ12台を購入、各部に配置
大正時代	大正 4年	消火器隊を各町内に組織
	ㄥ 5年	消火器隊を義勇消防隊と改称
	ㄥ 6年	ガソリンポンプ1台購入配置
	ㄥ 12年	市内篤家成田太助氏他9人の寄贈により自動車ポンプ1台配置 若松警察署と郵便局との間に火災専用電話設置
昭和前期	昭和14年	勅令により消防組防護団を合併、警防団に改組。警防団に常備消防本部を置く。部長以下14人、自動車ポンプ2台を配置。又団体本部内に庶務部、避難所管理部、警護部、配給部、工作部、消毒部、救護部、交通整理部を置き、全地域を52分団とした。
	ㄥ 18年	警防団本部の組織を改組し、庶務部、救護部、常備消防部の三部制を実施
	ㄥ 19年	消防団本部庁舎建設後援会の後援により、市内栄町210番地に庁舎新築
	ㄥ 22年	勅令により、警防団を消防団に改組
自治体消防時代	ㄥ 23年	消防組織法が施行され、自治体消防として発足、消防法施行される。
	ㄥ 24年	常備消防本部を廃し、消防本部、消防署を設置
	ㄥ 26年	北会津郡、町北町合併
	ㄥ 30年	湊村、一箕村、高野村、神指村、門田村、大戸村、東山村を合併し、会津若松市と改称
	ㄥ 31年	消防本部に消防専用無線電話（中短波）を設置
	ㄥ 32年	職員10人増員、消防長以下44人となる。
	ㄥ 33年	市役所屋上に火災報知用拡声施設を設置（出力240W）
	ㄥ 35年	消防庁舎建設協力会の協力により、旧庁舎を取り壊し庁舎建設に着手 少年消防クラブ誕生
	ㄥ 36年	鉄筋コンクリート2階建の消防庁舎竣工 総工費13,358千円、延面積695.32㎡、敷地面積572.44㎡
	ㄥ 38年	消防職員、消防長以下50人となる。
	ㄥ 39年	消防職員、消防長以下52人となる。専任消防長制度施かれる。 電話自動化（ダイヤル式）により119番設置
	ㄥ 40年	住居表示実施に伴い、消防本部、署の所在地は従来の栄町210番から栄町5番20号となる。 会津若松市消防署西出張所開設 所在地、湯川町5番41号、敷地面積1,712.105㎡、建物延面積169.77㎡ 消防職員、消防長以下59人となる。
	ㄥ 41年	会津若松市消防署の一部改正、6係、1救急隊、1出張所となり、救急業務を開始する。 消防職員、消防長以下66人となる。
ㄥ 42年	会津坂下町及び猪苗代消防団常備部々員の初任教養を実施（委託教養）	

自治体消防時代	昭和43年	猪苗代町消防団常備部々員の委託教養を実施 屈折はしご付消防ポンプ自動車を購入配置 消防職員4人増員、消防長以下70人となる。
	〳 44年	会津坂下町消防団常備部救急要員教養を実施（委託教養） 電話局4局設置に伴い、4局119番増設される。 斎藤号、ライオンズ号入魂式挙行、本部、署に配置 菊地司令補(当時消防士)町北町火災現場へ出動途上殉職、市内自在院にて消防葬を執行
広域消防準備時代	〳 44.12.23	消防職員8人増員、消防長以下78人となる。
	〳 45. 9.12	会津若松地方広域市町村圏促進協議会を結成
	〳 46. 7. 3	会津若松市外13町村が広域圏に指定を受ける。
	〳 46. 7.14	会津若松地方広域市町村圏設定協議書交換～設定（県知事と関係市町村）
	〳 46.11. 5	広域市町村圏の基本構想、基本計画の作成開始
	〳 47. 2.25	会津若松地方広域市町村圏協議会の廃止について各町村の議長に提案方要請するとともに、地方広域市町村圏整備組合の設立について議会に提案方規約を添えて要望した。
	〳 47. 3. 1	会津若松市を除く13町村に対し、消防本部、署、義務設置町村政令指定の内定を受ける。
	〳 47. 3. 7	昭和47年度における消防本部、署の消防施設及び人員整備計画を県消防防災課に提出
広域消防（組合消防）時代	〳 47. 4. 1	福島県指令知第346号により、会津若松地方広域市町村圏整備組合の設立が福島県知事から許可される。 会津若松市を拠点都市として、北会津村、会津坂下町、柳津町、河東村、湯川村、会津高田町、本郷町、新鶴村、三島町、金山町、昭和村、猪苗代町、磐梯町の1市8町5村をもって「会津若松地方広域市町村圏整備組合」が設立され、同日組合消防が発足
	〳 47. 4. 1	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部、署となる。 組合消防の発足に伴い、既設会津坂下町及び猪苗代町消防団常備部（消防自動車2台、救急自動車2台、人員24人）を吸収して1本部1署3出張所（消防自動車8台、救急自動車3台、人員98人）をもって広域消防業務開始 会津若松市消防長 松崎武勇 氏が組合消防発足とともに組合消防長に就任、消防正監に昇格
	〳 47. 4.15	消防組織法第10条の規定により、会津若松市を除く組合構成13町村が自治省告示第106号により消防本部及び消防署を置かなければならない町村に指定
	〳 47. 5.20	日本損害保険協会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	〳 47. 6.15	昭和47年5月22・23日の両日にわたり実施した採用試験により、消防職員56人、事務吏員（女）2人の計58人を採用し、消防職員総数156人となる。
	〳 47.12.25	組合消防署、会津高田出張所開設 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積348.25㎡、工費20,140千円、敷地面積716.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置 組合消防署、昭和分遣所開設 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積110.18㎡、工費6,800千円、敷地面積510.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員3人を配置

広域消防 (組合消防) 時代	昭和48. 1.15	<p>組合消防署、十文字、柳津、金山出張所開設 十文字出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、建築面積315.84㎡、工費19,148千円、敷地面積991.50㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置</p> <p>柳津出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、建築面積189.00㎡、工費11,000千円、敷地面積383.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置</p> <p>金山出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、建築面積189.00㎡、工費10,700千円、敷地面積495.00㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員8人を配置</p>
	ㄥ 48. 2.10	社団法人日本自動車工業会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 48. 3.15	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防署に職員8人、会津高田出張所及び十文字出張所に各7人を増員配備
	ㄥ 48. 4. 1	昭和48年度分第一期消防職員26人を採用し、消防職員総数175人となる。
	ㄥ 48. 7. 1	昭和48年度分第二期消防職員18人を採用し、消防職員総数192人となる。
	ㄥ 49. 3.20	<p>組合消防署、猪苗代出張所、会津坂下出張所開設 猪苗代出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積349.24㎡、工費26,040千円、敷地面積1,027.42㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員17人を配置</p> <p>会津坂下出張所 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積349.24㎡、工費26,940千円、敷地面積813.76㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員15人を配置</p>
	ㄥ 49. 3.30	<p>組合消防署、小松出張所開設 鉄筋コンクリート造一部2階建、延面積316.00㎡、工費22,640千円、敷地面積1,395.50㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員15人を配置</p>
	ㄥ 49. 4. 1	組合消防署、レンジャー隊組織確立
	ㄥ 49. 4. 6	松崎消防長退職に伴い、新消防長 渡辺福利 氏就任
	ㄥ 49. 6.25	フロックマン教育実施される。(6日間)
	ㄥ 49. 8. 9	財団法人日本船舶振興会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 49. 9.20	会津若松地方危険物安全協会から査察広報車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 50.10.26	会津磐梯ライオンズクラブから赤バイ (ホンダCD125K5型) 3台寄贈を受ける。
	ㄥ 50.11.28	東北電力(株)福島支店からレンジャー用訓練塔寄贈を受ける。 訓練用鉄塔建設、A塔18.4m、B塔19.2m
	ㄥ 51. 2. 6	速消車水-II型更新、本署に配備
	ㄥ 51. 3.31	日本損害保険協会から救急自動車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 51. 4. 3	<p>消防署、三島分遣所開設 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積163.62㎡、敷地面積971.20㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、超短波消防専用無線電話装置、人員2人を配置</p>



広域消防（組合消防）時代	昭和51. 4.15	消防署、磐梯分遣所開設 鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積163.62㎡、敷地面積729.37㎡、消防自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台、赤バイ1台、超短波消防専用無線電話装置、人員2人を配置
	ㄥ 51. 5.14	組合消防署、磐梯、三島分遣所合同竣工式挙行（於：会津若松市「今村ビル」）
	ㄥ 52. 7.12	日本消防協会より広報車（バン）1台寄贈を受ける。
	ㄥ 52. 8.31	会津若松市一箕町大字上蚕養字石堂境474番地の5に組合庁舎完成 鉄筋コンクリート造一部5階建、延面積2,458.18㎡、工費334,320千円、敷地面積2,218.632㎡
	ㄥ 52. 9. 8	会津若松地方危険物安全協会より広報車1台寄贈を受ける。 会津若松地方消防設備協会、防火管理者会より広報車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 52. 9.13	白楡会より救急自動車1台寄贈され、組合消防署配備
	ㄥ 52. 9.20	消防署（1階）、消防本部（2階）、新庁舎にて業務開始
	ㄥ 52. 9.28	会津若松地方広域市町村圏整備組合庁舎落成式挙行
	ㄥ 52.10. 1	機構改革により猪苗代、会津坂下、会津高田の各出張所を分署と改称 職員定数212人に改正 消防職員10人採用し、消防職員総数201人となる。
	ㄥ 52.11.26	消防自動車（CD-II型）1台更新、西出張所に配備
	ㄥ 53. 2.24	救助工作車購入、組合消防署に配備
	ㄥ 53. 4. 1	消防職員11人採用し、消防職員総数212人となる。
	ㄥ 53. 4. 3	渡辺消防長退職に伴い、新消防長 芳賀佐蔵 氏就任
	ㄥ 53.10. 1	機構改革により1本部3署1分署8出張所となる。 会津若松消防署、消防署会津高田分署、消防署会津高田分署小松出張所、消防署西、十文字の各出張所 猪苗代消防署、消防署磐梯出張所 会津坂下消防署、消防署柳津、三島、金山、昭和の各出張所と改称
	ㄥ 53.10.23	（財）日本防火協会より9人乗マイクロバス型広報車1台寄贈を受ける。
	ㄥ 53.11.14	超短波無線市町村波第2装置免許許可される。
	ㄥ 54. 2.26	化学消防自動車II型1台購入、会津若松消防署に配備
	ㄥ 54. 3.16	圏域内の既設婦人消防隊をもって、会津若松地方広域婦人消防隊連絡協議会が結成発足する。
	ㄥ 54. 5.15	会津若松地方消防設備協会創立10周年記念事業として広報車（トヨタカーリーナバン）1台寄贈を受ける。
	ㄥ 54. 9.25	ヨークベニマルより救急自動車（II-B型）2台寄贈を受け、会津若松消防署、会津坂下消防署に配備 救急自動車（II-B型）1台購入、猪苗代消防署に配備
ㄥ 54.12.25	消防自動車（CD-II型）3台購入（2台増強、1台更新）会津若松消防署、猪苗代消防署、会津坂下消防署に配備	
ㄥ 55. 7.17	広報車（スバルレオーネ）2台更新、会津若松消防署、同西出張所に配備	
ㄥ 55. 8.23	救急自動車（II-B型）2台更新、会津若松消防署会津高田分署、会津坂下消防署昭和出張所に配備	
ㄥ 55.11.26	消防自動車（CD-II型）2台、（CD-I型）1台購入（2台更新、1台増強）会津若松消防署会津高田分署、同十文字出張所、会津坂下消防署柳津出張所に配備	
ㄥ 56. 4. 1	芳賀消防長退職に伴い、新消防長 榎屋和夫 氏就任	

広域消防（組合消防）時代	昭和56. 6.23	有限会社ナガミネよりミニ査察車（スバルレックス）2台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 56. 8. 7	広報車（スバルレオーネ）2台更新、会津若松消防署会津高田分署、猪苗代消防署に配備
	ㄥ 56. 8.25	救急自動車（Ⅱ-B型）2台更新、会津若松消防署十文字出張所、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	ㄥ 56.10. 2	会津坂下消防署増築、鉄筋コンクリート造2階建、延面積481.49㎡、建築面積261.09㎡となる。
	ㄥ 56.10.29	消防自動車（CD-Ⅰ型）1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備
	ㄥ 57. 2.22	林野火災特別地域対策事業により、2地域が福島県より指定を受ける。 会津両沼地区（会津坂下町、柳津町、三島町、金山町、昭和村、会津高田町、会津本郷町、新鶴村） 会津東部地区（猪苗代町、磐梯町、会津若松市、河東町）
	ㄥ 57. 2.28	住居表示の変更により、消防本部及び会津若松消防署の住所が会津若松市中央三丁目10番12号となる。
	ㄥ 57. 3.15	会津若松地方防火管理者会より、ビデオカメラ等一式寄贈を受け消防本部に配備
	ㄥ 57. 4. 1	会津若松市より派遣を命ぜられていた62人の職員の派遣を解く。 消防職員定数224人となる。 消防職員12人増員し、消防職員総数224人となる。
	ㄥ 57. 8. 2	広報車（スバルレオーネ）2台更新、会津坂下消防署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	ㄥ 57. 8.31	救急自動車（Ⅱ-B型）2台更新、会津若松消防署西出張所、会津若松消防署会津高田分署小松出張所に配備
	ㄥ 57.10. 1	機構改革により本部に予防課を新設、1本部（総務課・予防課・消防課）3署1分署8出張所となる。
	ㄥ 57.10.28	消防指揮車（トヨタダイナ）1台購入、会津若松消防署に配備
	ㄥ 57.12.20	消防自動車（CD-Ⅰ型）1台更新、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	ㄥ 57.12.25	猪苗代消防署増築 鉄筋コンクリート造2階建、延面積488.83㎡、建築面積346.54㎡となる。
	ㄥ 58. 4. 1	柵屋消防長退職に伴い、新消防長 高島好昭 氏就任
	ㄥ 58. 7.25	広報車（スバルレオーネ）2台更新、会津坂下消防署金山出張所、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	ㄥ 58. 9. 4	（財）日本消防協会より電源照明車（トヨエース）寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 58. 9. 8	救急自動車（Ⅱ-B型）2台更新、会津坂下消防署金山出張所、猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	ㄥ 58.10.24	消防自動車（CD-Ⅱ型）1台更新、会津若松消防署会津高田分署小松出張所に配備
ㄥ 59. 3.27	（財）日本消防協会より救急自動車（Ⅱ-B型）1台寄贈を受け、会津坂下消防署三島出張所に配備	
ㄥ 59. 7. 4	小型動力ポンプ（B-2型）1台購入、会津若松消防署に配備	
ㄥ 59. 9. 3	救急自動車（Ⅱ-B型）1台更新、会津若松消防署に配備	
ㄥ 59.12.24	消防自動車（CD-Ⅱ型）2台更新、会津坂下消防署三島出張所、猪苗代消防署磐梯出張所に配備	

広域消防（組合消防）時代	昭和59.12.25	広報車（スバルレオーネ）2台更新、会津若松消防署会津高田分署小松出張所、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	ㄥ 60. 3.29	会津坂下消防署、猪苗代消防署、会津若松消防署会津高田分署、電飾看板新設
	ㄥ 60. 4. 1	高島消防長退職に伴い、新消防長 梶屋和夫 氏就任
	ㄥ 60. 4.24	福島県共済農業共同組合から救急自動車（Ⅱ-B型）1台寄贈を受け猪苗代消防署に配備
	ㄥ 60. 5. 8	会津若松地方危険物安全協会創立30周年記念事業としてマイクロバス（トヨタコースター 29人乗）1台寄贈を受け消防本部に配備
	ㄥ 60. 6.22	広報車（スバルレオーネ）2台更新、猪苗代消防署磐梯出張所、会津坂下消防署三島出張所に配備
	ㄥ 60.10. 9	消防自動車（CD-Ⅰ型）2台更新、会津若松消防署、会津坂下消防署に配備
	ㄥ 60.10.21	会津若松ロータリークラブより消防本部旗一式寄贈を受ける。
	ㄥ 60.12.16	会津坂下消防署昭和出張所増改築、鉄筋コンクリート造平屋建、建築面積133.11㎡となる。
	ㄥ 61. 2.21	会津若松消防署西出張所移転用地として9,187㎡を取得する。
	ㄥ 61. 4.25	普通乗用車1台更新、消防本部に配備
	ㄥ 61. 5. 8	広報車（スバルレオーネ）2台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 61. 8.30	日本消防協会より救急自動車（Ⅱ-B型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 61. 9. 3	星源孝 氏より水槽付消防ポンプ自動車（水-Ⅱ型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 61.12. 1	会津若松南ロータリークラブよりレスキュー隊旗一式寄贈を受け、会津若松消防署西出張所に配備
	ㄥ 61.12.10	消防自動車（BD-Ⅰ型）1台更新、猪苗代消防署に配備 消防自動車（水-Ⅱ型）1台購入、会津若松消防署西出張所に配備
	ㄥ 62. 3. 4	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部並びに湯川村消防団が自治省消防庁長官より表彰（竿頭綬）される。
	ㄥ 62. 3.25	会津若松消防署西出張所の移転に伴う会津若松消防署城南分署落成披露式を行う。
	ㄥ 62. 4. 1	会津若松消防署城南分署開設 鉄筋コンクリート及び鉄骨造一部5階建、敷地面積10,260㎡、建築面積465.97㎡、延面積847.60㎡、消防車両6台、人員17人配置、1本部3署2分署7出張所となる。
	ㄥ 62. 5.11	広報車1台購入、会津若松消防署に配備
	ㄥ 62. 6. 5	（財）日本防火協会より防火広報車（トヨタハイエース）1台寄贈を受ける。
	ㄥ 62. 6. 9	広報車（スバルレオーネ）1台更新、猪苗代消防署に配備
	ㄥ 62. 9. 9	山ノ内製薬株式会社より救急自動車（日産キャラバン）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 62.10.26	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津若松消防署会津高田分署に配備
	ㄥ 62.12.10	水槽付救助工作車（日野）2台購入、会津坂下消防署、猪苗代消防署に配備
	ㄥ 62.12.17	30m級はしご付消防自動車を購入、会津若松消防署に配備
ㄥ 62.12.26	30m級はしご付消防自動車納入披露、祝賀式を行う。	
ㄥ 63. 6.29	広報車（スバルレオーネ）1台更新、会津坂下消防署に配備	
ㄥ 63. 7.25	会津スバル自動車株式会社よりミニ査察車（スバルレックスコンビ）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備	

広域消防（組合消防）時代	昭和63. 8. 1	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 63. 9.29	消防自動車（CD-Ⅱ型）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 63.12.27	救助工作車1台購入、会津若松消防署に配備
	平成元. 3. 1	会津若松市はしご車購入後援会より広報車（スバルレオーネ）1台寄贈を受け会津若松消防署に配備
	〳 元. 4. 1	榎屋消防長退職に伴い、新消防長 鈴木忠三 氏就任
	〳 元. 8.30	（財）日本防火協会より救急自動車（Ⅱ-B型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	〳 元.11.15	消防自動車（CD-Ⅱ型4WD）1台更新、会津若松消防署に配備 救急自動車（Ⅱ-B型）1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 2. 4. 1	鈴木消防長退職に伴い、新消防長 宮本昇 氏就任
	〳 2. 9.14	広報車（スバルレオーネ4WD）1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 2.12.25	消防自動車（CD-Ⅱ型4WD）1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 3. 1.25	（社）日本損害保険協会より救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台寄贈を受け、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 3. 7. 2	広報車（マツダファミリア4WD）1台更新、会津若松消防署会津高田分署に配備
	〳 3.10.11	（社）日本損害保険協会より化学消防自動車（Ⅱ型）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	〳 3.12. 6	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）2台更新、会津若松消防署会津高田分署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 4. 3.30	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	〳 4. 4. 1	消防職員 9人採用、消防職員総数233人となる。
	〳 4. 6.16	会津若松地方防火管理者会より消防業務用連絡車（トヨタビスタ4WD）1台寄贈を受け、消防本部に配備
	〳 4. 8.21	広報車（トヨタカローラ4WD）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 4. 8.25	会津若松地方広域消防基本計画が制定される。 職員定数289人に改正
	〳 4.11.30	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	〳 5. 1.20	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 5. 4. 1	宮本消防長退職に伴い、新消防長 小檜山秀政 氏就任 消防職員16人採用、消防職員総数246人となる。
	〳 5. 7.16	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 5.10. 1	勤務時間 週40時間体制実施される。
	〳 5.10.20	広報車（トヨタカローラ4WD）2台更新、会津坂下消防署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 5.10.26	消防自動車（CD-Ⅰ型4WD）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 6. 3.23	消防緊急通信指令システム構築、消防本部通信指令室を城南分署2階に移転
	〳 6. 4. 1	小檜山消防長退職に伴い、新消防長 三星市三 氏就任 消防職員12人採用、消防職員総数257人となる。 機構改革により通信指令室が消防課より独立、1本部（総務課、予防課、消防課、通信指令室）3署2分署7出張所となる。

広域消防（組合消防）時代	平成 6. 8.25	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 6. 8.30	広報車（トヨタカルディナ4WD）2台更新、会津坂下消防署金山出張所、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 6. 9.13	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備
	〳 6.10. 3	消防本部総務課、予防課、消防課、会津若松消防署の電話をダイヤルイン方式に切り替える。
	〳 6.10.20	消防無線中継システム運用開始、背炙り山、惣山に無線中継所を構築
	〳 6.12. 9	消防自動車（CD-I型4WD）1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備
	〳 6.12.27	水槽付消防自動車（水Ⅰ-B型）2台更新、会津若松消防署会津高田分署、会津若松消防署十文字出張所に配備
	〳 7. 1. 1	三星消防長退職に伴い、新消防長 鈴木茂 氏就任
	〳 7. 2.10	小型動力ポンプ付水槽車（Ⅱ型）1台購入、会津若松消防署に配備
	〳 7. 2.28	福島総合警備保障より広報車（トヨタカルディナ4WD）1台寄贈を受け、会津若松消防署会津高田分署小松出張所に配備
	〳 7. 4. 1	消防職員12人採用、消防職員総数267人となる。 機構改革により会津高田分署が署に格上げ、1本部（総務課、予防課、消防課、通信指令室）4署1分署7出張所となる。
	〳 7. 4.27	J A福島共済連から救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	〳 7. 8.31	広報車（スバルレガシーワゴン4WD）2台更新、会津坂下消防署柳津出張所、会津高田消防署に配備
	〳 7. 9. 1	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）1台更新、猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	〳 8. 1.19	高規格救急自動車（4WD）1台購入、会津若松消防署に配備
	〳 8. 1.26	水槽付消防自動車（水Ⅰ-B型）1台更新、会津高田消防署小松出張所に配備
	〳 8. 3.28	調査車（トヨタハイエース4WD）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 8. 3.29	消防自動車（CD-I型4WD）1台更新、会津坂下消防署三島出張所に配備
	〳 8. 4. 1	消防職員9人採用、消防職員総数275人となる。
	〳 8. 7.24	乗用車（トヨタクラウン4WD）1台更新、消防本部に配備
	〳 8. 8. 5	組合庁舎敷地内の訓練塔撤去
	〳 8. 8. 6	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）2台更新、会津坂下消防署、会津坂下消防署三島出張所に配備
	〳 8. 8. 8	人員搬送車（マイクロバス29人乗）1台更新、消防本部に配備
	〳 8. 9. 2	広報車（スバルレガシーワゴン、レオーネ4WD）2台更新、猪苗代消防署磐梯出張所、会津坂下消防署三島出張所に配備
	〳 8. 9.30	会津若松消防署城南分署に車庫（97.2㎡）新築
	〳 8.11.18	住居表示の変更により、消防本部通信指令室・会津若松消防署城南分署の住所が会津若松市古川町9番21号になる。
	〳 8.12.25	水槽付消防自動車（水Ⅱ型）1台更新、会津若松消防署に配備 消防自動車（CD-I型4WD）1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 8.12.30	福島県総合情報システム運用開始
〳 9. 1.30	圏域内の119番通報を通信指令室に集約	

広域消防（組合消防）時代	平成 9. 8.18	広報車（トヨタカルディナ4WD）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 9.12.17	高規格救急自動車（4WD）1台購入、猪苗代消防署に配備
	〳 9.12.25	消防自動車（C D-I型4WD）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 10. 4. 1	鈴木消防長退職に伴い、新消防長 川島仁 氏就任 消防職員4人採用、消防職員総数274人となる。 携帯電話、自動車電話等から119番通報受理運用開始
	〳 10. 4.23	（財）日本消防協会より救急自動車（II-B型4WD）1台寄贈、会津高田消防署小松出張所に配備
	〳 10. 7.23	広報車（トヨタカルディナ4WD）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 10.12.17	消防自動車（C D-I型4WD）1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 11. 5.31	会津若松地方消防設備協会より広報車（トヨタガイア4WD）1台寄贈、消防本部に配備
	〳 11.10. 1	猪苗代消防署新築移転（猪苗代町字梨木西19番1） 鉄筋コンクリート造2階建、敷地面積3,438.41㎡、延面積1,168.41㎡
	〳 11.10. 8	猪苗代消防署新築移転に伴う落成披露式を行う。
	〳 11.11.30	救急自動車（II-B型4WD）1台更新、会津高田消防署に配備
	〳 11.12.20	消防自動車（水-II型）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 11.12.31	西暦2000年問題（Y2K）対策のため、全職員が署所に待機して特別警戒体制をとる。
	〳 12. 4. 1	川島消防長退職に伴い、新消防長 佐々木通 氏就任。 消防職員3人採用、消防職員総数275人となる。
	〳 12. 7.31	救急自動車（II-B型4WD）1台更新、会津坂下消防署に配備
	〳 12.12.25	水槽付消防自動車（水 I-B型）1台更新、猪苗代消防署に配備
	〳 13. 4. 1	消防職員1人採用、消防職員総数274人となる。
	〳 13.10.29	救急自動車（II-B型4WD）1台更新、会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 14. 4. 1	佐々木消防長退職に伴い、新消防長 小川久芳 氏就任 消防職員3人採用、消防職員総数273人となる。
	〳 14.10.21	資機材搬送車1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 14.10.23	高規格救急自動車（4WD）1台購入、会津坂下消防署に配備
	〳 15. 4. 1	消防職員5人採用、消防職員総数274人となる。
	〳 15. 7. 1	小川消防長退職に伴い、新消防長 齋藤精一 氏就任
	〳 15. 9.18	救急自動車（II-B型4WD）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	〳 15.11.13	高規格救急自動車（4WD）1台購入、会津高田消防署に配備
	〳 15.11.28	広報車（三菱パジェロ4WD）1台購入、猪苗代消防署に配備 広報車（ダイハツマックス4WD）1台購入、会津若松消防署に配備
	〳 15.12.25	消防ポンプ自動車（水 I-A型）1台更新、会津坂下消防署に配備
〳 16. 4. 1	消防職員6人採用、消防職員総数274人となる。 機構改革により消防本部において課係制を廃し、グループ制を導入、1本部（総務グループ、予防グループ、警防グループ、指令グループ）4署1分署7出張所となる。 通信指令室を通信指令センターと改称 管内基幹4署予防係に日勤者を配置	
〳 16.11. 1	北会津郡北会津村の会津若松市への編入合併に伴い、会津高田消防署小松出張所が会津若松消防署小松出張所となる。	

広域消防（組合消防）時代	平成16. 9.29	広報車（スバルプレオ4WD）2台購入、会津若松消防署、会津坂下消防署に配備
	〳 17. 3. 1	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）2台更新、猪苗代消防署、会津坂下消防署金山出張所に配備
	〳 17. 3. 8	高規格救急自動車（4WD）2台更新、会津若松消防署、猪苗代消防署に配備
	〳 17. 4. 1	消防職員4人採用、消防職員総数273人となる。
	〳 17. 5.20	会津若松地方危険物安全協会より災害対応指揮車（トヨタ ハイラックスサーフ）1台寄贈、会津若松消防署に配備
	〳 17. 5.20	会津若松消防署配備の広報車（スバルプレオ4WD）を猪苗代消防署に配置替
	〳 17. 8.25	（財）日本宝くじ協会より消火・通報訓練車（マツダ）1台寄贈、消防本部に配備
	〳 17.10. 1	大沼郡会津高田町・大沼郡新鶴村・大沼郡会津本郷町の2町1村が合併し会津美里町となる。この合併に伴い会津高田消防署が会津美里消防署となる。
	〳 17.11. 1	河沼郡河東町の会津若松市への編入合併
	〳 18. 4. 1	消防職員10人採用、消防職員総数274人となる。
	〳 18.10. 1	消防職員1人採用、消防職員総数274人となる。 機構改革により2部制から3部制とする。
	〳 18.10.31	広報車（スバルプレオ4WD）1台更新、会津美里消防署に配備
	〳 18.12. 5	救急自動車（Ⅱ-B型4WD）2台更新、会津若松消防署及び猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	〳 18.12.13	消防自動車（CD-I型4WD）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 19. 4. 1	齋藤消防長人事異動に伴い、新消防長 二瓶勝 氏就任 消防職員16人採用、消防職員総数280人となる。
	〳 19. 9. 1	会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部、会津若松市北会津町中荒井字諏訪前11番地 会津若松市役所北会津支所2階に移転
	〳 19.10.26	救助工作車（Ⅱ型）更新、城南分署に配備
	〳 20. 3. 4	高規格救急自動車（4WD）日本損害保険協会より寄贈。城南分署に配備
	〳 20. 4. 1	二瓶消防長退職に伴い、新消防長 鈴木新一郎 氏就任 消防職員17人採用、消防職員総数281人となる。
	〳 20.12.25	消防自動車（CD-I型4WD）1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	〳 21. 1.28	普通救急自動車（4WD）1台更新 会津若松消防署小松出張所に配備
	〳 21. 4. 1	消防職員18人採用、消防職員総数282人となる。
	〳 21. 9.30	広報車（ダイハツテリオスキッド4WD）2台更新、会津若松消防署十文字出張所及び会津坂下消防署昭和出張所に配備
	〳 22. 3.19	消防自動車（CD-I型4WD）1台更新、会津若松消防署に配備
	〳 22. 4. 1	鈴木消防長退職に伴い、新消防長 桑原常義 氏就任 消防職員16人採用、消防職員総数287人となる。
	〳 22. 8. 6	指揮車（三菱パジェロ4WD）2台購入、会津坂下消防署及び会津美里消防署に配備
〳 22. 9.10	広報車（ダイハツテリオスキッド4WD）1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備	
〳 23. 2.17	消防自動車（CD-I型4WD）1台更新、会津坂下消防署金山出張所に配備	
〳 23. 3. 3	普通救急自動車（4WD）1台更新 会津若松消防署十文字出張所に配備	
〳 23. 4. 1	桑原消防長退職に伴い、新消防長 山内志津夫 氏就任 消防職員14人採用、消防職員総数282人となる。 消防本部において課制への機構改革により、1本部（総務課、予防課、警防課、指令課）4署1分署7出張所となる。	

広域消防 (組合消防) 時代	平成23. 4. 1	消防通信指令に関する事務を共同して管理・執行することを目的として、喜多方地方広域市町村圏組合と「会津若松地方及び喜多方地方消防通信指令事務協議会」を設置
	ㄥ 23. 8.17	指揮車（三菱パジェロ4WD）1台更新、会津若松消防署城南分署に配備
	ㄥ 23.10.21	広報車（ダイハツテリオスキッド4WD）3台更新、会津若松消防署小松出張所、会津坂下消防署柳津出張所、会津坂下消防署三島出張所に配備
	ㄥ 23.11.25	普通救急自動車（4WD）1台更新、会津坂下消防署柳津出張所に配備
	ㄥ 24. 3. 1	高機能消防指令システムを導入し、会津若松地方・喜多方地方消防指令センターの運用開始
	ㄥ 24. 3.27	消防自動車（CD- I 型4WD）1台更新、会津若松消防署十文字出張所に配備
	ㄥ 24. 4. 1	山内消防長退職に伴い、新消防長 六角篤 氏就任 消防職員17人採用、消防職員総数288人となる。
	ㄥ 24. 4. 5	J A 共済連福島より高規格救急自動車（4WD）1台寄贈を受け、会津若松消防署に配備
	ㄥ 24. 8.17	広報車（スズキジムニー4WD）1台更新、猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	ㄥ 25. 3.21	水槽付消防自動車（水 I-B）1台更新、会津美里消防署に配備
	ㄥ 25. 3.25	化学消防自動車（Ⅱ型）1台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 25. 4. 1	六角消防長退職に伴い、新消防長 平岡孝一郎 氏就任 消防職員17人採用、消防職員総数288人となる。 機構改革により3部制から2部制とする。 会津若松消防署城南分署に消防本部訓練センターを設立
	ㄥ 25. 8. 9	広報車（トヨタ サクシード）1台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 25.10.25	高規格救急自動車（4WD）2台更新、猪苗代消防署及び会津坂下消防署に配備
	ㄥ 25.11. 6	30m級はしご付消防自動車を26年ぶりに更新
	ㄥ 25.12.24	消防自動車（CD- I 型4WD）2台更新、会津若松消防署小松出張所及び猪苗代消防署磐梯出張所に配備
	ㄥ 26. 4. 1	平岡消防長退職に伴い、新消防長 小田切秀夫 氏就任 消防職員20人採用、消防職員総数287人となる。
	ㄥ 26. 8.27	乗用車（トヨタ カローラフィールダーハイブリッド）1台更新、消防本部に配備
	ㄥ 26.10.29	広報車（トヨタ カローラフィールダー）1台更新、会津若松消防署に配備
	ㄥ 27. 4. 1	小田切消防長退職に伴い、新消防長 築取正喜 氏就任 消防職員15人採用、消防職員総数286人となる。



# 歴 代 消 防 長

歴 代	組合発足後	氏 名	在 任 期 間
初代		横 山 武	昭和24年11月1日 ~ 昭和27年3月27日
2代		村 井 八 郎	昭和27年3月28日 ~ 昭和31年3月27日
3代		横 山 武	昭和31年3月28日 ~ 昭和39年7月31日
4代		矢 部 七 郎	昭和39年8月1日 ~ 昭和45年4月4日
5代	初代	松 崎 武 勇	昭和45年4月5日 ~ 昭和49年4月5日
6代	2代	渡 辺 福 利	昭和49年4月6日 ~ 昭和53年4月2日
7代	3代	芳 賀 佐 蔵	昭和53年4月3日 ~ 昭和56年3月31日
8代	4代	柗 屋 和 夫	昭和56年4月1日 ~ 昭和58年3月31日
9代	5代	高 島 好 昭	昭和58年4月1日 ~ 昭和60年3月31日
10代	6代	柗 屋 和 夫	昭和60年4月1日 ~ 平成元年3月31日
11代	7代	鈴 木 忠 三	平成元年4月1日 ~ 平成2年3月31日
12代	8代	宮 本 昇	平成2年4月1日 ~ 平成5年3月31日
13代	9代	小檜山 秀 政	平成5年4月1日 ~ 平成6年3月31日
14代	10代	三 星 市 三	平成6年4月1日 ~ 平成6年12月31日
15代	11代	鈴 木 茂	平成7年1月1日 ~ 平成10年3月31日
16代	12代	川 島 仁	平成10年4月1日 ~ 平成12年3月31日
17代	13代	佐々木 通	平成12年4月1日 ~ 平成14年3月31日
18代	14代	小 川 久 芳	平成14年4月1日 ~ 平成15年6月30日
19代	15代	齋 藤 精 一	平成15年7月1日 ~ 平成19年3月31日
20代	16代	二 瓶 勝	平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日
21代	17代	鈴 木 新 一 郎	平成20年4月1日 ~ 平成22年3月31日
22代	18代	桑 原 常 義	平成22年4月1日 ~ 平成23年3月31日
23代	19代	山 内 志 津 夫	平成23年4月1日 ~ 平成24年3月31日
24代	20代	六 角 篤	平成24年4月1日 ~ 平成25年3月31日
25代	21代	平 岡 孝 一 郎	平成25年4月1日 ~ 平成26年3月31日
26代	22代	小 田 切 秀 夫	平成26年4月1日 ~ 平成27年3月31日
27代	23代	築 取 正 喜	平成27年4月1日 ~ 現 在

# 歴 代 消 防 署 長

署 歴代	会津若松消防署	会津坂下消防署	猪苗代消防署	会津美里消防署 (旧会津高田消防署)
初 代	斎 藤 勇 昭和24年11月1日	桜 井 恒 夫 昭和53年10月1日	箭 内 栄 一 昭和53年10月1日	古 賀 功 平成7年4月1日
2 代	下 重 武 勇 昭和27年9月6日	辻 沢 清 一 昭和57年10月1日	小 檜 山 秀 政 昭和58年4月1日	中 野 庄 司 平成11年4月1日
3 代	矢 部 七 郎 昭和31年11月1日	宮 本 昇 昭和60年8月1日	越 田 長 喜 昭和61年4月1日	内 川 剛 平成12年4月1日
4 代	小 沼 賢 輔 昭和39年8月1日	若 狭 春 生 平成元年4月1日	川 島 仁 昭和63年4月1日	佐々木 藤 吉 平成14年4月1日
5 代	栗 田 嘉 一 昭和41年4月1日	山 田 昭 夫 平成4年4月1日	白 井 隆 平成2年4月1日	武 藤 英 二 平成16年4月1日
6 代	松 崎 武 勇 昭和43年12月1日	渡 部 津 知 江 平成5年4月1日	渡 部 守 男 平成4年4月1日	渡 部 孝 雄 平成18年4月1日
7 代	渡 辺 福 利 昭和49年4月6日	若 狭 春 生 平成8年4月1日	藤 原 裕 喜 平成6年4月1日	渡 部 幸 一 平成20年4月1日
8 代	芳 賀 佐 蔵 昭和53年4月3日	白 井 隆 平成11年4月1日	山 田 昭 夫 平成9年4月1日	雪 野 耕 一 平成21年4月1日
9 代	小 檜 山 秀 政 昭和53年10月1日	山 田 昭 夫 平成12年4月1日	佐 藤 茂 行 平成12年4月1日	田 崎 芳 彦 平成22年4月1日
10代	宮 本 昇 昭和58年4月1日	野 崎 孝 一 郎 平成14年4月1日	藤 原 裕 喜 平成14年2月1日	飯 山 義 昭 平成23年4月1日
11代	辻 沢 清 一 昭和60年8月1日	中 野 庄 司 平成16年4月1日	筒 井 邦 雄 平成15年4月1日	松 林 幸 一 平成24年4月1日
12代	小 檜 山 秀 政 平成元年4月1日	渡 部 進 平成20年4月1日	大 竹 正 之 平成16年4月1日	小 柴 忠 雄 平成25年4月1日
13代	三 星 市 三 平成2年4月1日	齋 藤 和 男 平成21年4月1日	安 部 寛 平成18年4月1日	大 橋 賢 介 平成26年4月1日
14代	川 島 仁 平成6年4月1日	三 瓶 千 恵 雄 平成22年4月1日	星 野 常 喜 平成19年4月1日	関 本 光 則 平成27年4月1日
15代	渡 部 守 男 平成9年4月1日	新 井 田 順 一 平成23年4月1日	齋 藤 利 衛 平成20年4月1日	
16代	白 井 隆 平成12年4月1日	村 岡 建 男 平成24年4月1日	六 角 篤 平成21年4月1日	
17代	山 田 昭 夫 平成14年4月1日	大 八 木 健 弘 平成25年4月1日	雪 野 耕 一 平成22年4月1日	
18代	藤 原 裕 喜 平成15年4月1日	星 健 司 平成26年4月1日	村 岡 建 男 平成23年4月1日	
19代	筒 井 邦 雄 平成16年4月1日	諏 訪 和 哉 平成27年4月1日	築 取 正 喜 平成24年4月1日	
20代	佐々木 藤 吉 平成17年4月1日		由 井 昇 平成25年4月1日	

署 歴代	会津若松消防署	会津坂下消防署	猪苗代消防署	会津美里消防署 (旧会津高田消防署)
21代	五ノ井 義 次 平成18年 4月 1日		山 口 隆 博 平成26年 4月 1日	
22代	佐 藤 孝 喜 平成20年 4月 1日			
23代	六 角 篤 平成22年 4月 1日			
24代	雪 野 耕 一 平成23年 4月 1日			
25代	齋 藤 吉 喜 平成24年 4月 1日			
26代	築 取 正 喜 平成25年 4月 1日			
27代	大八木 健 弘 平成26年 4月 1日			
28代	岩 崎 伸 平成27年 4月 1日			

凡 例	
上 段	氏 名
下 段	就任年月日

# 面積・人口・世帯数

平成27年4月1日現在

区分 市町村名	面積 (km <sup>2</sup> )	人口			世帯数 (世帯)
		計(人)	男(人)	女(人)	
計	1992.31	189,241	90,045	99,196	70,846
会津若松市	383.03	121,842	57,866	63,976	48,199
磐梯町	59.69	3,520	1,685	1,835	1,111
猪苗代町	395.00	14,856	7,117	7,739	5,029
会津坂下町	91.65	16,307	7,795	8,512	5,430
湯川村	16.36	3,170	1,488	1,682	943
柳津町	176.07	3,597	1,755	1,842	1,222
三島町	90.83	1,680	802	878	699
金山町	293.97	2,128	1,003	1,125	988
昭和村	209.34	1,296	623	673	583
会津美里町	276.37	20,845	9,911	10,934	6,642

# 人口の推移

年別	世帯数 (世帯)	人口			対前年率 (%)
		計(人)	男(人)	女(人)	
H10. 1. 1	71,089	223,014	107,109	115,905	△ 1.06
H11. 1. 1	71,463	221,832	106,503	115,329	△ 0.53
H12. 4. 1	71,354	219,503	105,266	114,237	△ 1.05
H13. 4. 1	71,409	218,267	104,639	113,628	△ 0.56
H14. 4. 1	71,701	216,890	103,868	113,022	△ 0.63
H15. 4. 1	71,999	215,388	103,068	112,320	△ 0.69
H16. 4. 1	73,395	214,609	102,953	111,656	△ 0.36
H17. 4. 1	72,510	211,692	101,045	110,647	△ 1.36
H18. 4. 1	71,280	209,141	99,609	109,532	△ 1.21
H19. 4. 1	71,300	206,166	98,091	108,075	△ 1.42
H20. 4. 1	71,606	204,057	97,036	107,021	△ 1.02
H21. 4. 1	71,848	202,179	96,073	106,106	△ 0.92
H22. 4. 1	71,850	200,149	95,045	105,104	△ 1.00
H23. 4. 1	74,404	200,612	95,802	104,810	0.23
H24. 4. 1	70,758	195,957	93,072	102,885	△ 2.32
H25. 4. 1	70,610	193,606	91,979	101,627	△ 1.20
H26. 4. 1	70,819	191,525	91,136	100,389	△ 1.07
H27. 4. 1	70,846	189,241	90,045	99,196	△ 1.19

# 一般会計予算

歳入

(単位：千円)

款	平成27年度 予算額	構成比 (%)	平成26年度 予算額	構成比 (%)	比較
1 分担金及び負担金	4,531,487	82.723%	4,590,799	85.946%	△ 59,312
2 使用料及び手数料	259,505	4.737%	265,992	5.037%	△ 6,487
3 県支出金	140	0.003%	18	0.000%	122
4 国庫支出金	53,410	0.975%	1,775	0.034%	51,635
5 財産収入	4,004	0.073%	2,192	0.042%	1,812
6 寄付金	1	0.000%	1	0.000%	0
7 繰入金	563,250	10.282%	350,499	6.637%	212,751
8 繰越金	10,987	0.201%	9,510	0.180%	1,477
9 諸収入	40,796	0.745%	34,219	0.648%	6,577
10 組合債	14,300	0.261%	25,600	0.485%	△ 11,300
歳入合計	5,477,880	100.000%	5,280,605	100.000%	197,275

歳出

(単位：千円)

款	平成27年度 予算額	構成比 (%)	平成26年度 予算額	構成比 (%)	比較
1 議会費	4,318	0.079%	4,441	0.084%	△ 123
2 総務費	122,228	2.231%	114,835	2.175%	7,393
3 民生費	67,708	1.236%	65,153	1.234%	2,555
4 衛生費	2,043,352	37.302%	1,673,634	31.694%	369,718
5 消防費	3,036,738	55.436%	3,207,880	60.748%	△ 171,142
6 公債費	192,740	3.519%	203,662	3.857%	△ 10,922
7 予備費	10,796	0.197%	11,000	0.208%	△ 204
歳出合計	5,477,880	100.000%	5,280,605	100.000%	197,275

## 消防予算の推移

(単位：千円)

年度	会津若松地方広域 市町村圏整備組合 一般会計予算額	消防予算額 (公債費、予備費含む)	一般会計予算額 に対する消防予 算額割合 (%)	消防予算額に対する額					
				消防職員		人口 (円)		世帯 (円)	
				職員数	一人当たり	人口	一人当たり	世帯数	一世帯当たり
10	2,977,869	2,863,180	96.15%	274	10,450	223,014	12,839	71,089	40,276
11	3,068,751	2,961,783	96.51%	274	10,809	221,832	13,351	71,463	41,445
12	2,930,012	2,764,426	94.35%	275	10,052	219,503	12,594	71,354	38,742
13	2,851,389	2,708,271	94.98%	274	9,884	220,672	12,273	72,297	37,460
14	2,945,423	2,789,424	94.70%	273	10,218	216,890	12,861	71,704	38,902
15	2,934,980	2,788,374	95.00%	274	10,177	215,388	12,946	71,999	38,728
16	2,878,427	2,740,476	95.21%	274	10,002	214,609	12,770	73,395	37,339
17	4,467,890	2,648,859	59.29%	273	9,703	211,692	12,513	72,510	36,531
18	2,857,599	2,725,965	95.39%	274	9,949	208,215	13,092	71,058	38,363
19	4,672,602	2,797,965	59.88%	280	9,993	206,166	13,571	71,300	39,242
20	4,542,363	2,731,018	60.12%	281	9,719	204,057	13,384	71,606	38,140
21	4,523,324	2,743,201	60.65%	282	9,728	202,179	13,568	71,848	38,181
22	4,467,890	2,713,569	60.73%	287	9,455	200,149	13,558	71,850	37,767
23	5,432,093	3,293,227	60.63%	282	11,678	200,612	16,416	74,404	44,261
24	4,523,253	2,684,744	59.35%	288	9,322	195,957	13,701	70,758	37,943
25	4,828,790	2,880,193	59.65%	288	10,001	193,606	14,877	70,610	40,790
26	5,280,605	3,207,880	60.75%	287	11,177	191,525	16,749	70,819	45,297
27	5,477,880	3,036,738	55.44%	286	10,618	189,241	16,047	70,846	42,864

# 消 防 庁 舎 概 要

区 分 名 称	所 在 地	開設年月日 (移転年月日)	構 造	敷地面積(m <sup>2</sup> )	備 考
				建築面積(m <sup>2</sup> )	
消 防 本 部	〒965-0131 会津若松市北会津町中荒井字諏訪前11 TEL:0242(59)1400 FAX:0242(59)1404 E-mail:fd.kikaku@119-aizu.jp	S52. 8.31 (H19.9.1) (移転)	R C 造 一部4階建	17,833.51 m <sup>2</sup>	車庫 470.4m <sup>2</sup> 2F延べ面積 1,033.19m <sup>2</sup> 消防使用部分 559.8m <sup>2</sup>
				2,441.51 m <sup>2</sup>	
				3,837.32 m <sup>2</sup>	
会津若松消防署	〒965-0037 会津若松市中央三丁目10-12 TEL:0242(25)1200 FAX:0242(25)1209 E-mail:fd.wakamatsu@119-aizu.jp	S52. 8.31	R C 造 一部5階建	2,904.47 m <sup>2</sup>	車庫 65.98m <sup>2</sup> 受水槽室 24.75m <sup>2</sup> 自動車置場 16.94m <sup>2</sup>
				954.74 m <sup>2</sup>	
				2,433.43 m <sup>2</sup>	
会津若松消防署 城南分署	〒965-0838 会津若松市古川町9-21 TEL:0242(26)0119 FAX:0242(27)1587 E-mail:fd.jyonan@119-aizu.jp	S62. 4. 1	R C 造 一部2階建	10,260.00 m <sup>2</sup>	倉庫 45.37m <sup>2</sup> 車庫 97.20m <sup>2</sup> 空気充填室 14.43m <sup>2</sup> 体力錬成室 109.22m <sup>2</sup> 副塔 42.44m <sup>2</sup>
				547.56 m <sup>2</sup>	
				745.30 m <sup>2</sup>	
会津若松消防署 小松出張所	〒969-6180 会津若松市北会津町両堂字大泉56-1 TEL:0242(56)3300 FAX:0242(56)3584 E-mail:fd.komatsu@119-aizu.jp	S49. 3.30	R C 造 一部2階建	1,399.50 m <sup>2</sup>	ポンプ室 2.95m <sup>2</sup> 倉庫 6.62m <sup>2</sup>
				240.00 m <sup>2</sup>	
				316.00 m <sup>2</sup>	
会津若松消防署 十文字出張所	〒969-3482 会津若松市河東町谷沢字十文字4 TEL:0242(75)2151 FAX:0242(75)2196 E-mail:fd.jyumonji@119-aizu.jp	S48. 1.15	R C 造 一部2階建	916.40 m <sup>2</sup>	倉庫 6.62m <sup>2</sup>
				247.31 m <sup>2</sup>	
				315.83 m <sup>2</sup>	
猪苗代消防署	〒969-3121 耶麻郡猪苗代町字梨木西19-1 TEL:0242(62)4433 FAX:0242(62)4530 E-mail:fd.inawashiro@119-aizu.jp	S49. 3.20 (H11.10.1)	R C 造 2階建	3,430.89 m <sup>2</sup>	電気室 54.00m <sup>2</sup>
				974.60 m <sup>2</sup>	
				1,114.41 m <sup>2</sup>	
猪苗代消防署 磐梯出張所	〒969-3301 耶麻郡磐梯町大字磐梯字山道334-1 TEL:0242(73)3100 FAX:0242(73)3109 E-mail:fd.bandai@119-aizu.jp	S51. 4.15	R C 造 平屋建	780.41 m <sup>2</sup>	倉庫 6.62m <sup>2</sup>
				165.65 m <sup>2</sup>	
				165.65 m <sup>2</sup>	
会津坂下消防署	〒969-6551 河沼郡会津坂下町字館ノ下111-1 TEL:0242(83)4100 FAX:0242(83)0251 E-mail:fd.bange@119-aizu.jp	S49. 3.20	R C 造 2階建	813.76 m <sup>2</sup>	倉庫 6.62m <sup>2</sup>
				261.09 m <sup>2</sup>	
				481.48 m <sup>2</sup>	
会津坂下消防署 柳津出張所	〒969-7201 河沼郡柳津町大字柳津字村ノ上乙1929-1 TEL:0241(42)2150 FAX:0241(42)2167 E-mail:fd.yanaizu@119-aizu.jp	S48. 1.15	R C 造 一部2階建	383.00 m <sup>2</sup>	倉庫 6.62m <sup>2</sup>
				165.00 m <sup>2</sup>	
				189.00 m <sup>2</sup>	
会津坂下消防署 三島出張所	〒969-7511 大沼郡三島町大字宮下字居平137-1 TEL:0241(52)3032 FAX:0241(52)3033 E-mail:fd.mishima@119-aizu.jp	S51. 4. 3	R C 造 平屋建	971.20 m <sup>2</sup>	倉庫 6.62m <sup>2</sup>
				163.62 m <sup>2</sup>	
				163.62 m <sup>2</sup>	
会津坂下消防署 金山出張所	〒968-0006 大沼郡金山町大字中川字大田面1482-2 TEL:0241(55)3100 FAX:0241(55)3109 E-mail:fd.kaneyama@119-aizu.jp	S48. 1.15	R C 造 一部2階建	934.00 m <sup>2</sup>	倉庫 6.62m <sup>2</sup>
				165.00 m <sup>2</sup>	
				211.20 m <sup>2</sup>	
会津坂下消防署 昭和出張所	〒968-0103 大沼郡昭和村大字下中津川字中島654 TEL:0241(57)2119 FAX:0241(57)2174 E-mail:fd.syowa@119-aizu.jp	S47.12.25	R C 造 平屋建	510.00 m <sup>2</sup>	倉庫 6.62m <sup>2</sup>
				133.44 m <sup>2</sup>	
				133.44 m <sup>2</sup>	
会津美里消防署	〒969-6262 大沼郡会津美里町字鹿島3058-2 TEL:0242(54)3934 FAX:0242(54)3594 E-mail:fd.misato@119-aizu.jp	S47.12.25	R C 造 一部2階建	1,034.94 m <sup>2</sup>	ポンプ室 2.95m <sup>2</sup> 倉庫 6.62m <sup>2</sup>
				262.03 m <sup>2</sup>	
				348.25 m <sup>2</sup>	

# 消防力の整備指針と現有勢力

平成12年消防庁告示第1号の規定に基づき、人口の密度・建築物の構造・気象条件等により定められた本広域の必要とする消防力の比較を表示したものです。

## 1 施設の基準

区 分	基 準 数			現有数	不足数	充足率
	国の基準	地域の実状 に応じた 増 減	計			
(1) 署 所	3	10	13	12	1	92.3%
(2) 消 防 用 自 動 車						
① 消 防 ポ ン プ 自 動 車	6	13	19	19	0	100.0%
② は し ご 自 動 車	2	-	2	1	1	50.0%
③ 化 学 消 防 車	(1)	-	(1)	(1)	0	100.0%
④ 救 助 工 作 車	4	-	4	1	3	25.0%
うち特別救助隊	1	-	1	1	0	100.0%
⑤ 指 揮 車	4	-	4	6	0	150.0%
(3) 救 急 自 動 車	6	10	16	16	0	100.0%
(4) 特殊車両・非常用消防自動車等						
① 特 殊 車 両	-	-	-	4	-	-
② 広 報 車	-	-	-	13	-	-
③ 非常用消防自動車等	2	-	2	2	0	100.0%
④ 非常用救急自動車等	2	-	2	2	0	100.0%

注1) 化学車は、化学車として運用するほか、ポンプ車運用可能であるためポンプ車に参入

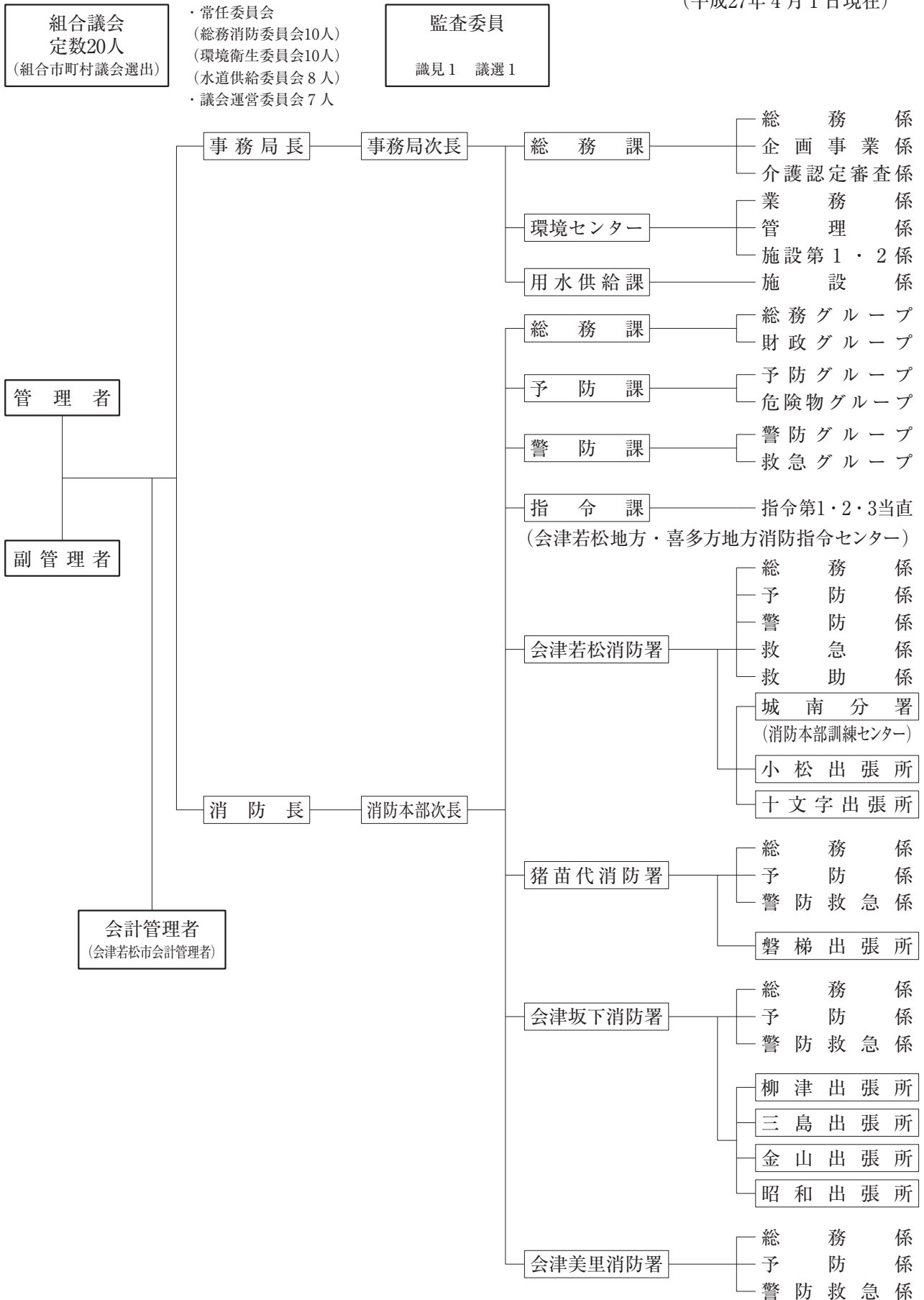
## 2 人員の基準

区 分	基準台数に対する 人員の基準	現有台数に対する 人員の基準	現 有 人 員
消 防 隊 員	291	291	242
救 急 隊 員			
救 助 隊 員			
指 揮 隊 員	61	16	
予 防 要 員	37	56	
予 防 要 員	55	55	※ 57
(予防要員のなかで交代勤務員)	55	55	
通 信 員	(12)	(12)	(30)
通 信 員	5	17	18
庶 務 要 員	12	12	12
合 計	449	435	※ 299

(※短時間再任用13名を含む)

# 会津若松地方広域市町村圏整備組合機構図

(平成27年4月1日現在)





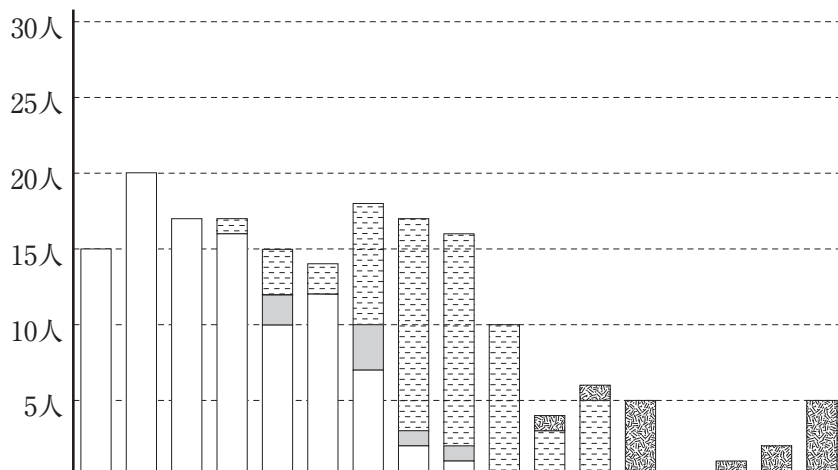
# 消防職員配置状況

(条例定数 289人)

平成27年4月1日現在

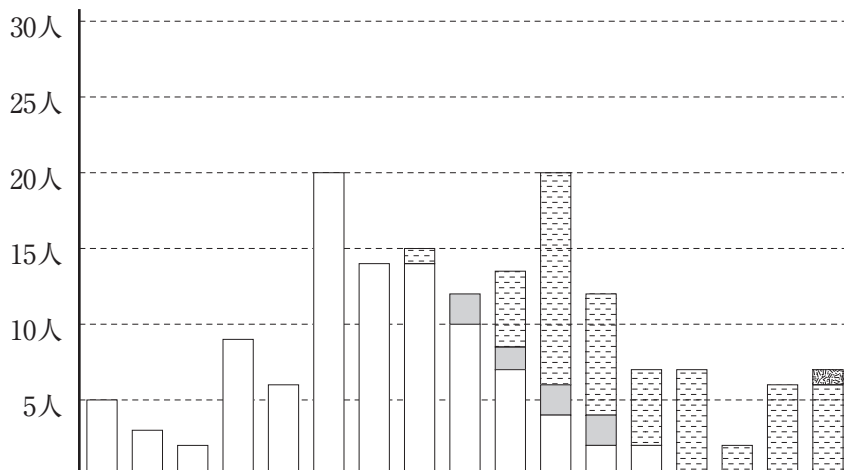
所 属	階 級	等	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	再任用職員
合 計			286 (再任用職員含めない)	1	2	10	43	62	63	7	98	13
消 防 本 部			42	1	1	4	13	10	8	1	4	
消 防 長	1		1	1								
次 長	1		1		1							
総 務 課	10	課 長 総務 財務	4 5			1	1 1	2 1	1 2		1	
予 防 課	5	課 長 防 火 危 険 物	1 2 2			1	1		1			
警 防 課	5	課 長 警 防 救 急	1 2 2			1	1 1	1 1				
指 令 課	18	課 長 情 報 担 当 指 令 第 1・第 2・第 3 直	1 2 15			1	1 6		1 3			
派 遣 等	2		2				1	1				
消 防 署 ・ 分 署 ・ 出 張 所			244		1	6	30	52	55	6	94	13
会 津 若 松 消 防 署 管 内			108		1	1	12	23	21	4	46	5
会津若松消防署	61	署 長 ・ 副 署 長	2		1	1						
		当 直 防 係	2 6				2 1					5
		第 1・第 2 総 務 係	8					2				
		第 1・第 2 予 防 係	4					2				4
		第 1・第 2 警 防 係	14					3		1		2
		第 1・第 2 救 急 係	11				2	2		2		7
城 南 分 署	25	分 署 長 ・ 副 分 署 長	3				3					
		第 1・2 消 防 係	12					2	1	1	8	
		第 1・2 訓 練 指 導 係	10					2	2		6	
小 松 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1					
		第 1 当 直	5					2	1		2	
十 字 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1					
		第 1 当 直	5					2	1		2	
猪 苗 代 消 防 署 管 内	27	署 長 ・ 副 署 長	2			1	6	9	10	2	10	2
		当 直 防 係	2 1				1 2					2
猪苗代消防署	27	第 1・第 2 総 務 係	6					1				
		第 1・第 2 予 防 係	4					2		2	2	
		第 1・第 2 警 防 救 急 係	12				2	2	4		4	
磐 梯 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1					
		第 1 当 直	5					2	1		2	
会 津 坂 下 消 防 署 管 内	27	署 長 ・ 副 署 長	2			2	8	15	20		26	2
		当 直 防 係	2 1				2					2
会津坂下消防署	27	第 1・第 2 総 務 係	6					1	2		2	
		第 1・第 2 予 防 係	4					2			2	
		第 1・第 2 警 防 救 急 係	12				2	2	2		6	
柳 津 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1					
		第 1 当 直	5					1	2		2	
三 島 出 張 所	11	第 2 当 直	5					1	2		2	
		出 張 所 長	1				1					
金 山 出 張 所	11	第 1 当 直	5					1	2		2	
		第 2 当 直	5					1	2		2	
昭 和 出 張 所	11	出 張 所 長	1				1					
		第 1 当 直	5					1	2		2	
会 津 美 里 消 防 署 管 内	27	署 長 ・ 副 署 長	2			2	4	5	4		12	4
		当 直 防 係	2 1				2					4
会津美里消防署	27	第 1・第 2 総 務 係	4					1			2	
		第 1・第 2 予 防 係	4					2			2	
		第 1・第 2 警 防 救 急 係	14				2	2	2	2	8	

# 消防職員 階級別勤続年数一覽

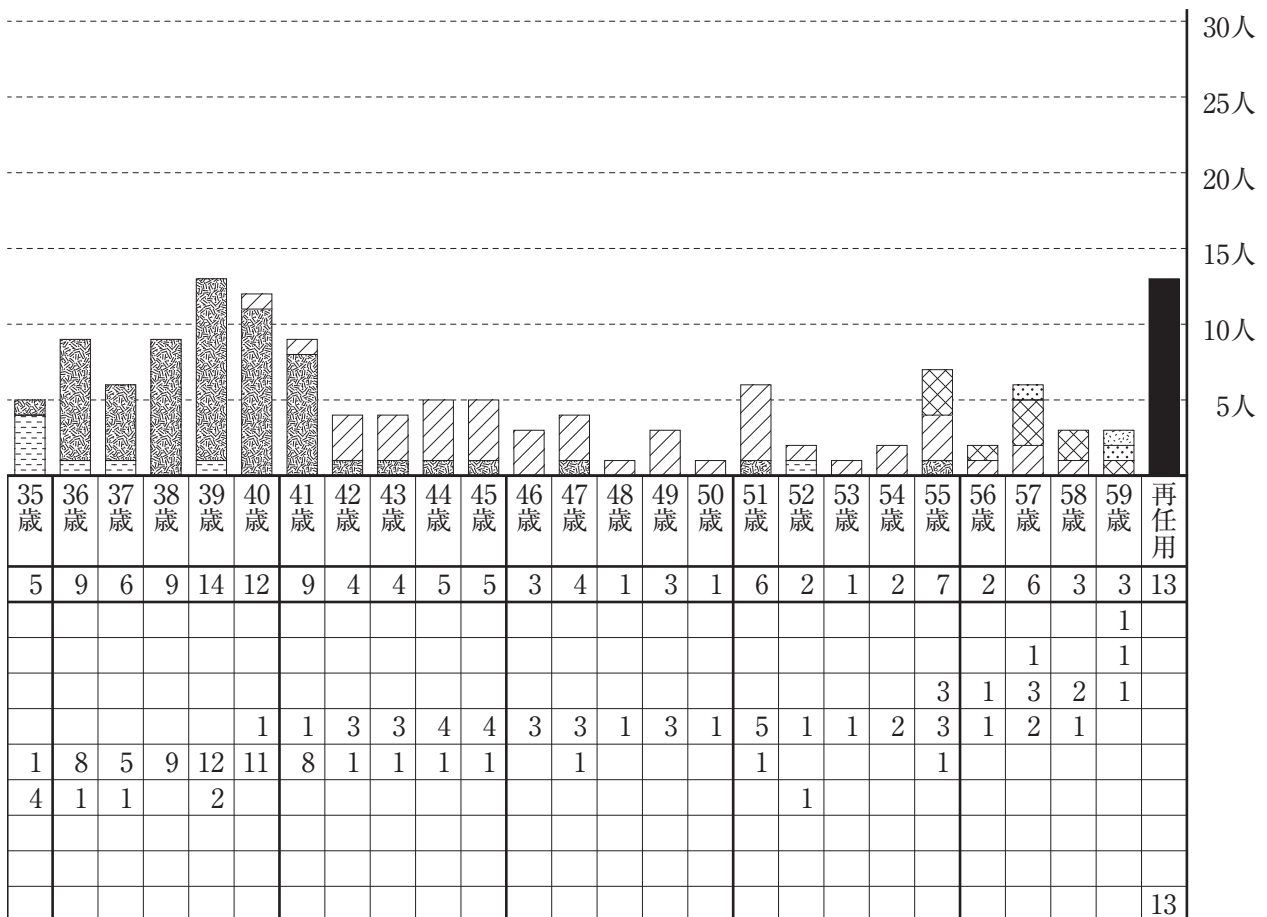
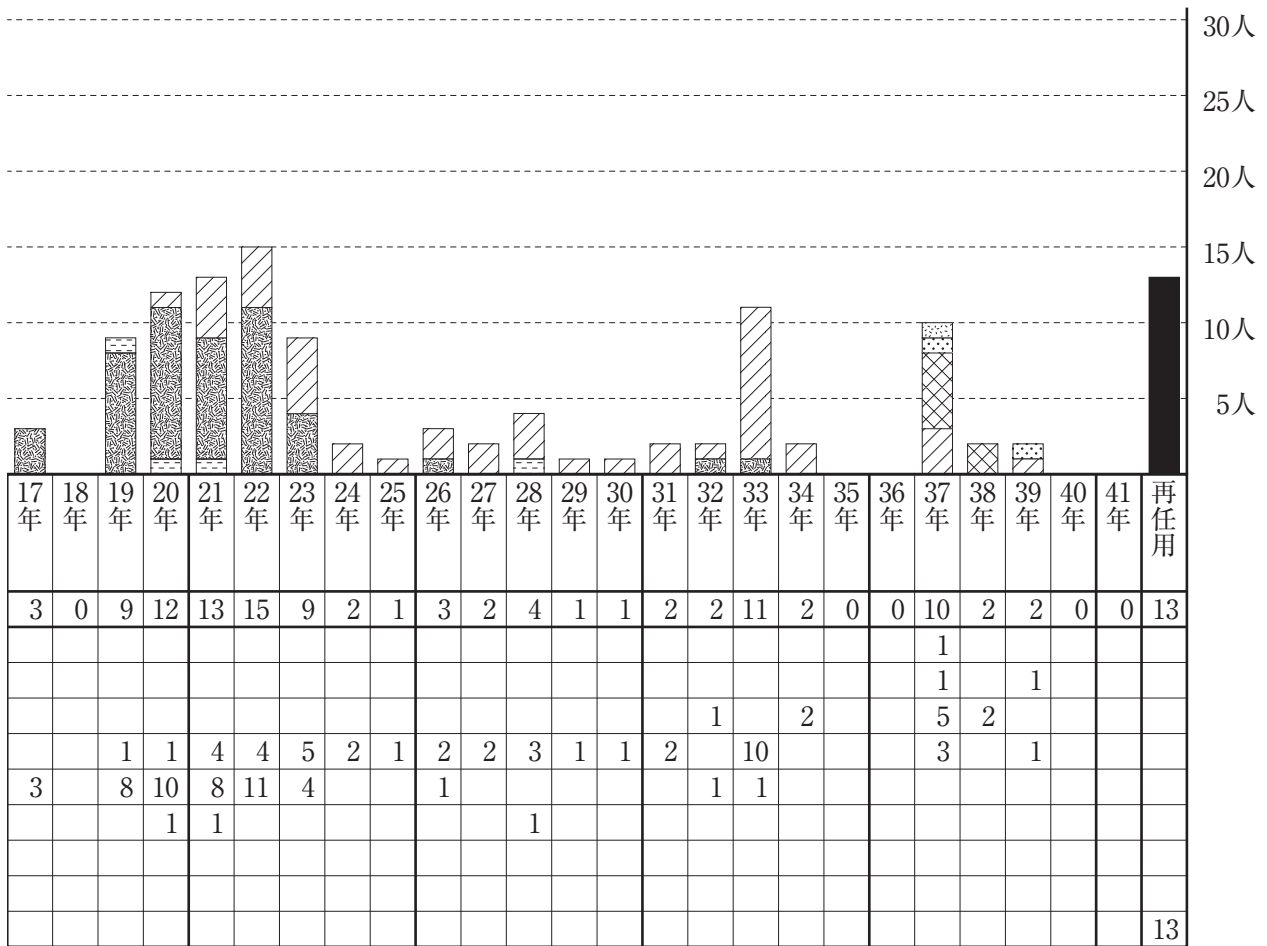


勤続年数		平均	合計 (再任用職員 は含めない)	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年
階級	平均			合計	1年未満	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年
合計		12.9年	286	15	20	16	16	15	14	18	17	16	10	4	6	5	0	1	2	5
消防 吏員	消防正監		1																	
	消防監		2																	
	消防司令長		10																	
	消防司令		43																	
	消防司令補		62											1	1	5		1	2	5
	消防士長		63				1	3	2	8	14	14	10	3	5					
	消防副士長		7					2		3	1	1								
	消防士		98	15	20	16	15	10	12	7	2	1								
再任用職員			13																	

# 消防職員 階級別年齢一覽



年齢		平均	合計 (再任用職員 は含めない)	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳
階級	平均			合計	18歳	19歳	20歳	21歳	22歳	23歳	24歳	25歳	26歳	27歳	28歳	29歳	30歳	31歳	32歳	33歳
合計		34.1歳	286	5	3	2	9	6	20	14	15	12	13	20	12	7	7	2	6	7
消防 吏員	消防正監		1																	
	消防監		2																	
	消防司令長		10																	
	消防司令		43																	
	消防司令補		62																	1
	消防士長		63								1		5	14	8	5	7	2	6	6
	消防副士長		7									2	1	2	2					
	消防士		98	5	3	2	9	6	20	14	14	10	7	4	2	2				
再任用職員			13																	



# 消防職員免許資格等取得状況

平成27年4月1日現在

区分	階級等 免許・資格	合 計	消 防 吏 員							
			消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
			実 員	1	2	10	43	62	63	7
人材育成に基づく資格	第1種衛生管理者	6(1)				2	3(1)	1		
	安全衛生推進者	24(4)			1	8(2)	12(1)	3(1)		
	ガス溶接作業主任者	20		1		5	9	5		
	移動式クレーン運転士	1		1						
	小型船舶免許	38		1		15	18	4		
	高所作業車運転免許	4(2)		1				3(2)		
	潜水士免許	84(3)		1	5	16	40	14(1)	2	6(2)
	大型自動車第1種免許	178(14)		2	6	34	55	47(3)	4(1)	30(10)
	中型自動車第1種免許	42(7)						11	4	27(7)
	救急救命士	56(6)		1	4	13	19(1)	9(2)	1	9(3)
	予防技術資格者(消防用設備等専門員)	15(6)			1	6(1)	8(5)			
	予防技術資格者(防火査察専門員)	23(6)			2	6	13(4)	2(2)		
	予防技術資格者(危険物専門員)	20(4)	1		1	4	13(3)	1(1)		
	予防技術検定合格者(消防用設備等)	13(5)				4(1)	9(4)			
	予防技術検定合格者(防火査察)	25(4)				4	15(2)	5(2)		1
	予防技術検定合格者(危険物)	19(2)				4	13(2)	2		
	第一級陸上特殊無線技士	8(2)			2	2	3(2)	1		
	第二級陸上特殊無線技士	43(1)	1	1	1	15	20	4(1)		1
	第三級陸上特殊無線技士	133(28)				15	35(6)	21(3)	3	59(19)
	小型移動式クレーン技能講習	27(2)				2	8	10	3	4(2)
玉掛技能講習	40(5)		2		5	8(1)	16(2)	2	7(2)	
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	38(4)				5	16(2)	14(2)		3	
特定化学物質等作業主任者	20			2	9	6	2		1	
国家資格又は準ずる資格のある消防業務に関係のある資格	消防設備士甲種(1類)	2	1				1			
	消防設備士甲種(4類)	2(1)	1					1(1)		
	消防設備士乙種(4類)	2					1	1		
	消防設備士乙種(6類)	11(1)				3	3	4		1(1)
	危険物取扱者甲種	1					1			
	危険物取扱者乙種(1類)	28(2)				5	5	12(1)		6(1)
	危険物取扱者乙種(2類)	25				6	5	10		4
	危険物取扱者乙種(3類)	20(2)				5	4	9(2)		2
	危険物取扱者乙種(4類)	147(3)				17	40	54	5	31(3)
	危険物取扱者乙種(5類)	20(1)				5	4	9(1)		2
	危険物取扱者乙種(6類)	30				5	6	11	1	7
消防用設備点検資格者										
消防業務に関係のある講習会等を受講して取得できる資格等	JPTECプロバイダー修了者	106(14)				13	28	40(1)	2(1)	23(12)
	JPTECインストラクター修了者	20(2)				8	4	6		2(2)
	Rescue3ロープレスキュー	28(7)				4	9	7(1)	3(2)	5(4)
	Rescue3ウォーターレスキュー	8				1	4	2	1	
	チェーンソー作業従事者	4				2	2			
	山岳レスキュー技術認定	8(1)				1	6		1(1)	
	BLS講習修了者	110(15)				7	15	51(2)	5(1)	32(12)
ITLS修了者	19(6)				5	3	9(5)	1	1(1)	

○ ( ) 内は平成26年度中の資格取得者数を示す

# 消防職員教養状況

平成27年4月1日現在

入校区分		階級	計	消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
		実員									
		実員	286	1	2	10	43	62	63	7	98
消防 大学 校	小計		22 (3)	1	2	6	10 (1)	3 (2)	-	-	-
	本科										
	警防科		3		1		2				
	予防科		2				2				
	救急科		3			3					
	救助科		2				1	1			
	上級幹部科										
	幹部研修科										
幹部科		8 (1)	1	1	3	3 (1)					
火災調査科		2 (1)				1	1 (1)				
新任教官科		2 (1)				1	1 (1)				
福島 県 消防 学校	小計		784 (49)	4	7	40	202 (5)	226 (2)	152 (10)	15	138 (32)
	初任科		275 (19)	1	2	10	41	59	60	7	95 (19)
	警防科		6				2	4			
	予防科		1				1				
	査察科		12 (1)				1	11 (1)			
	救助科		21 (2)				9	6	5 (2)	1	
	水難救助科		1					1			
	山岳救助科		2					2			
	危険物科		8				2	5	1		
	火災(原因)調査科		19 (2)	1		1	11	4 (1)	2 (1)		
	林野火災対策科		4				2	2			
	特殊災害対策科		6			1	2	3			
	指揮隊長科		14 (5)				9 (5)	5			
	設備課程										
	燃焼理論										
	初級幹部科		26 (4)			1	7	9	9 (4)		
	中級幹部科		13			2	6	5			
	上級幹部科										
	救急Ⅰ課程		61	1	2	10	34	13	1		
	救急Ⅱ課程		60	1	2	10	33	13	1		
	救急標準課程		48				9	37	2		
	救急科		123 (13)					14	60	7	42 (13)
	救急救命士養成補助教育科		31 (3)				4	18	8 (3)		1
救急救命士気管挿管講習		14			2	10	2				
救急救命士卒後研修		17			3	9	5				
無線科											
はしご車運用科		15		1		4	7	3			
ポンプ操法指導員科		2				2					
情報処理科		5				4	1				
そ の 他	小計		136 (24)	-	2	12 (2)	50 (5)	52 (8)	14 (5)	-	6 (4)
	救急救命東京研修所		38 (3)		1	4	13	15	4 (3)		1
	東京消防庁救急救命士養成課程		1					1			
	救急救命士薬剤投与追加講習		17				8	5	4		
福島県自治研修センター等		80 (21)		1	8 (2)	29 (5)	31 (8)	6 (2)		5 (4)	

○ ( ) 内は平成26年度中の教養状況を示す

## 各種相互応援協定

協定項目	協定先	締結年月日	協定内容
福島県広域消防相互応援協定	県内11消防本部	平成9年12月26日	火災、救急、その他の災害
火災原因調査に係る相互応援協定	県内11消防本部	平成11年12月27日	大規模、又は特異な火災における原因調査
火災・救急・その他災害相互応援協定	喜多方地方広域市町村圏組合	昭和47年12月1日	火災、救急、その他の災害
	南会津地方広域市町村圏組合	昭和49年7月1日	火災、救急、その他の災害
	郡山地方広域消防組合	昭和49年8月1日	火災、救急、その他の災害
	福島市	昭和50年8月1日	火災、救急、その他の災害
磐越自動車道消防相互応援協定	郡山地方広域消防組合	平成3年7月5日	火災、救急、その他の災害
	安達地方広域行政組合	平成3年7月5日	火災、救急、その他の災害
	いわき市	平成7年7月22日	火災、救急、その他の災害
	喜多方地方広域市町村圏組合	平成8年10月17日	火災、救急、その他の災害
消防団相互の応援協定	圏域内10市町村	昭和54年11月15日	火災、その他の災害
災害通報に関する協定	圏域内ハイヤー・タクシー業者	昭和54年12月15日	火災、救急、その他の災害通報
ガス漏れ及び爆発事故の防止対策に関する業務協約	県内11消防本部	平成9年12月26日	火災、救急、その他の災害
クレーン車の協力に関する協定	圏域内民間クレーン業者	昭和59年8月21日	中高層建築物火災等の災害及び事故・人命救助

# 2015年 防火カレンダー

(2014年会津若松地方広域消防本部主催防火ポスター展入賞作品)

<p>最優秀賞</p>  <p>会津若松市立城西小学校 山田 健太</p>	<p>優秀賞</p>  <p>会津若松市立鶴城小学校 平塚 紫花</p>	<p>優秀賞</p>  <p>会津若松市立本郷小学校 二瓶 歩夢</p>	<p>優秀賞</p>  <p>会津若松市立東下馬小学校 佐藤 良輝</p>	<p>優秀賞</p>  <p>会津若松市立日新小学校 本名 環史</p>
<p>優秀賞</p>  <p>会津若松市立日新小学校 滝沢 千代</p>	<p>会津若松市立東下馬小学校</p>  <p>会津若松市立東下馬小学校 渡部 明善</p>	<p>日中びこ連合会 総合部会賞</p>  <p>会津若松市立東下馬小学校 二瓶 里彩</p>	<p>若松ガス株式会社社員賞</p>  <p>若松市立東下馬小学校 柏倉 愛華</p>	<p>東北電力株式会社社会津若松支店賞</p>  <p>会津若松市立一英小学校 岩崎 未優</p>
<p>福島民報社会津若松支社賞</p>  <p>会津若松市立東下馬小学校 豊野 楓太</p>	<p>福島民報社会津若松支社賞</p>  <p>会津若松市立東下馬小学校 渡部 翔</p>	<p>会津若松市立東下馬小学校</p>  <p>会津若松市立東下馬小学校 伊藤 祐希</p>	<p>会津若松市立東下馬小学校</p>  <p>会津若松市立東下馬小学校 渡部 秀樹</p>	<p>会津若松市立東下馬小学校</p>  <p>会津若松市立東下馬小学校 小椋 流空</p>

<p><b>全国の主な行事</b></p> <p>1月9日 年終特別警戒 1月6日 消防出初式 1月26日 文化消防デー</p>	<p>1月1日 年終特別警戒</p>	<p>3月1日~7日 春の火災予防運動</p>	<p>3月7日 消防記念日</p>	<p>4月 林野火災防止月</p>	<p>6月第2週 消防物安全週間</p>	<p>9月1日 防災の日</p>	<p>9月9日 救急の日</p>	<p>11月9日 119番の日</p>	<p>11月9日~15日 秋の火災予防運動</p>	<p>12月下旬 年末特別警戒</p>
--	--------------------	-------------------------	-------------------	-------------------	----------------------	------------------	------------------	---------------------	---------------------------	---------------------

会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部

# 予 防 行 政 に つ い て

平成27年4月1日現在、消防法令により防火管理体制を確立し防火管理者を選任しなければならない防火対象物は2,031件あり、そのうち79.5%にあたる1,615件について防火管理者が選任され、消防機関に届出がなされている。しかしながら、416件の防火対象物は防火管理者が未選任の状況にあり、これらの防火対象物の管理権原者に対して指導を行い、是正に努めているところであります。

火災の発生を防止し、また、火災による被害を軽減するためには、防火対象物の関係者の消防法令への理解が大変重要になります。消防法では、防火対象物に設置されている消防用設備等について点検させ、その結果を消防機関へ報告（消防用設備等点検報告）すること、また、一定の用途、構造等を有する防火対象物に対して、火災の予防に関し専門的知識を有する防火対象物点検資格者に点検させ、その結果を消防機関へ報告（防火対象物定期点検報告）することが義務付けられています。防火対象物定期点検に対しては、一定期間継続して消防法令を遵守していると認められた場合は、優遇措置として3年間点検・報告の義務が免除されます。

消防本部では、消防法に基づく講習として、甲種防火管理新規講習及び、甲種防火管理再講習を行っております。

平成25年10月、福岡県福岡市の有床診療所において火災が発生し、多くの死傷者を出す惨事となりました。この火災を受け、平成26年10月に消防法施行令の一部を改正する政令等が公布され、病院、有床診療所及び有床助産所について、面積に関わらず消火器具及び消防機関へ通報する火災報知設備の設置を義務付けるほか、「避難のために患者の介助が必要な有床診療所・病院」に対して、原則として延べ面積に関わらずスプリンクラー設備の設置を義務付けるとともに自動火災報知設備と消防機関へ通報する火災報知設備の連動を義務付けることとされ、平成28年4月1日から施行されることとなりました。

住宅防火対策として、平成23年6月より義務化となった住宅用火災警報器の設置推進を行っているところであり、普及率100%を目標に、消防団、女性防火クラブ等と協力して、設置徹底及び維持管理のための各種取組を展開している。



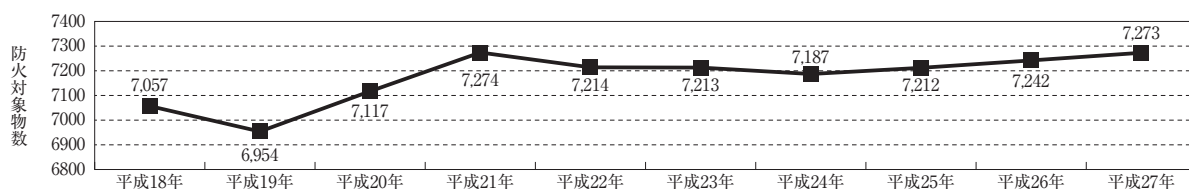
# 防火対象物数

(平成27年4月1日現在)

市町村名		会津若松市	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	合計	平成26年	前年比
1	イ 劇場・映画館等	6			1							7	7	
	ロ 公会堂・集会場	48	4	6	15	3	4	1	2	1	15	99	94	5
2	イ キャバレー・クラブ等	2										2	3	△1
	ロ 遊技場・ダンスホール	19		2	3						3	27	25	2
	ハ 性風俗関連店舗等													
	ニ カラオケボックス等	7			1							8	8	
3	イ 待合・料理店等	10			4						4	18	18	
	ロ 飲食店	187	6	48	22		4	1	4	1	3	276	275	1
4	百貨店・マーケット等	307	3	47	43	4	4	1	1	2	18	430	431	△1
5	イ 旅館・ホテル等	83	27	139	5	1	13	10	13	4	7	302	319	△17
	ロ 共同住宅等	1,511	13	70	75	1	6	8	6	5	38	1,733	1,724	9
6	イ 病院・診療所等	125		8	7		3	1	1		8	153	156	△3
	ロ 救護・乳児院・認知症グループホーム等	58	1	8	7	2	2	1	2	1	10	92	93	△1
	ハ 老人福祉施設・地域活動支援センター等	96	4	11	14	3	5	2	4	1	14	154	139	15
	ニ 幼稚園・特別支援学校	29	1	4	2	1					1	38	40	△2
7	小学校等	159	3	12	22	3	8	2	6	3	22	240	241	△1
8	図書館・博物館・美術館	22	1	7	1	1	4		1	2	1	40	35	5
9	イ 蒸気・熱気浴場等													
	ロ 公衆浴場	4		1	1			2		1	3	12	12	
10	停車場等	3										3	3	
11	神社・寺院・教会等	72	1	8	5		2		1		7	96	91	5
12	イ 工場・作業場	690	67	68	113	32	19	13	12	11	150	1,175	1,184	△9
	ロ 映画・テレビスタジオ													
13	イ 車庫・駐車場	36	5	13	10	3	8	5	8	6	10	104	100	4
	ロ 格納庫										1	1	1	
14	倉庫	532	58	51	74	22	6	9	11	8	93	864	866	△2
15	前項に該当しない事業場	519	30	72	61	13	19	11	19	12	59	815	808	7
16	イ 特定対象物が存在する複合対象物	318	5	17	25	3	4	3	8	5	21	409	399	10
	ロ 上記以外の複合対象物	125		7	3			1		1	3	140	137	3
17	文化財	9	5	9	2	1	1		1		6	34	32	2
18	延長50m以上のアーケード	1										1	1	
合計		4,978	234	608	516	93	112	71	100	64	497	7,273	7,242	31

平成27年4月1日現在、防火対象物は7,273件あり、前年に比べ31件増加している。過去10年間では、平成19年から平成21年にかけて320件増加し、平成21年からは7,200件前後で推移している。

また、防火対象物の区分別にみると、共同住宅等が1,733件と最も多く、次いで工場・作業所1,175件、倉庫864件となっている。



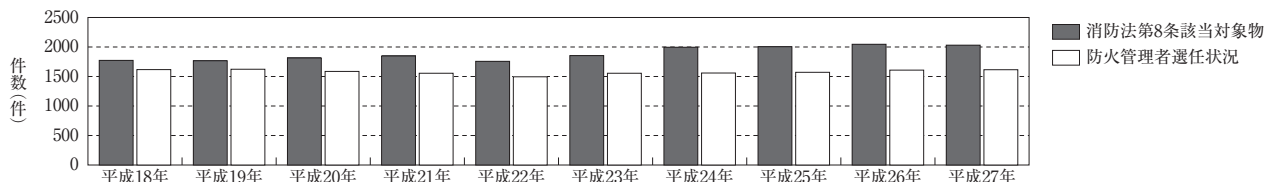
# 消防法第8条該当防火対象物数及び防火管理者選任状況

(平成27年4月1日現在)

市町村名		会津若松市	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	合計	選任状況
防火対象物の区分													
1	イ 劇場・映画館等	6			1							7	7
	ロ 公会堂・集会場	46	4	6	12	3	3	1	2	1	15	93	91
2	イ キャバレー・クラブ等	4										4	4
	ロ 遊技場・ダンスホール	17		2	1						3	23	22
	ハ 性風俗関連店舗等												
	ニ カラオケボックス等	6			1							7	7
3	イ 待合・料理店等	9			4						4	17	17
	ロ 飲食店	175	5	40	19		4	1	4		3	251	159
4	百貨店・マーケット等	226	2	22	34	1	2	1	1	1	14	304	196
5	イ 旅館・ホテル等	69	16	90	4	1	11	9	9	2	7	218	209
	ロ 共同住宅等	117	3	4	1				1			126	113
6	イ 病院・診療所等	37		2	2			1	1		1	44	40
	ロ 救護・乳児院・認知症グループホーム等	57	1	8	7	2	2	1	2	1	9	90	86
	ハ 老人福祉施設・地域活動支援センター等	62	4	7	8	3	4	2	1	1	13	105	103
	ニ 幼稚園・特別支援学校	21	1	2	2	1					1	28	28
7	小学校等	48	3	12	9	3	2	2	3	1	8	91	91
8	図書館・博物館・美術館	7	1	6			2		1			17	16
9	イ 蒸気・熱気浴場等												
	ロ 公衆浴場			1	1						3	5	5
10	停車場等												
11	神社・寺院・教会等	26		2	4						2	34	15
12	イ 工場・作業場	73	3	5	18	3	2				9	113	99
	ロ 映画・テレビスタジオ												
13	イ 車庫・駐車場												
	ロ 格納庫												
14	倉庫	11										11	9
15	前項に該当しない事業場	92	5	15	12	4	3	2	9	5	11	158	135
16	イ 特定対象物が存在する複合対象物	202	4	10	21	2	3	3	5	6	14	270	150
	ロ 上記以外の複合対象物	9								1		10	8
17	文化財	1		4								5	5
18	延長50m以上のアーケード												
合計		1,321	52	238	161	23	38	23	39	19	117	2,031	1,615

平成27年4月1日現在、法令により防火管理者を選任しなければならない防火対象物は2,031件で、そのうち79.5%に当たる1,615件について防火管理者が選任され、その旨が消防署長に届出されている。

過去10年間では、法令により防火管理者を選任しなければならない防火対象物は258件増加しているのに対して、防火管理者の選任率は11.7%減少している。



# 立 入 検 査 状 況

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

防火対象物の区分		市町村名											合 計
		会 津 若 松 市	磐 梯 町	猪 苗 代 町	会 津 坂 下 町	湯 川 村	柳 津 町	三 島 町	金 山 町	昭 和 村	会 津 美 里 町		
1	イ	劇場・映画館等											
	ロ	公会堂・集会場	9	4	2	2	1	4	1	2	1	6	32
2	イ	キャバレー・クラブ等	1										1
	ロ	遊技場・ダンスホール	3									2	5
	ハ	性風俗関連店舗等											
3	イ	待合・料理店等	1			3						1	5
	ロ	飲食店	16	6	20	10		3	1	4	1	2	63
4		百貨店・マーケット等	23	3	6	22	3	4	1		2	4	68
5	イ	旅館・ホテル等	18	26	97	5		14	10	12	4	2	188
	ロ	共同住宅等	2	10		61			7	2	5	30	117
6	イ	病院・診療所等	23			1		2	1	1		1	29
	ロ	救護・乳児院・認知症グループホーム等	7	1	8	6	1	1	1	2		3	30
	ハ	老人福祉施設・地域活動支援センター等	18	3	2	4	1	3	2	4	1	3	41
	ニ	幼稚園・特別支援学校	5	1	1		3					1	11
7		小学校等	5	5	1		1	8	2	5	3	11	41
8		図書館・博物館・美術館	4	1	1			4		1	2		13
9	イ	蒸気・熱気浴場等											
	ロ	公衆浴場							2		1		3
10		停車場等											
11		神社・寺院・教会等	4	1				2		1			8
12	イ	工場・作業場	22	34		8	5	14	13	2	11	36	145
	ロ	映画・テレビスタジオ											
13	イ	車庫・駐車場	1	5					5		6	1	18
	ロ	格納庫											
14		倉庫	5	12	2		2	3	9	1	8	18	60
15		前項に該当しない事業場	4	20	1		2	9	11	5	12	11	75
16	イ	特定対象物が存在する複合対象物	18	5	5		1	3	3	5	5	4	49
	ロ	上記以外の複合対象物	1						1		1	1	4
17		文化財	5	5	2			1		1		4	18
18		延長50m以上のアーケード											
合 計			198	142	148	122	20	75	70	48	63	141	1,027

予  
防

# 階数別防火対象物数

(平成27年4月1日現在)

階数 市町村名	4 以下	5 ・ 6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19 以上	計
会津若松市	4,803	111	17	14	7	10	5	4	3	3		1				4,978
磐梯町	233	1														234
猪苗代町	596	8	1					1		1				1		608
会津坂下町	511	5														516
湯川村	93															93
柳津町	112															112
三島町	71															71
金山町	97	3														100
昭和村	64															64
会津美里町	497															497
計	7,077	128	18	14	7	10	5	5	3	4	0	1	0	1	0	7,273

# 消 防 同 意 件 数

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

市町村名 申請区分	会津若松市	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	合 計	平成25年度	前年比
新 築	185	5	16	31	7			4	2	49	299	331	△32
増 築	12	1	3	1	3	1			2	6	29	26	3
改 築												1	△1
移 転													
修 繕													
模 様 替													
用 途 変 更	6		4	1							11	7	4
そ の 他	16		3						2		21	20	1
計	219	6	26	33	10	1	0	4	6	55	360	385	△25

消防同意件数について、平成26年度は360件で、平成25年度の385件から25件減少した。

特に新築に伴う消防同意件数が平成26年度は299件で、平成25年度の331件から32件減少した。

# 消 防 ク ラ ブ の 状 況

(平成27年4月1日現在)

市町村名 クラブ区分	会津若松市	磐梯町	猪苗代町	会津坂下町	湯川村	柳津町	三島町	金山町	昭和村	会津美里町	合 計
幼 年 消 防 ク ラ ブ	8	1	2		1	2	1	2	1	5	23
	412	68	42		59	77	12	14	22	190	896
少 年 消 防 ク ラ ブ	13	2	1	2	2	2	1	2	1	1	27
	477	46	30	78	23	54	11	17	11	106	853
女 性 防 火 ク ラ ブ	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
	167	7	136	14	37	88	休止中	460	397	休止中	1,306

上段：クラブ数 下段：クラブ員数

幼年消防クラブ、少年消防クラブ、女性防火クラブは上記のとおりとなっている。

女性防火クラブでは、三島町婦人防火クラブが平成23年4月1日から、会津美里町雀林婦人消防隊が平成27年4月1日からそれぞれ休止となっている。





自衛消防隊消火競技大会

(消火器の部)



(屋内消火栓の部)

## 危険物行政について

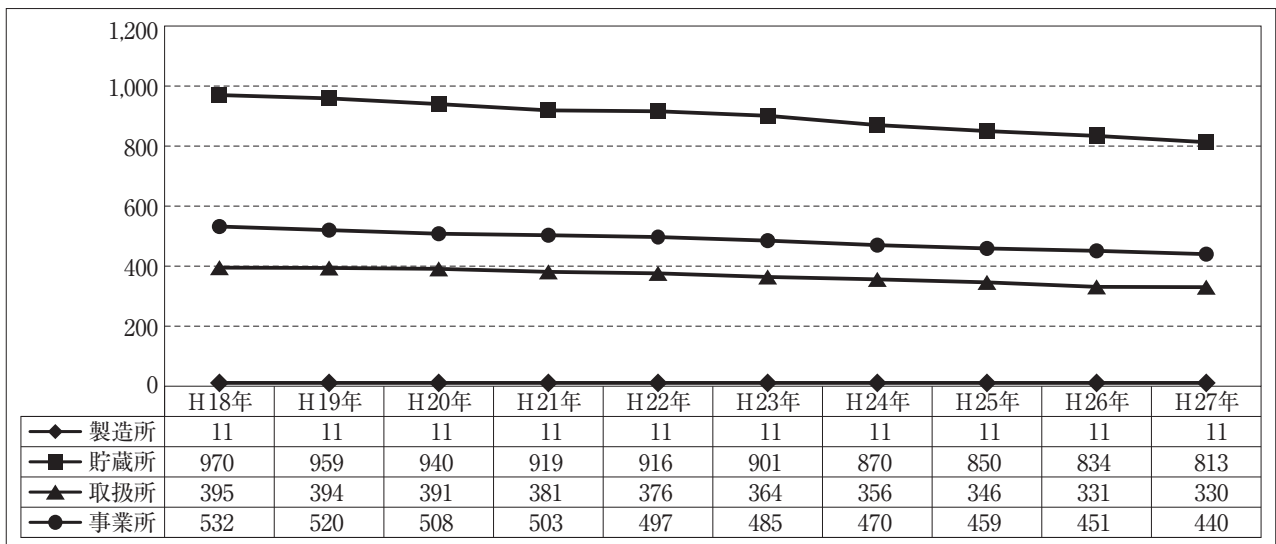
平成27年4月1日現在における広域管内の危険物施設数は、1,154施設、事業所数は、440事業所となっている。

危険物施設数を許可区分別にみると、地下タンク貯蔵所が368施設（31.9%）と最も多く、次いで移動タンク貯蔵所が232施設（20.1%）、一般取扱所が176施設（15.3%）の順となっている。

# 危険物施設数

平成27年4月1日現在

製造所別 署・市町村別		製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タンク 貯蔵所	屋 内 タンク 貯蔵所	地 下 タンク 貯蔵所	簡 易 タンク 貯蔵所	移 動 タンク 貯蔵所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	鉄 道・船 舶給油 取扱所	自 家 用給油 取扱所	一 般 取 扱 所	合 計	事 業 所 数
会津若松 消防署	会津若松市	10	74	40	11	185		150	3	46	3	30	81	633	237
	湯川村		1	1		9		1		1			2	15	6
猪苗代 消防署	猪苗代町		5	14	2	85	1	34		13	1	8	23	186	79
	磐梯町		8	16	1	18		2	2	3		4	15	69	13
会津坂下 消防署	会津坂下町		8	1	3	27		19		8		9	17	92	43
	柳津町	1	3	5		8		7		3		1	12	40	11
	三島町		1			4		2		1	1		3	12	4
	金山町		1		1	6		5		5	1	1	11	31	11
	昭和村			2		3		1		2			2	10	6
会津美里 消防署	会津美里町		7	2		23		11		9		4	10	66	30
合 計		11	108	81	18	368	1	232	5	91	6	57	176	1,154	440



平成27年4月1日現在における危険物施設の総数は、1,154施設（完成検査済施設数）であり前年同期の1,176施設と比較し22施設減少した。過去10年間の施設別の推移をみると製造所は、横ばいの数値であり、貯蔵所、取扱所にあつては、減少傾向を示している。事業所数についても、減少傾向を示しており11事業所減少となった。



# 類別危険物施設数

平成27年4月1日現在

製造所別	類別		単 独				混 在	計
	第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類		
製 造 所	1	1		4			5	11
屋 内 貯 蔵 所	2	3	2	96		1	4	108
屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所				81				81
屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所			2	16				18
地 下 タ ン ク 貯 蔵 所				368				368
簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所				1				1
移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		1		231				232
屋 外 貯 蔵 所				5				5
給 油 取 扱 所				91				91
鉄 道 ・ 船 舶 給 油 取 扱 所				6				6
自 家 用 給 油 取 扱 所				57				57
一 般 取 扱 所		2		171			3	176
合 計	3	7	4	1,127	0	1	12	1,154

※ 単独とは、類を同じくする危険物のみを貯蔵し、又は取扱っている製造所等をいう。

混在とは、類を異にする危険物を貯蔵し、又は取扱っている製造所等をいう。

## 類別の危険物施設の推移

年 別	類別		単 独				混 在	計
	第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類		
平成18年度	3	6	3	1,349		2	13	1,376
平成19年度	3	6	3	1,337		2	13	1,364
平成20年度	3	6	3	1,314		2	14	1,342
平成21年度	3	6	3	1,284		2	13	1,311
平成22年度	3	6	3	1,276		2	13	1,303
平成23年度	3	7	3	1,249		2	12	1,276
平成24年度	3	7	4	1,209		2	12	1,237
平成25年度	3	7	4	1,180		2	11	1,207
平成26年度	3	7	4	1,149		2	11	1,176
平成27年度	3	7	4	1,127		1	12	1,154

過去10年間の類別の危険物施設数の推移をみると、第4類の危険物を取り扱う施設が、222施設の減少となっている。

# 危険物施設申請・届出数

平成26年4月1日～平成27年3月31日

申請・届出別 署・市町村別		設置		変更		他許可行政庁から転入	他許可行政庁に転出	完成検査前検査申請	仮使用承認申請	仮貯蔵・仮取扱承認申請	予防規程認可申請	譲渡引渡届	品名数量倍数変更届	廃止届	保安監督者選解任届	在庫管理等計画届	資料提出届	合計
		許可申請	完成検査申請	許可申請	完成検査申請													
会津若松消防署	会津若松市	10	7	31	24			12	18	1	3	14	6	18	35		110	289
	湯川村				1									2				3
猪苗代消防署	猪苗代町	2	2	6	5				4	1	1	3		8	9		20	61
	磐梯町	1	2	3	2		2		2					2	4		64	82
会津坂下消防署	会津坂下町	1	1	6	6				5		2	4	1	4	10		17	57
	柳津町			2	2				1					1	11		7	24
	三島町																4	4
	金山町	1	1	2	2				2						4		19	31
	昭和村														1		3	4
会津美里消防署	会津美里町	2	2	1	2		1		1					4	1		11	25
合計		17	15	51	44	0	3	12	33	2	6	21	7	39	75	0	255	580



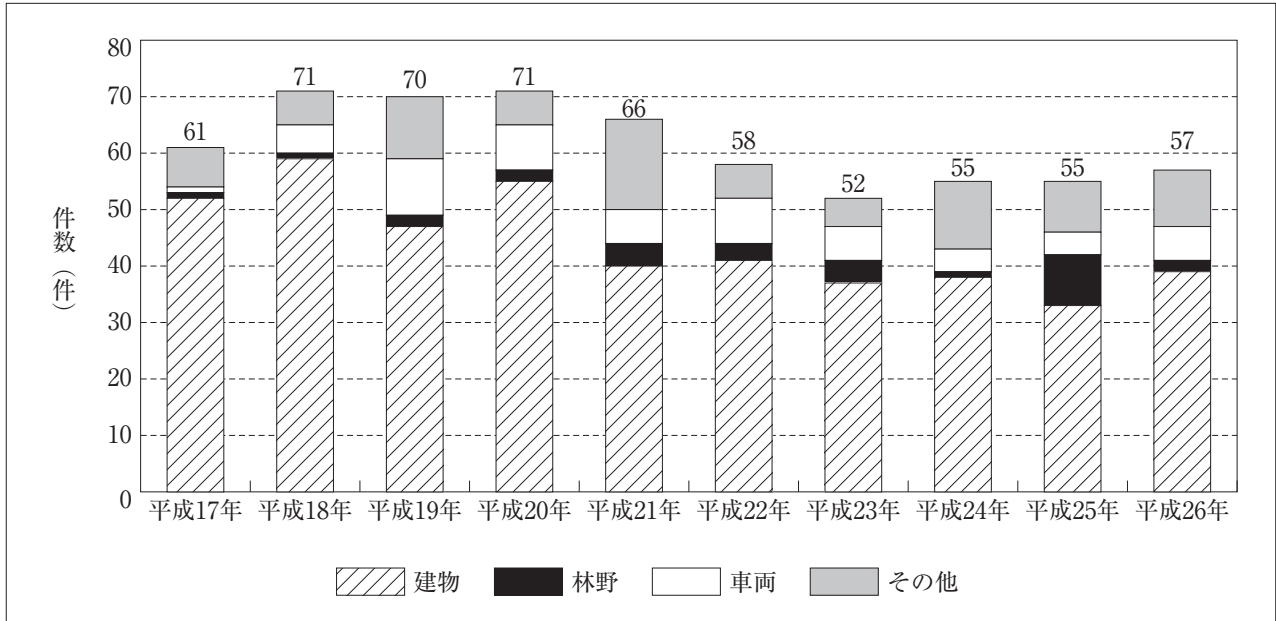
# 火 災 状 況

火災件数 57件 前年に比べ2件の増（前年55件）  
建物火災 39件 前年に比べ6件の増（前年33件）

死 者 3人 前年に比べ1人の減（前年4人）  
負 傷 者 15人 前年に比べ3人の増（前年12人）

出火原因 1位 こんろ 4件  
1位 ストーブ 4件  
3位 たばこ 3件  
3位 煙突・煙道 3件  
3位 たき火 3件

## 1 火災件数の推移

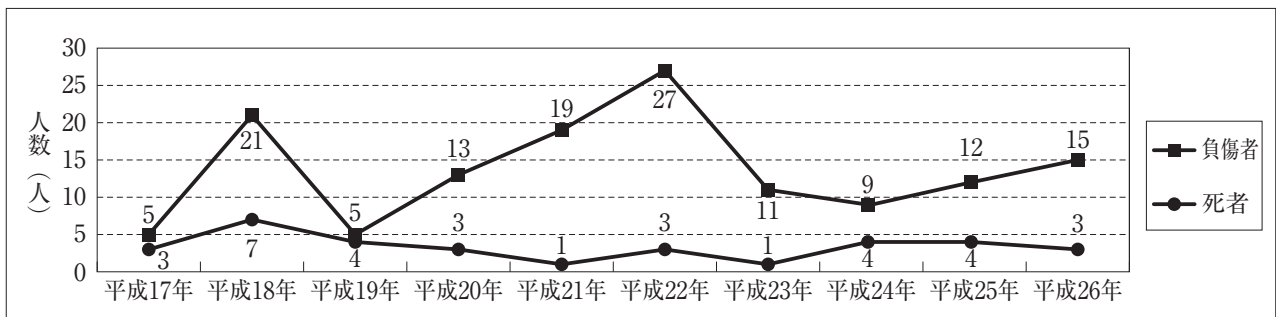


種別	火災件数	建 物	林 野	車 両	その他
平成17年	61	52	1	1	7
平成18年	71	59	1	5	6
平成19年	70	47	2	10	11
平成20年	71	55	2	8	6
平成21年	66	40	4	6	16
平成22年	58	41	3	8	6
平成23年	52	37	4	6	5
平成24年	55	38	1	4	12
平成25年	55	33	9	4	9
平成26年	57	39	2	6	10
年平均	61.6	44.1	2.9	5.8	8.8

平成26年中の出火件数は57件であり、前年の55件と比べ2件増加した。火災種別区別に出火件数をみると、建物火災が39件（全体の68.5%）と最も多く、次いでその他火災10件（17.5%）、車両火災6件（10.5%）、林野火災2件（3.5%）となっている。

これらを前年に比べると、建物火災が6件の増、その他火災が1件の増、車両火災が2件の増、林野火災が7件の減となっている。

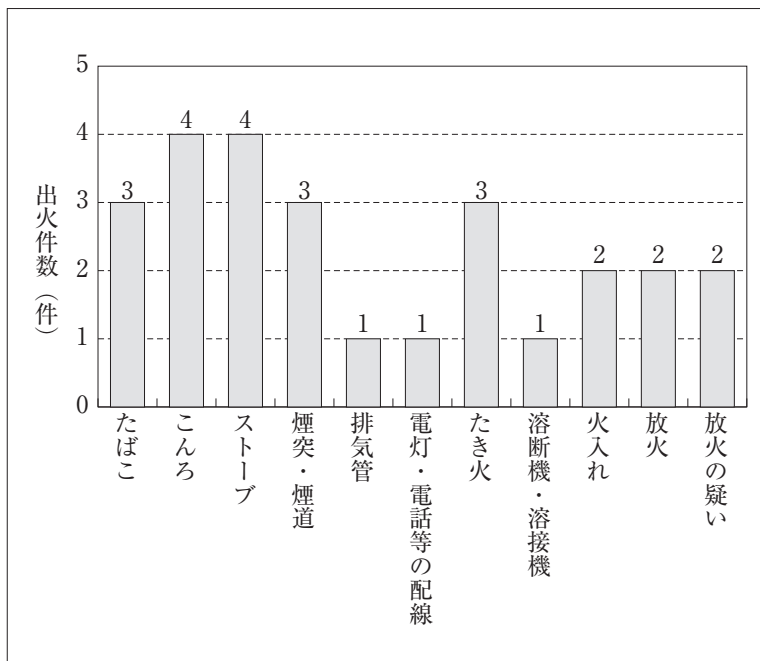
## 2 火災による死者等の状況



平成26年中の火災による死者数は3人で、前年と比べ1人の減であった。また、年齢・性別では、50歳以上の男性が2人、女性1人であった。また、火災による死者のすべてが応急消火義務者であった。

火災による負傷者は15人で、前年に比べると3人増加した。また、年齢別では、15歳未満が3人、15歳以上65歳未満7人、65歳以上5人となっており、性別では、男性7人、女性8人となっている。

### 3 出火原因



出火原因の主なものは、こんろ、ストーブ各4件、たばこ、煙突・煙道、たき火各3件となっており、これらの出火原因によるものが全体の29.8%を占めている。前年（平成25年）の出火原因で最も多かったストーブは（前年5件）1件減少し、電灯・電話等の配線は1件（前年4件）で3件減少した。

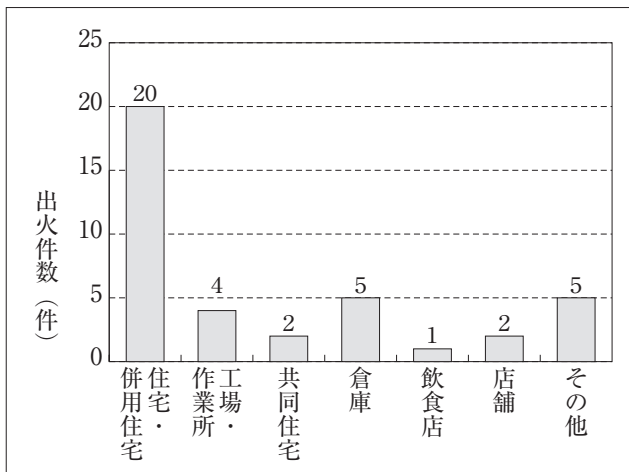
### 4 総出火件数

区分	平成26年	%	平成25年	%	
建物火災	39	68.5	33	60.0	
焼損程度別	(全焼)	(13)	(33.3)	(15)	(45.5)
	(半焼)	(3)	(7.7)	(2)	(6.1)
	(部分焼)	(9)	(23.1)	(5)	(15.2)
	(ぼや)	(14)	(35.9)	(11)	(33.3)
林野火災	2	3.5	9	16.4	
車両火災	6	10.5	4	7.2	
その他火災	10	17.5	9	16.4	
計	57	100.0	55	100.0	

火災の内訳は左表のとおりとなっており、総出火件数は前年（55件）と比べ2件増加した。建物火災における焼損程度別では、全焼が13件、半焼が3件、部分焼が9件、ぼやが14件となっている。

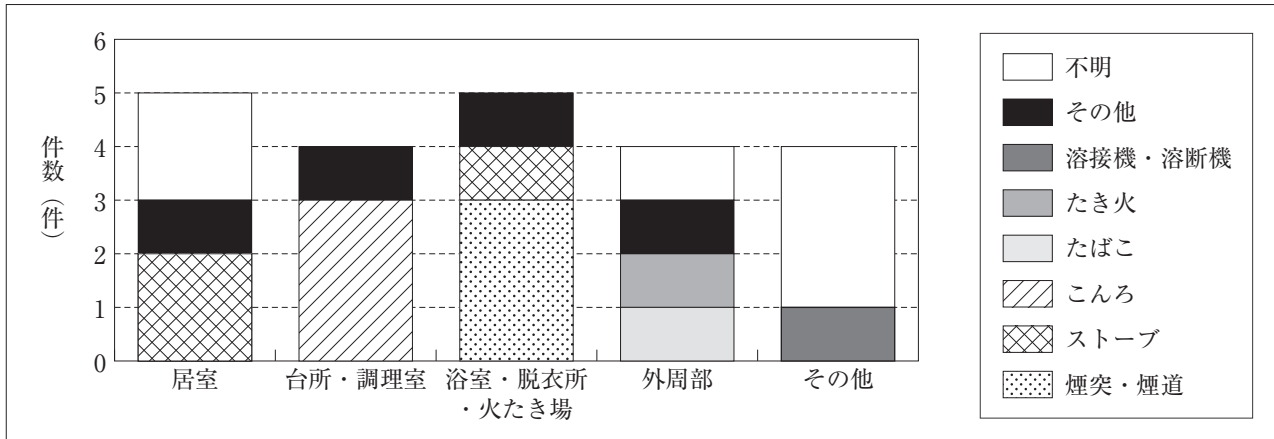
### 5 建物火災用途別内訳

用途別	平成26年	平成25年	前年比
住宅・併用住宅	20	20	0
工場・作業所	4	1	3
共同住宅	2	4	-2
倉庫	5	4	1
飲食店	1	0	1
事務所	0	2	-2
店舗	2	2	0
その他	5	0	5
計	39	33	6



建物火災の用途別内訳は上記のとおりであり、住宅火災（併用住宅、共同住宅含む）が22件（56.4%）と前年同様に建物火災に占める割合が多くなっている。

## 6 住宅火災（併用住宅、共同住宅を含む）における発火源と出火箇所の関係



出火箇所 \ 発火源	居室	台所・調理室	浴室・脱衣所・火たき場	外周部	その他	合計
煙突・煙道			3			3
ストーブ	2		1			3
こんろ		3				3
たばこ				1		1
たき火				1		1
溶接機・溶断機					1	1
その他	1	1	1	1		4
不明	2			1	3	6
合計	5	4	5	4	4	22

### 住宅火災（共同住宅含む）の原因と予防対策について

全火災件数に占める建物火災の割合は68.4%を占め、建物火災に対する住宅火災が56.4%を占めている現状から、住宅火災における発火源と出火箇所の関係をみると、発火源別では、煙突・煙道、ストーブ、こんろ各3件、これらが住宅火災全体の出火原因の40.9%を占めている。出火箇所では、居室5件（22.7%）、浴室、脱衣所、火たき場が5件（22.7%）、台所及び調理場が4件（18.2%）となっており、これらの出火箇所が住宅火災の出火箇所の63.6%を占めている。更に出火箇所における原因では、居室において、ストーブ2件の出火があり、ストーブ燃料の誤給油等の取扱不良や不注意に起因する原因であることが顕著に現れている。また、浴室・脱衣所・火たき場において、煙突・煙道3件の出火があったことから適切な設置方法等を周知することが必要である。

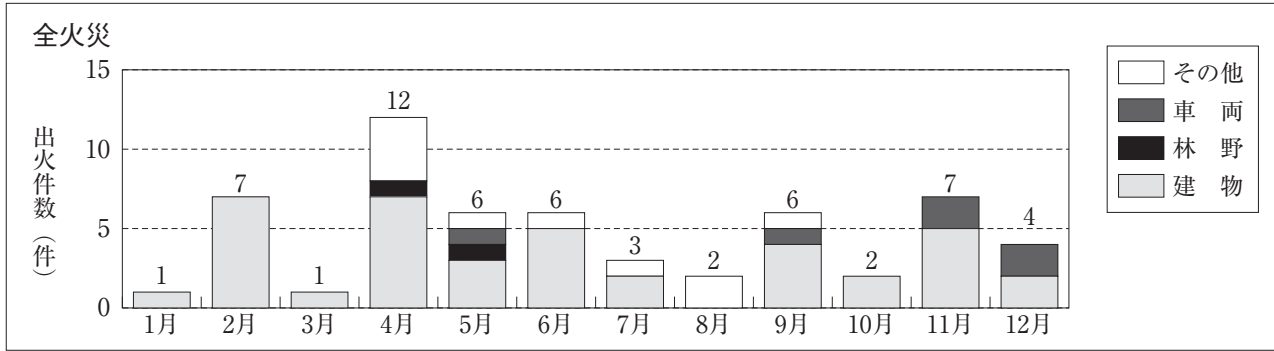
「居室、台所」からの出火が住宅火災の40.9%（前年62.5%）を占めている。

「煙突・煙道、ストーブ、こんろ」を原因とする住宅火災が40.9%を占めている。

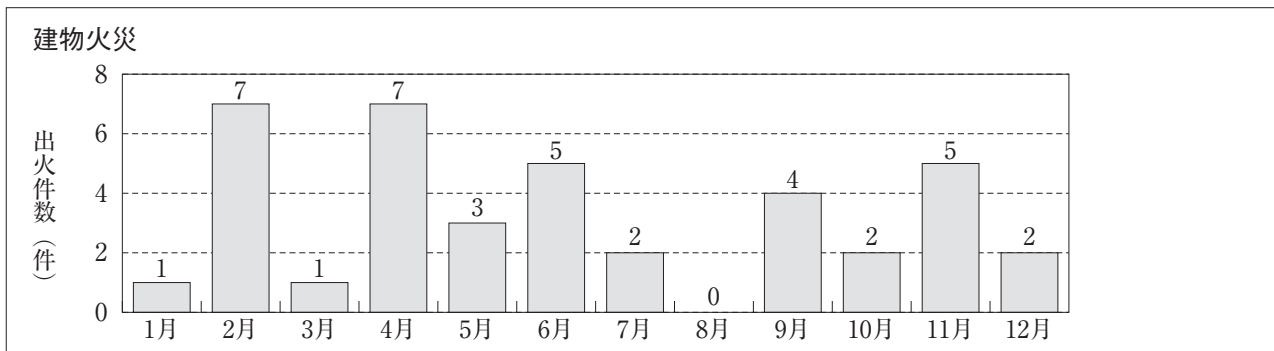
居室においてストーブ取扱不良や不注意に起因する火災が発生していることから居室等における「ストーブ」の適正な取り扱いと管理の指導徹底、特に一人暮らし高齢者家庭等を訪問する機会の多い福祉関係者等に対しての積極的な働きかけを行い、一人ひとりが細心の注意を払って防火に取り組む姿勢を植え付けることが最も重要なことである。

これらの建物火災で住宅火災から焼死者を出さないために、平成23年6月からは、すべての住宅に対し住宅用火災警報器を設置することが義務付けられたことから、関係機関との連携を強め積極的な設置推進を図るとともに、適正な設置、維持管理について積極的な広報活動を図らなければならない。

## 7 月別火災発生状況

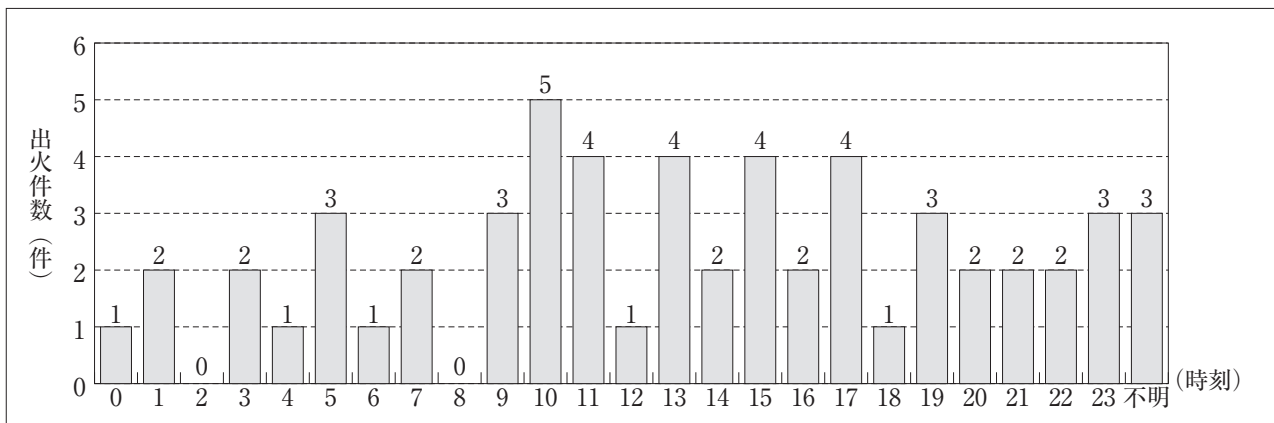


火災種別 \ 月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
建物	1	7	1	7	3	5	2		4	2	5	2	39
林野				1	1								2
車両					1				1		2	2	6
その他				4	1	1	1	2	1				10
合計	1	7	1	12	6	6	3	2	6	2	7	4	57



平成26年の月別火災発生状況を見ると、冬期間の12月から3月の建物火災の件数は11件（建物火災全体の28.2%）となっている。火災の発生しやすい3月から5月の火災発生件数は19件（全体の33.3%）となっている。

## 8 時間別火災発生状況



平成26年の時間別火災発生状況では、10時から17時の時間帯に発生した火災件数が高い数値を示しており、この時間帯に発生した火災の出火原因は、こんろ、ストーブ、たばこ、煙突・煙道、たき火、火入れなどとなっている。

# 平成 26 年 火 災 総 括 表

種 別 市町村別	出 火 件 数							焼 損 棟 数								り 災 世 帯 数	火 災 に よ る 死 者	う ち 自 殺 者	負 傷 者 数	
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計	前 年 同 期	増 減	火元建物				延焼建物								合 計
								全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ や	全 焼	半 焼	部 分 焼	ほ や					
会津若松市	19	2	1	7	29	30	△1	4	2	6	7	2	1		2	24	15	1		9
磐 梯 町	3		2		5	3	2	1		1	1	1				4				
猪 苗 代 町	3		2		5	6	△1		1		2					3	1			
会津坂下町	4				4	2	2	2		1	1			2		6	2	1		5
湯 川 村	1			2	3		3	1				1		1	1	4	3			
柳 津 町	3				3	3		1			2				1	4	3			
三 島 町	1				1	1		1				1				2				
金 山 町	2		1		3	2	1	2				4				6	2			
昭 和 村						1	△1													
会津美里町	3			1	4	7	△3	1		1	1			2		5	5	1		1
合 計	39	2	6	10	57	55	2	13	3	9	14	9	1	5	4	58	31	3		15

前 年 同 期	33	9	4	9	55			15	2	5	11	7	1	10	3	54	34	4	1	12
増 減	6	△7	2	1	2			△2	1	4	3	2		△5	1	4	△3	△1	△1	3

種 別 市町村別	た ば こ	こ ん ろ	か ま 呂 ど 釜	炉 ・ 焼 却 炉	ス ト ー ブ	ボ イ ラ ー	煙 突 ・ 煙 道	こ た つ	排 気 管	電 機 機 器	電 機 装 置	電 灯 ・ 電 話	等 の 配 線	内 燃 機 関	配 線 器 具
会津若松市	3	2			3								1		
磐 梯 町															
猪 苗 代 町					1		1		1						
会津坂下町		1													
湯 川 村															
柳 津 町		1													
三 島 町															
金 山 町							1								
昭 和 村															
会津美里町							1								
合 計	3	4			4		3		1				1		

前 年 同 期	2	2	3	1	5		4						4		
増 減	1	2	△3	△1	△1		△1		1				△3		



平成26年1月1日～平成26年12月31日

焼 損 面 積			損 害 額 (千円)						
建物 (㎡)		林 野 (a)	建 物	収容物	林 野	車 両	その他	爆 発	合 計
床 面 積	表 面 積								
732	13	5	17,101	23,253	11	3,250	216		43,831
225	135		3,538	3,194		4,210			10,942
75			649	64		490			1,203
425	21		12,886	339		547	204		13,976
353	31		7,619	538			9		8,166
212	2		652	390					1,042
15		10	107	19			90		216
595			7,479	8,130		50			15,659
77	7		966	245					1,211
2,709	209	15	50,997	36,172	11	8,547	519		96,246

4,425	177	169	117,979	38,202	83	2,555	1,831		160,650
△ 1,716	32	△ 154	△ 66,982	△ 2,030	△ 72	5,992	△ 1,312		△ 64,404

火 遊 び	ラ マ イ ッ タ ー チ	た き 火	溶 接 機 器	溶 断 機 器	灯 火	衝 突 の 火 花	取 灰	火 入 れ	放 火	うち 放 火 自 損	放 火 の 疑 い	そ の 他	調 査 中 明	合 計
		1						1	2			9	7	29
		1									1	2	1	5
												1	1	5
			1					1				1		4
											1		2	3
												1	1	3
		1												1
												1	1	3
													3	4
		3	1					2	2		2	15	16	57

	1	7					2	3	3	2	1	9	8	55
	△ 1	△ 4	1				△ 2	△ 1	△ 1	△ 2	1	6	8	2

火  
災

## 昭和47年以降の主な火災事例

発生年月日	出火時分	出火市町村	用 途	全 焼	半 焼 等	死・傷者等	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	
S47 5/12	22:30	会津若松市	住 宅 非 住 宅	住8、非9	3	死 者 1 負傷者 8	2,625	25,000	
S48 4/21	19:00	昭 和 村	住 宅	14	3	死 者 1 負傷者 1	933	15,000	
	4/30 11:00	猪苗代町	林 野 原 野	-	-	-	50ha	6,915	
S49 5/13	13:00	〃	〃	-	-	-	16ha	5,140	
	7/20 4:30	会津本郷町	工 場	1	2	-	496	12,738	
S50 8/23	3:00	会津高田町	納 屋	3	-	-	307	3,000	
	10/28 3:40	会津若松市	工 場	1	-	-	508	35,000	
S51 5/19	2:30	〃	工 場	2	-	-	927	61,102	
	5/28 6:10	会津坂下町	店 舗 兼 宅 住	4	4	-	762	22,290	
	7/10 22:30	〃	住 宅	3	1	-	320	7,000	
	12/ 7 20:10	湯 川 村	工 場	-	1	負傷者 1	472	130,000	
S52 3/ 3	18:15	柳 津 町	旅 館	1	-	-	1,230	55,000	
	9/ 3 3:20	会津坂下町	工 場	1	-	-	1,119	90,000	
	12/18 4:57	会津若松市	旅 館	1	-	死 者 4 負傷者11	2,038	100,000	
S53 3/22	23:50	柳 津 町	住 宅	1	4	-	413	8,000	
S55 9/ 3	0:50	会津高田町	共同住宅	1	2	死 者 1 負傷者 3	517	13,000	
S57 5/ 9	8:00	〃	養 鶏 舎	2	-	-	342	3,700	
S59 1/ 1	4:15	会津坂下町	寺 院	2	-	-	367	6,800	
	5/ 7 16:23	河 東 町	工 場	1	-	負傷者 1	488	9,710	
	5/ 9 2:50	金 山 町	店 舗	2	-	-	320	8,325	
S60 2/16	2:20	会津高田町	工 場	2	3	-	402	40,000	
	4/23 5:05	会津若松市	住 宅	1	-	死 者 3 負傷者 1	193	8,000	
S62 5/ 9	7:35	会津坂下町	工 場	2	-	-	719	14,300	
S63 4/24	10:30	金 山 町	住 宅	1	2	死 者 1	298	7,740	
	5/ 2 3:28	会津若松市	連続放火6件	全焼1、車両1、その他4			139	129,000	
	11/ 7 21:30	北 会 津 村	農作業所	3	3	-	309	9,910	
H元 4/ 4	13:25	金 山 町	住 宅	3	-	-	534	11,450	
H 3 12/10	16:45	猪苗代町	箕輪スキー場東側にて温泉掘削中、可燃性ガスが噴出（地下600mより）し、高さ10mの炎上がる						
H 4 2/12	22:10	三 島 町	住 宅	2	-	-	417	8,109	
H 5 6/ 9	14:30	会津若松市	ホ テ ル	1	1	負傷者 1	923	6,200	

発生年月日	出火時分	出火市町村	用 途	全 焼	半 焼 等	死・傷者等	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)	
H5 9/21	23:25	会津坂下町	空 き 家	1	-	負傷者 1	373	16,950	
H6 5/29	1:30	会津高田町	連続放火	→ パイプ車庫2ヶ所					
	5/31 0:24	〃	連続放火	→ パイプ車庫2ヶ所、ビニールハウス1ヶ所					
H7 6/15	17:35	河 東 町	工 場	(爆発)		死 者 1 負傷者 5	194	159,868	
	11/22 12:40	会津若松市	住 宅	2	3	死 者 1	507	4,710	
H8 11/14	2:55	会津坂下町	店 舗 兼 住 宅	2	5	負傷者 1	369	19,542	
	12/31 4:45	〃	倉 庫	1	2	-	500	15,130	
H9 5/11	19:40	会津若松市	工 場	-	1	-	100	83,746	
	6/16 1:45	金 山 町	住 宅	2	1	-	319	20,933	
	9/7 2:03	新 鶴 村	作 業 所	4	-	-	326	35,000	
	9/19 2:40	会津坂下町	工 場	4	4	-	1,116	30,839	
H10 2/5	5:05	会津若松市	工 場	1	-	-	841	36,150	
	5/2 12:20	〃	住 宅	2	3	死 者 2	149	2,450	
H11 2/24	2:10	新 鶴 村	住 宅	3	4	-	495	11,325	
	12/25 16:00	会津若松市	住 宅 兼 倉 庫	1	-	-	483	30,590	
H12 8/24	13:40	河 東 町	寺 院	1	文化財 八葉寺 阿弥陀堂		46	13,000	
	9/2 2:50	会津若松市	店 舗 兼 アパ-ト	3	4	負傷者 1	754	21,015	
	12/11 4:00	会津高田町	住 宅	3	-	-	192	21,369	
H13 1/23	9:05	猪苗代町	住 宅	1	-	死 者 2	185	56,000	
	9/1 13:25	会津坂下町	店 舗 兼 住 宅	3	1	-	797	24,740	
H14 1/30	15:40	会津若松市	小 学 校	-	1	-	770	72,190	
	11/18 12:20	河 東 町	寺 院	1	会津無門庵 (正法寺別院)		204	26,000	
H15 1/6	5:35	猪苗代町	住 宅	1	-	死 者 2	175	2,900	
H16 2/28	2:15	会津若松市	住 宅	2	1	死 者 2 負傷者 2	215	10,890	
H18 1/24	12:45	会津坂下町	中 学 校 体 育 館	1	-	-	964	27,729	
	11/4 2:00	猪苗代町	住 宅	1	-	死 者 1 負傷者 1	564	22,572	
H19 2/28	0:35	会津若松市	飲 食 店	1	2	-	400	51,396	
	12/27 8:50	会津若松市	住 宅	1	1	死 者 1	115	1,698	

発生年月日	出火時分	出火市町村	用 途	全 焼	半 焼 等	死・傷者等	焼損面積 (㎡)	損害額 (千円)
H19 12/31	13:40	会津若松市	駅 舎	-	1	-	77	9,870
H20 3/16	5:20	湯 川 村	工 場	-	1	-	1,411	564,413
10/29	18:45	会津美里町	神 社	1	-	-	250	34,555
12/16	6:20	会津坂下町	住 宅	1	-	死 者 1	160	3,286
H22 2/ 4	6:00	会津坂下町	事 務 所	1	-	死 者 1	10	455
5/ 9	17:30	昭 和 村	住 宅	1	3	死 者 1 負 傷 者 1	217	6,133
12/11	4:50	会津若松市	住 宅	1	-	死 者 1	274	3,477
H24 1/27	3:00	会津美里町	住 宅	2	-	死 者 1	289	26,917
6/17	6:15	会津若松市	そ の 他 複 合 用 途	-	1	死 者 1	374	36,733
8/ 9	9:30	会津坂下町	畑	-	-	死 者 1	-	-
12/27	12:10	会津坂下町	住 宅	1	3	死 者 1	290	4,899
H25 3/18	15:40	会津若松市	住 宅	-	1	死 者 1	1	20
5/ 9	15:00	柳 津 町	畑	-	-	死 者 1	24 a	25
5/10	15:10	柳 津 町	天 然 林	-	-	死 者 1	10 a	-
H26 2/18	5:20	会津若松市	住 宅	1	-	死 者 1	46	1,137
2/26	20:00	会津美里町	住 宅	1	2	死 者 1 負 傷 者 1	83	1,209
11/17	1:50	会津坂下町	住 宅	1	1	死 者 1 負 傷 者 4	231	7,747

(備考) 死者が生じたもの(自損又は30日死者を除く)、5世帯以上がり災したもの、公共施設の建物火災(公共住宅は除く)、危険物に係る事故を掲げた。



## 各種災害発生件数の推移

種 別 \ 年 別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
火災発生件数	61件	53件	57件	57件	60件
救助発生件数	98件	84件	86件	90件	112件
その他の発生件数	439件	437件	418件	439件	424件
計	598件	574件	561件	586件	596件

## 地域別災害発生件数

平成26年1月1日～平成26年12月31日

地域別	種別	火災	救助	警戒	合計
会津若松市		29	72	280	381
磐梯町		5	2	8	15
猪苗代町		5	13	39	57
会津坂下町		4	4	33	41
湯川村		3		6	9
柳津町		3	2	5	10
三島町		1	3	4	8
金山町		3	2	7	12
昭和村			2	5	7
会津美里町		4	10	25	39
高速道路			1	10	11
管轄外		3	1	2	6
合計		60	112	424	596

## 署所別災害出動件数

平成26年1月1日～平成26年12月31日

署所別	種別	火災	救助	警戒	合計
会津若松消防署		31	88	220	339
城南分署		17	12	58	87
小松出張所		5	1	7	13
十文字出張所		17	5	20	42
猪苗代消防署		10	12	47	69
磐梯出張所		10	3	10	23
会津坂下消防署		11	14	41	66
柳津出張所		4	3	7	14
三島出張所		4	3	3	10
金山出張所		3	3	7	13
昭和出張所		1	1	7	9
会津美里消防署		5	14	30	49
合計		118	159	457	734

※ 事案により複数の署所から出動するため、地域別の合計値と差異がある。

# 月別火災発生件数

平成26年1月1日～平成26年12月31日

月別	災害種別	建 物	林 野	車 両	その他	合 計
1 月		1				1
2 月		7				7
3 月		1				1
4 月		7	1		4	12
5 月		3	1	1	1	6
6 月		7			1	8
7 月		2			1	3
8 月					2	2
9 月		4		1	1	6
10 月		2				2
11 月		5		2	1	8
12 月		2		2		4
合 計		41	2	6	11	60

# 地域別火災発生状況

平成26年1月1日～平成26年12月31日

地域別	災害種別	建 物	林 野	車 両	その他	合 計
会津若松市		19	2	1	7	29
磐梯町		3		2		5
猪苗代町		3		2		5
会津坂下町		4				4
湯川村		1			2	3
柳津町		3				3
三島町		1				1
金山町		2		1		3
昭和村						0
会津美里町		3			1	4
高速道路						0
管轄外		2			1	3
合 計		41	2	6	11	60

# 署所別火災出動状況

平成26年1月1日～平成26年12月31日

署所別	災害種別	建 物	林 野	車 両	その他	合 計
会津若松消防署		21	2	1	7	31
城南分署		12	2		3	17
小松出張所		3			2	5
十文字出張所		11	1	1	4	17
猪苗代消防署		6		4		10
磐梯出張所		6	2	2		10
会津坂下消防署		10	1			11
柳津出張所		4				4
三島出張所		4				4
金山出張所		2		1		3
昭和出張所		1				1
会津美里消防署		4			1	5
合 計		84	8	9	17	118

※ 事案により複数の署所から出動するため、月別及び地域別の合計値と差異がある。

## 月別救助発生状況

平成26年1月1日～平成26年12月31日

事故種別 月別	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	合計
	建物	建物以外									
1月	1		4				1			1	7
2月	3		8				1				12
3月			9				1			2	12
4月			5			1				1	7
5月	1		3	1		1				5	11
6月	1	1	6							4	12
7月			7							1	8
8月			5	1						2	8
9月	1	1	6							6	14
10月	2		4							4	10
11月			2							1	3
12月	1	1	5							1	8
合計	10	3	64	2	0	2	3	0	0	28	112

## 地域別救助発生状況

平成26年1月1日～平成26年12月31日

事故種別 地域別	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	合計
	建物	建物以外									
会津若松市	10	2	38	1		1	3			17	72
磐梯町		1								1	2
猪苗代町			9							4	13
会津坂下町			4								4
湯川村											0
柳津町			2								2
三島町			1							2	3
金山町			1							1	2
昭和村			1							1	2
会津美里町			7			1				2	10
高速道路 管轄外			1								1
合計	10	3	64	2	0	2	3	0	0	28	112

## 署所別救助出動状況

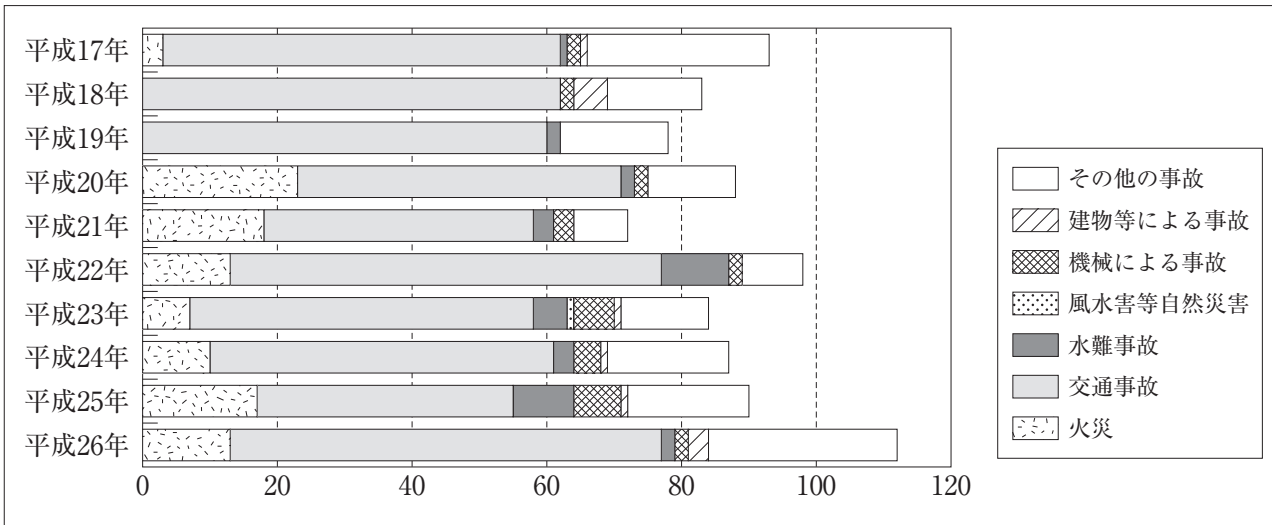
平成26年1月1日～平成26年12月31日

事故種別 署所別	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械に よる事故	建物等に よる事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他 の事故	合計
	建物	建物以外									
会津若松消防署	10	3	50	1		2	3			19	88
城南分署			8	1						3	12
小松出張所			1								1
十文字出張所			4							1	5
猪苗代消防署			8							4	12
磐梯出張所			1							2	3
会津坂下消防署			11							3	14
柳津出張所			3								3
三島出張所			2							1	3
金山出張所			2							1	3
昭和出張所										1	1
会津美里消防署			10			1				3	14
合計	10	3	100	2	0	3	3	0	0	38	159

※ 事案により複数の署所から出動するため、月別及び地域別の合計値と差異がある。



# 救助件数の推移



事故種別 年 別	合 計	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物 火 災	建 物 火 災 以 外								
平成17年	93	2	1	59	1		2	1			27
平成18年	83			62			2	5			14
平成19年	78			60	2						16
平成20年	88	22	1	48	2		2				13
平成21年	72	18		40	3		3				8
平成22年	98	12	1	64	10		2				9
平成23年	84	6	1	51	5	1	6	1			13
平成24年	86	9	1	51	3		4				18
平成25年	90	15	2	38	9		7	1			18
平成26年	112	10	3	64	2		2	3			28
合 計	884	94	10	537	37	1	30	11	0	0	164

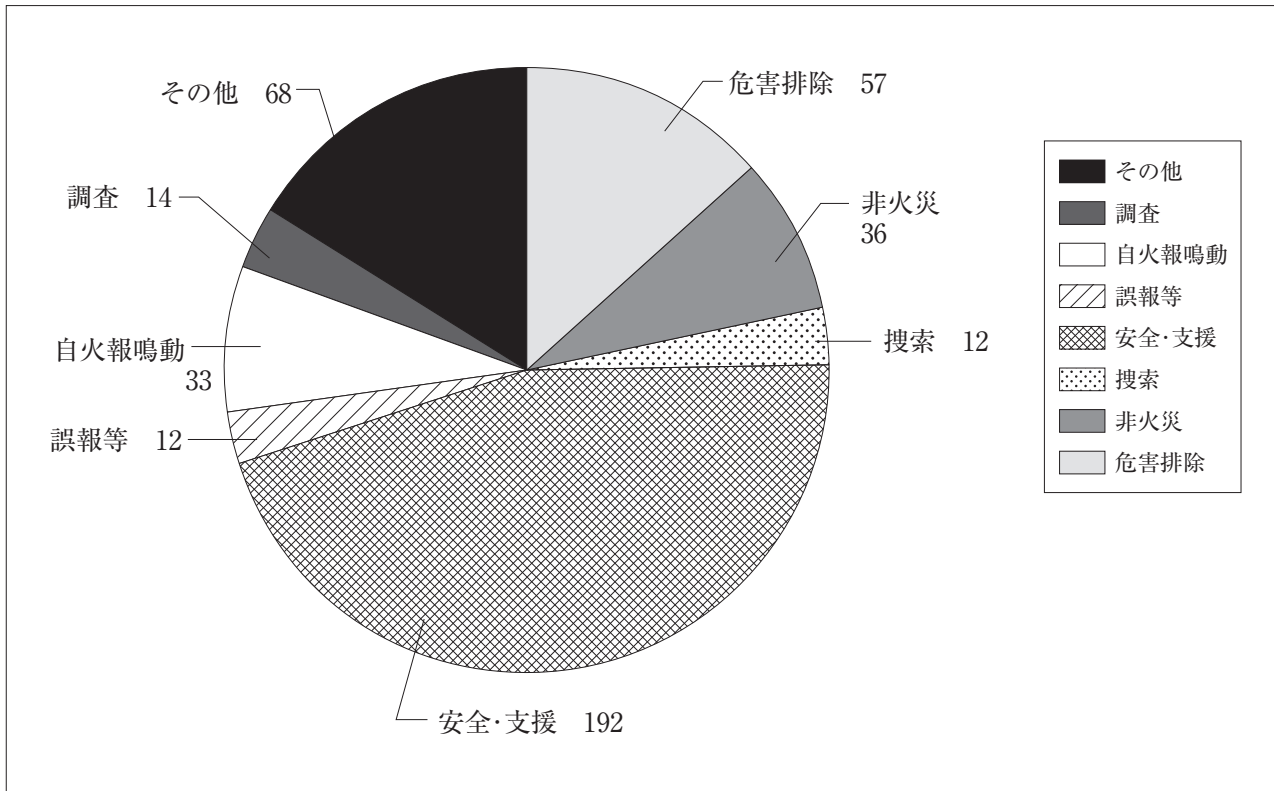
平成26年中における救助発生件数は、112件（前年比22件増）、救出人員は、65名（前年比13名増）である。なお、平成20年より火災事案には、特別救助隊の出動件数が含まれる。

112件の内訳は、火災事案13件、交通事故64件、水難事故2件、機械事故2件、その他の事故31件であり、交通事故が全体の約60%を占めている。

過去10年間を比較すると、総発生件数が884件で、交通事故が537件（61%）、水難事故が37件（4.1%）、自然災害1件（0.1%）、機械事故30件（3.4%）、建物等事故11件（1.2%）、その他の事故164件（18%）となり、交通事故が全体の約6割となっている。

# 警戒発生件数の内訳

平成26年1月1日～平成26年12月31日



※その他には水害、雪害による発生件数が含まれる。

平成26年中における警戒発生件数は、424件（前年比15件減）である。

424件の内訳は、危害排除57件、非火災36件、検索12件、安全・支援192件、誤報等12件、自火報鳴動33件、調査14件、その他68件であり、救急隊を支援活動する安全支援が全体の45%を占めている。

# 月別警戒発生状況

平成26年1月1日～平成26年12月31日

月別	種別	危害排除	非火災	検索	安全・支援	誤報等	自火報鳴動	調査	その他	合計
1月		2			8		4	1	3	18
2月		2	1		16		2	2	13	36
3月		3			16	2	1	1	3	26
4月		4	19		9	2		2	1	37
5月		2	3		22		1	1		29
6月		6	5	2	19	1	4		4	41
7月		8	1	1	16	3	4		11	44
8月		7		3	18	1	5	2	17	53
9月		5	1	2	19	1	3	1	1	33
10月		5	4	3	14		2	1	3	32
11月		5	1		15		2	2	2	27
12月		8	1	1	20	2	5	1	10	48
合計		57	36	12	192	12	33	14	68	424

# 地域別警戒発生状況

平成26年1月1日～平成26年12月31日

種別 地域別	危害排除	非火災	捜索	安全・支援	誤報等	自火報鳴動	調査	その他	合計
会津若松市	32	18	2	145	8	25	7	43	280
磐梯町		2		4		1		1	8
猪苗代町	5	7	3	13	1	3	1	6	39
会津坂下町	7	2	2	16	1		3	2	33
湯川村	1	2					1	2	6
柳津町	2						1	2	5
三島町			1	2				1	4
金山町	2	1	1	2				1	7
昭和村			3			2			5
会津美里町	8	2		2		2	1	10	25
高速道路 管轄外		2		8	2				10
合計	57	36	12	192	12	33	14	68	424

# 署所別警戒出動状況

平成26年1月1日～平成26年12月31日

種別 署所別	危害排除	非火災	捜索	安全・支援	誤報等	自火報鳴動	調査	その他	合計
会津若松消防署	20	15	2	125	7	15	5	31	220
城南分署	6	9		19	2	8		14	58
小松出張所	2	2				2		1	7
十文字出張所	4	6		3			3	4	20
猪苗代消防署	5	9	3	18	2	3	1	6	47
磐梯出張所		3		3	2	1		1	10
会津坂下消防署	7	5	2	19	2		3	3	41
柳津出張所	2			1			1	3	7
三島出張所		1	1					1	3
金山出張所	1	1	1	3				1	7
昭和出張所	1	1	3			2			7
会津美里消防署	11	3		3		2	1	10	30
合計	59	55	12	194	15	33	14	75	457

※ 事案により複数の署所から出動するため、月別及び地域別の合計値と差異がある。

# 磐越自動車道路死亡事故件数

磐越道開通月日 平成3年8月7日（磐梯熱海インター～猪苗代磐梯高原インター）  
 平成4年10月29日（猪苗代磐梯高原インター～会津坂下インター）  
 平成8年10月17日（会津坂下インター～西会津インター）

NO.	発生日時	発生場所	消防自動車等 救急自動車	負傷者 (死者数)	事故概要
1	平成5年7月7日 9時15分	磐越自動車道上り線 新中山トンネル入口 86Kpt付近	1 台 2 台	男 2(2) 女 2(2)	反対車線に飛び出した乗用車が 対向車の普通トラックと衝突し た交通事故。
2	平成5年8月27日 18時04分	磐越自動車道上り線 121Kpt付近	2 台 2 台	男 2(2)	下り車線を走行していた乗用車 が中央分離帯を乗り越え、上り 車線走行中の乗用車に正面衝突 した交通事故。
3	平成5年8月31日 5時56分	磐越自動車道下り線 磐梯町布藤橋 106Kpt付近	1 台 1 台	男 1(1)	2 tトラックが横転し機関部よ り出火した単独事故。
4	平成6年6月13日 18時54分	磐越自動車道下り線 会津坂下町勝大地内 128Kpt付近	2 台 1 台	男 1 女 2(1)	上り車線を走行していた普通乗 用車がハンドル操作を誤り反対 車線ガードレールに衝突した交 通事故。
5	平成8年4月15日 8時41分	磐越自動車道下り線 磐梯河東IC付近 110Kpt地点	1 台 1 台	男 1(1)	磐梯河東IC出口分岐点に衝突 した単独事故。
6	平成10年12月1日 6時03分	磐越自動車道上り線 123Kpt付近	10 台 6 台	男 22(2) 女 12	濃霧により先頭車が停止したと ころへ大型トラック14台、大型 バス1台、乗用車3台が玉突き 状態になった追突事故。
7	平成13年3月23日 18時48分	磐越自動車道上り線 磐梯町大字更科字遠平 地内 104.3Kpt付近	2 台 2 台	男 2(1) 女 2	普通乗用車同士の衝突事故。
8	平成17年4月28日 6時19分	磐越自動車道上り線 猪苗代町大字磐里字島 田前地内 100.7Kpt地点	5 台 11 台	男 15(3) 女 8	大型バス（仙台行き高速夜行バ ス）が横転した単独事故。
9	平成19年1月29日 6時42分	磐越自動車道下り線 磐梯河東IC付近 110Kpt地点	2 台 1 台	男 1(1)	2 tトラックが10 tトラックに 後方から追突した交通事故。
10	平成20年5月2日 1時51分	磐越自動車道上り線 会津若松市一箕町松長 地内 114Kpt地点	1 台 1 台	男 1(1)	下り線を走行していたトラック が中央分離帯を突き破り上り車 線路肩に衝突、運転手が車外放 出された単独事故。
11	平成24年5月30日 13時15分	磐越自動車道上り線 121Kpt地点	5 台 3 台	男 5(2)	道路工事による交通規制のため 停車していた貨物車に大型貨物 車が追突し、その弾みで貨物車 が前方車両の大型貨物車に追突 した玉突き事故。

# 緊急消防援助隊

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の教訓を踏まえ、国内で発生した地震等の大規模災害に際し、全国の消防機関相互が迅速に援助し、人命救助活動をより効果的かつ充実したものとするため、緊急消防援助隊が発足、指揮支援部隊、消火部隊、救助部隊、救急部隊及び後方支援部隊等により構成されている。

- 1 沿革
- 平成7年6月30日 緊急消防援助隊発足
  - 平成8年1月16日 福島県緊急消防援助隊合同訓練参加（福島市）  
隊旗授与
  - 平成17年10月22日 新潟中越地震  
消火隊（1隊5名）、救急隊（1隊3名）、後方支援隊（1隊2名）
  - 平成20年6月14日 岩手・宮城内陸地震（第1次隊）  
消火隊（1隊5名）、救急隊（1隊3名）、後方支援隊（2隊4名）
  - 平成20年6月16日 岩手・宮城内陸地震（第2次隊）  
救助隊（1隊5名）、後方支援隊（2隊4名）
  - 平成20年7月24日 岩手県沿岸北部地震  
救急隊（1隊3名）、後方支援隊（2隊4名）

## 2 当消防本部緊急消防援助隊登録部隊

隊の種類	登録隊数	登録人員	車両等種別区分（車両名）	登録年月
消火隊	4隊	5名	水槽付消防ポンプ自動車（若松1）	平成21年3月
		5名	消防ポンプ自動車（若松3）	平成22年4月
		5名	水槽付消防ポンプ自動車（猪苗代1）	平成20年4月
		5名	水槽付消防ポンプ自動車（坂下1）	平成16年4月
救助隊	1隊	5名	救助工作車Ⅱ型（救工1）	平成20年4月
救急隊	4隊	3名	高規格救急車（救急若松2）	平成18年4月
		3名	高規格救急車（救急猪苗代1）	平成18年4月
		3名	高規格救急車（救急坂下1）	平成15年4月
		3名	高規格救急車（救急美里1）	平成16年4月
その他の特殊装備隊	1隊	3名	大型水槽車（水槽1）	平成8年12月
後方支援隊	2隊	2名	資機材搬送車2tトラック（資材1）	平成15年4月
		3名	指揮車（若松指揮1）	平成18年4月

## 3 第一次出動応援範囲

宮城県、山形県、栃木県、新潟県、茨城県

## 4 出動準備応援範囲

北海道、青森県、岩手県、秋田県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

## 5 首都直下地震対応先

東京都 第二次応援部隊





## 救急出場件数及び搬送人員の推移

年 別 事故別	平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		平成26年	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
急病事故	5,645	5,436	6,260	6,082	6,373	6,114	6,387	6,163	6,250	6,045
交通事故	688	856	690	818	646	794	680	810	718	843
その他の事故	1,828	1,740	2,058	1,930	2,061	1,929	2,099	1,993	2,174	1,997
合 計	8,161	8,032	9,008	8,830	9,080	8,837	9,166	8,966	9,142	8,885

### 概 要

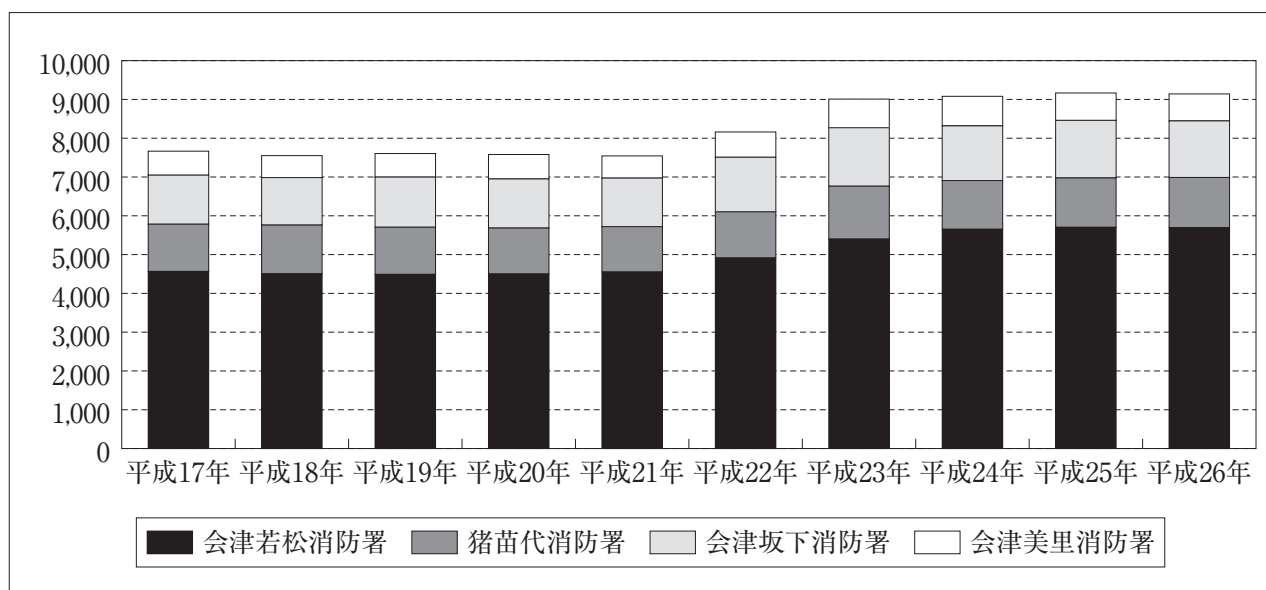
平成26年中における救急出場状況は、昨年に続き9,000件を超える総出場件数9,142件、1日約25件の救急事故が発生し、約57分に1件の割合で救急隊が出場したことになり、広域圏内住民の約21人に1人が救急車で搬送されたことになる。

また、前年と比較して、出動件数で24件の減、搬送人員で81人の減で、出動件数、搬送人員ともに微減となったが、依然として高い水準で推移している。

その中で、交通事故は38件の増となったが、総出場件数の7割近くを占める急病事故で137件の減少に転じている。

全国の数値に目を向けると、救急出場件数は、598万2,849件（対前年比7万1,568件増、1.2%増）、搬送人員は539万9,618人（対前年比5万7,630件増、1.1%増）で救急出場件数、搬送人員ともに過去最多を記録している。

## 最近10年間の救急出場件数の推移（署管内別）



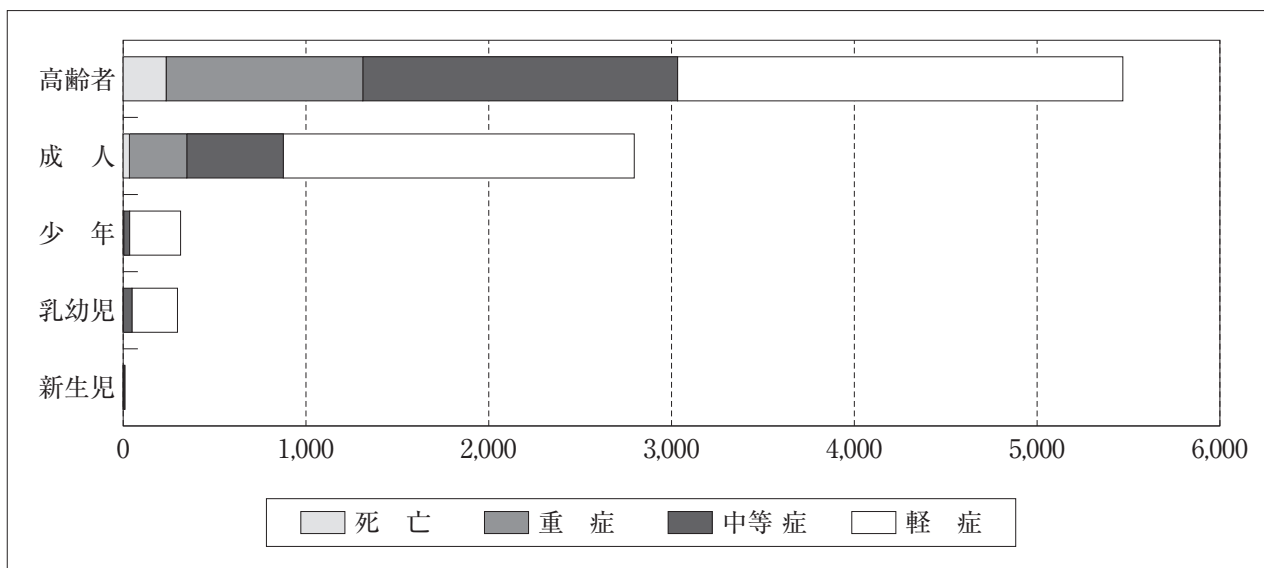
	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
会津若松消防署	4,566	4,505	4,490	4,501	4,551	4,913	5,400	5,653	5,703	5,697
猪苗代消防署	1,217	1,256	1,215	1,183	1,169	1,189	1,363	1,254	1,273	1,291
会津坂下消防署	1,264	1,224	1,293	1,266	1,252	1,407	1,507	1,411	1,484	1,458
会津美里消防署	619	566	607	630	572	652	738	762	706	696
合 計	7,666	7,551	7,605	7,580	7,544	8,161	9,008	9,080	9,166	9,142

過去10年間をみると、平成26年は平成17年の1.2倍（1,476件の増）となっており、圏域内住民の約21人に1人が利用したことになる。



# 傷病程度別・年齢区分別搬送人員

平成26年1月1日～平成26年12月31日



※新生児：生後28日未満の者  
 乳幼児：生後28日以上満7歳未満の者  
 少年：満7歳以上満18歳未満の者  
 成人：満18歳以上満65歳未満の者  
 高齢者：満65歳以上の者

年齢区分 傷病程度	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計
死亡				34	235	269
重症	1	1	3	314	1,076	1,395
中等症	7	47	32	528	1,722	2,336
軽症	1	249	279	1,920	2,436	4,885
その他						0
合計	9	297	314	2,796	5,469	8,885

※死亡：初診時において死亡が確認されたもの  
 重症：3週間以上の入院加療を必要とするもの  
 中等症：3週間未満の入院加療を必要とするもの  
 軽症：入院加療を要しないもの

- 1 年齢別搬送人員は、高齢者の搬送割合が約61.5%と、6割を占め年々増加傾向にある。
- 2 入院加療を必要としない軽症傷病者の割合は、約54.9%を占めている。
- 3 高齢者の傷病程度については成人の中等症以上（入院加療を必要とする）の割合が約31%であるのに対し、高齢者については約55%となっている。

救急

## 現場到着所要時間別出場件数

平成26年1月1日～平成26年12月31日  
(覚知から現場到着までの所要時間)

		3分未満	3～5分	5～10分	10～20分	20分以上	合 計	最短	最長	平均
火	災			5	3	2	10	6	31	13
自 然	災 害									
水	難				2	3	5	13	37	21
交	通	10	40	352	263	53	718	1	244	11
労 働	災 害	6	5	51	26	2	90	1	22	9
運 動	競 技			35	17		52	5	16	9
一 般	負 傷	31	90	731	411	65	1,328	1	56	9
加	害		1	22	10	2	35	4	22	9
自 損	行 為	1	1	51	33	7	93	2	35	11
急	病	178	402	3,611	1,847	212	6,250	1	96	9
そ の 他	転 院 搬 送	11	164	239	39	7	460	1	24	6
	医 師 搬 送									
	資 器 材 等 輸 送									
	そ の 他	2	11	52	31	5	101	1	32	9
合 計		239	714	5,149	2,682	358	9,142			11

## 収容所要時間別搬送人員

平成26年1月1日～平成26年12月31日  
(覚知から病院到着までの所要時間)

		10分未満	10～20分	20～30分	30～60分	60～120分	120分以上	合 計	最短	最長	平均
火	災			1	8	1		10	25	67	40
自 然	災 害										
水	難				2	4		6	44	95	65
交	通		14	159	546	117	7	843	13	270	44
労 働	災 害		2	30	49	8	1	90	13	136	39
運 動	競 技		2	11	39	2		54	19	113	37
一 般	負 傷		28	353	753	128	8	1,270	14	299	40
加	害			11	21	3		35	22	86	39
自 損	行 為		1	15	38	9		63	19	94	41
急	病		138	2,015	3,476	402	14	6,045	12	176	37
そ の 他	転 院 搬 送		14	128	249	62	5	458	16	159	43
	そ の 他			1	5	5		11	29	81	56
合 計			199	2,724	5,186	741	35	8,885			44

# 市町村別救急出場件数

平成26年1月1日～平成26年12月31日

	出 場 件 数														
	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転搬 院送	医搬 師送	資器等 器材送	その 他	
会津若松市	5		2	439	51	28	782	28	73	3,834	169			78	5,489
磐梯町				14	3		42		1	113	35			1	209
猪苗代町			3	90	14	12	153	2	3	565	88			6	936
会津坂下町	3			65	9	5	111		7	544	59			2	805
湯川村				13	1	1	20			90					125
柳津町	1			13	1		36		4	178	2			1	236
三島町				5	1		9		1	49	45			2	112
金山町				17	3	1	26			120	4			1	172
昭和村				7	1		18			59	38			1	124
会津美里町	1			45	6	5	130	5	4	695	20			6	917
高速道路 管轄外				10			1			3				3	17
合 計	10		5	718	90	52	1,328	35	93	6,250	460			101	9,142

# 市町村別救急搬送人員

平成26年1月1日～平成26年12月31日

	搬 送 人 員														
	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転搬 院送	医搬 師送	資器等 器材送	その 他	
会津若松市	5		2	503	51	29	746	28	52	3,704	169			3	5,292
磐梯町				18	3		38			110	34			1	204
猪苗代町			4	131	14	12	148	2	3	550	87			1	952
会津坂下町	4			74	9	5	107		4	527	59				789
湯川村				15	1	1	20			87					124
柳津町				14	1		34		1	176	2				228
三島町				6	1		9			48	45			2	111
金山町				19	3	1	26			118	4			2	173
昭和村				6	1		17			55	38			1	118
会津美里町	1			49	6	6	124	5	3	667	20			1	882
高速道路 管轄外				8			1			3					12
合 計	10		6	843	90	54	1,270	35	63	6,045	458			11	8,885

救  
急

# 署所別救急出場件数

平成26年1月1日～平成26年12月31日

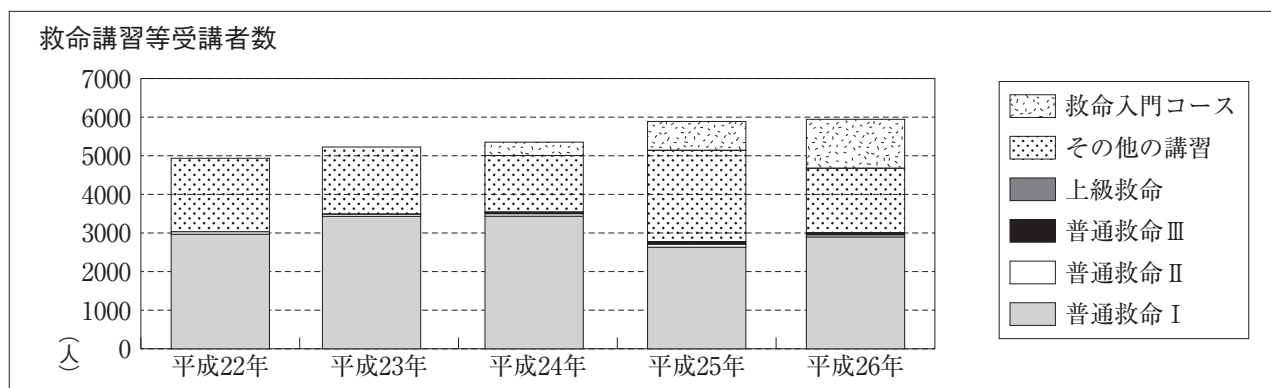
	出 場 件 数														
	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転搬 院送	医搬 師送	資器等 器材送	その 他	
会津若松消防署	6		1	269	25	10	472	20	44	2,103	74			57	3,081
城南分署				102	16	16	218	6	22	1,239	47			14	1,680
小松出張所	1			36	4	3	61	4	6	339	17			5	476
十文字出張所				38	3	2	65		4	312	33			3	460
猪苗代消防署			3	86	14	12	153	2	3	569	91			7	940
磐梯出張所			1	39	6	1	56	1	1	209	34			3	351
会津坂下消防署	3			69	10	5	112		7	545	57			3	811
柳津出張所				15	1		36		4	173	4			2	235
三島出張所				6	1		9		1	61	43			1	122
金山出張所				16	3	1	27			115	4			1	167
昭和出張所				7	1		17			59	38			1	123
会津美里消防署				35	6	2	102	2	1	526	18			4	696
合 計	10		5	718	90	52	1,328	35	93	6,250	460			101	9,142

# 署所別救急搬送人員

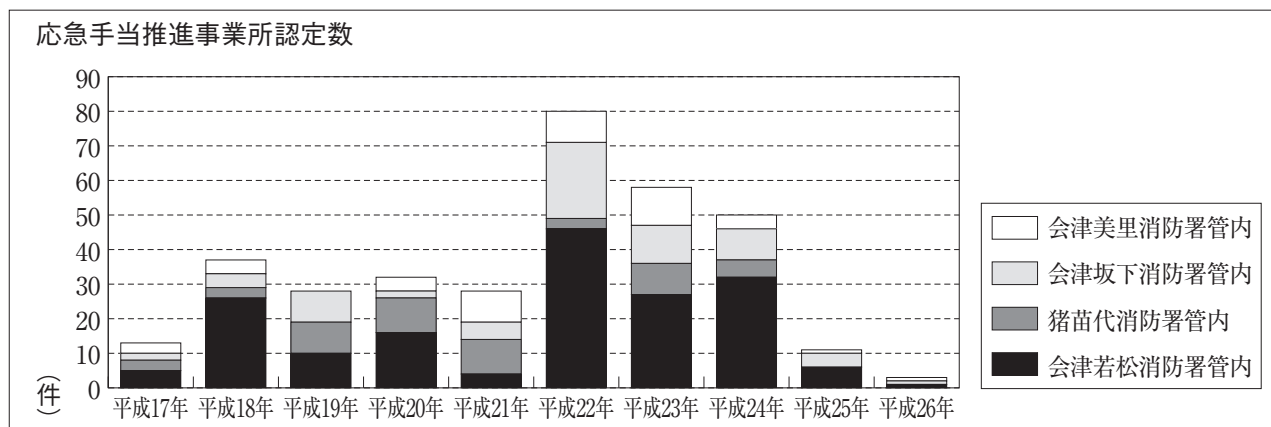
平成26年1月1日～平成26年12月31日

	搬 送 人 員														
	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
											転搬 院送	医搬 師送	資器等 器材送	その 他	
会津若松消防署	6		1	300	25	11	454	20	35	2,027	74			2	2,955
城南分署				115	16	16	209	6	14	1,198	47				1,621
小松出張所	1			43	4	4	58	4	4	330	17				465
十文字出張所				46	3	2	57		1	302	33			1	445
猪苗代消防署			4	123	14	12	148	2	3	556	90			1	953
磐梯出張所			1	50	6	1	51	1		200	33			1	344
会津坂下消防署	3			80	10	5	108		4	529	57				796
柳津出張所				17	1		34		1	171	4				228
三島出張所				7	1		9			60	43			2	122
金山出張所				18	3	1	27			113	4			2	168
昭和出張所				6	1		16			55	38			1	117
会津美里消防署				38	6	2	99	2	1	504	18			1	671
合 計	10		6	843	90	54	1,270	35	63	6,045	458			11	8,885

# 応急手当普及啓発状況



- 1 応急手当の普及については、国の通知に基づき当消防本部が「会津若松地方広域市町村圏整備組合消防本部応急手当の普及啓発活動推進に関する実施要綱」を制定し啓発活動に取り組んでおり、平成26年は5,944人が応急手当の講習を受講した。
- 2 応急手当の方法は、5年に1度世界的に見直しが図られているところであり、ガイドライン2010の公表により、日本版ガイドラインも平成24年に見直されたことに伴い、当消防本部実施要綱にも改正が加えられた。
- 3 ガイドライン2010により、それまで主に成人を主体に実施されていた応急手当に「普通救命講習Ⅲ」として「小児・乳児」を対象とした講習会が新設された。
- 4 ガイドライン2010より、「救命入門コース」が新設された。これは、時間的な制約や年齢などのため、従来型の講習への参加が難しい住民を対象とするものであり、併せて普通救命講習へ繋げるための講習である。
- 5 上記の救命講習等の他、「応急手当普及員講習」を実施し、事業所等における応急手当の指導者を養成し、「応急手当普及員」として応急手当の普及に取り組んでいる。



- 1 応急手当推進事業所の認定は、圏域内における応急手当の普及と救命率の向上を目的として、当消防本部が行う事業である。一定の条件を満たす事業所には、消防本部消防長より認定証が交付される。事業を開始した平成17年から平成26年までに、340の事業所が認定を受けている。
- 2 認定要件は以下のとおり
  - (1) 実施要綱に定める講習会を修了した者が、従業員数が30人未満の事業所にあつては、1人以上、従業員数が30人以上の事業所にあつては、2人以上とする。
  - (2) 自動体外式除細動器（AED）を設置し、営業時間又は開場時間に常時前号の講習会を修了した者が勤務している事業所。

救急



# 平成26年度 導入車両

## 広報車



- ◆諸元表◆ 車名 トヨタカラーフィールダー 会津若松消防署配置
- |   |                                     |                                     |                                     |  |
|---|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 型式/DBA-NZE164G | <input type="checkbox"/> 全長/4,360mm | <input type="checkbox"/> 全幅/1,690mm | <input type="checkbox"/> 全高/1,700mm | <input type="checkbox"/> 車両総重量/1,515kg |
| <input type="checkbox"/> 排気量/1,500cc    | <input type="checkbox"/> 定員/5名      | <input type="checkbox"/> 駆動方式/4WD   | <input type="checkbox"/> 艤装/成田合名    |  |

## 乗用車



- ◆諸元表◆ 車名 トヨタカラーフィールダーハイブリッド 消防本部配置
- |   |                                     |                                     |                                     |  |
|---|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 型式/DAA-NKE165G | <input type="checkbox"/> 全長/4,360mm | <input type="checkbox"/> 全幅/1,690mm | <input type="checkbox"/> 全高/1,470mm | <input type="checkbox"/> 車両総重量/1,455kg |
| <input type="checkbox"/> 排気量/1,500cc    | <input type="checkbox"/> 定員/5名      | <input type="checkbox"/> 駆動方式/2WD   |                                     |  |

機  
械

# 消防車両等の配置状況

平成27年4月1日現在

種 別		署 所 別													計
		消 防 本 部	会 津 若 松 消 防 署	城 南 分 署	小 松 出 張 所	十 文 字 出 張 所	猪 苗 代 消 防 署	磐 梯 出 張 所	会 津 坂 下 消 防 署	柳 津 出 張 所	三 島 出 張 所	金 山 出 張 所	昭 和 出 張 所	会 津 美 里 消 防 署	
ポンプ車	普通ポンプ車		2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	14
	水槽付ポンプ車		1	2			1		1					1	6
特殊車	小型動力ポンプ付水槽車		1												1
	普通化学車		1												1
	梯子車		1												1
	救助工作車		1												1
	資材搬送車			1											1
その他の緊急車	調査車		1												1
	支援車			1											1
	指揮車	1	1	1			1		1				1	6	
	広報車	1	2		1	1	1	1	1	1	1	1	1	13	
救急車両	高規格救急車		2	1			1		1				1	6	
	普通救急車		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	
その他の車両	消火通報訓練車			1										1	
	乗用車	4												4	
計		6	14	9	3	3	6	3	7	3	3	3	3	6	69



# 消防資器材装備状況

平成27年4月1日現在

分類	資器材名称	合計	若松	城南	小松	十文字	猪苗代	磐梯	坂下	柳津	三島	金山	昭和	美里	備考	
放水器具	小型動力ポンプ	1		1												
	放水銃	4		1			2		1							
	高低発砲ノズル	8	3	1		1	1		1					1		
	ジェットシューター	70	12	8	4	4	8	4	8	3	3	4	4	8	背負い式 18ℓ	
	ラインプロポーションナー	9	1	2	1	1	1	1	1						1	
化学消火剤(ℓ)	1600	680	160			200	160	140	140						120	
救助器具	油圧式救助器具	6	1	1			1		1			1		1	スプレッダー・カッター	
	〃	3	1				1							1	ラムシリンダー	
	〃	10	1			1	1	1	1	1	1	1	1	1	ポートパワー	
	空気式救助マット	1	1												エアーマイティ	
	救命索発射銃	4	2	2												
	送排風機	4	1	3												
	携帯発電機	35	8	4	2	2	3	2	3	2	2	2	2	3		
	救命ボート	2		1					1							ゴムボート
	船外機	2		1					1							
	救命胴衣	63	24	4	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	7	
	山岳救助器具	1	1													
	簡易画像探索機	1	1													
熱画像探査機	1	1														
スケッドストレッチャー	1	1														
バスケットストレッチャー	8	2	2				1		1			1		1		
破壊器具	エアーソー	4	2				1		1							
	エアーカッター	1	1													
	酸素溶断機	1	1													
	チェーンソー	2					1		1							
	エンジンカッター	10	2		1		1	1	1		1	1	1	1		
	カッターエッジソー	4	1				1		1						1	
削岩機	1	1														
保護器具	耐熱性防火被服	5	2	3												
	劇毒物防護服	8	5				3									
	放射性防護服	2		2												
	化学防護服	9		5			2		2							
	耐電用手袋	25	13	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	高圧用
	耐電用手袋	51	6	6	3	3	6	3	6	3	3	3	3	6	6	低圧用
空気呼吸器	89	34	11	3	3	9	3	9	3	2	3	2	7	7	陽圧式	
潜水器具	10		10													
測定器具	毒性ガス測定器	6	2	1			1		1						1	
	放射能測定器	4	3	1												
	複合ガス検知器	9	1	1	1	1	1	1	1			1		1	可燃性、酸素、硫化水素、一酸化炭素	
	可燃性ガス測定器	12	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	北川式
救急器具	酸素吸入器	17	2	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2		
	パルスオキシメーター	17	2	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2	NEC・GE	
	自動心マッサージ器	17	2	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2	ルーカス・コムスタット	
	携帯除細動器	18	4	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2		
	輸液ポンプ	6	2	1			1		1						1	
	ショックパンツ	17	2	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2	大人・子供用セット	
	喉頭鏡	17	2	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2		
マギール鉗子	17	2	2	1	1	2	1	2	1	1	1	1	2			
蒸気滅菌器	1	1													オートクレーブ	

機  
械

# 配 置 車 両 一 覧

平成27年 4月1日現在

所属	車 名	車 種	主 要 装 備			登録年月	車 齢 (年.月)
			種 別	特殊機装等	機装メーカー		
消 防 本 部	乗 用 車	トヨタ カローラフィールダー	普通自動車	ハイブリット車		平成26年 8月	8ヶ月
	乗 用 車	トヨタ ノア	普通自動車	4WD-AT		平成21年 6月	5年10ヶ月
	乗 用 車	トヨタ クラウン	普通自動車	4WD-AT		平成 8年 7月	18年9ヶ月
	乗 用 車	トヨタ ラッシュ	普通自動車	4WD-AT		平成24年 6月	2年10ヶ月
	広 報 車	ダイハツ マックス	広報車	4WD-AT	会津自動車工業	平成15年10月	11年6ヶ月
本部指揮1	スバル レガシー ワゴン	指揮車	4WD-AT	桐生工業	平成11年 7月	15年9ヶ月	
会 津 若 松 消 防 署	若 松 1	いすゞ フォワード	水槽付ポンプ車	2,000ℓ 水槽	日本機械	平成 8年12月	18年4ヶ月
	若 松 2	トヨタ ダイナ	CD-I型ポンプ車	4WD	ネイチヤー	平成22年 3月	5年1ヶ月
	若 松 3	トヨタ ダイナ	CD-I型ポンプ車	4WD	モリタ	平成18年12月	8年4ヶ月
	梯 子 車	日野 LDG-PR1APBF	30m級はしご付	4WS	モリタ	平成25年10月	1年6ヶ月
	水 槽 1	三菱ふそう グレート	大型水槽車	小型ポンプ付 10,000ℓ 水槽	日本造機	平成 7年 2月	20年2ヶ月
	救 工 1	日野 レンジャー	II型救助工作車	クレーン・ウインチ 4WD	帝国繊維	平成19年10月	7年6ヶ月
	化 学 1	日野 レンジャー	化学車	水タンク1,300ℓ 薬剤タンク500ℓ	モリタ	平成25年 3月	2年1ヶ月
	原 調 車 1	トヨタ ハイエース	原因調査車	4WD-AT	福島トヨペット	平成 8年 3月	19年1ヶ月
	救急若松1	トヨタ ハイエース	高規格救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成24年 3月	3年1ヶ月
	救急若松2	トヨタ グランビア	高規格救急車	4WD-AT・4WS	トヨタテクノクラフト	平成17年 3月	10年1ヶ月
	救急若松3	トヨタ グランビア	普通救急車	4WD-AT・4WS	トヨタテクノクラフト	平成14年10月	12年6ヶ月
若松指揮1	トヨタ サーフ	指揮車	4WD-AT	福島トヨタ	平成17年 4月	10年0ヶ月	
若 松 20	トヨタ サクシード	広報車	4WD-AT	成田合名	平成25年 8月	1年8ヶ月	
若 松 21	トヨタ カローラフィールダー	広報車	4WD-AT	成田合名	平成26年10月	6ヶ月	
城 南 分 署	支 援 1	三菱ふそう ローザ	支援車	マイクロバス	三菱ふそう	平成 8年 8月	18年8ヶ月
	城 南 1	いすゞ フォワード	水槽付ポンプ車	2,000ℓ 水槽	GMいちはら	平成11年12月	15年4ヶ月
	城 南 2	三菱ふそう キャンター	CD-I型ポンプ車	4WD	日本機械	平成 5年10月	21年6ヶ月
	城 南 3	三菱ふそう キャンター	水槽付ポンプ車	1,500ℓ 水槽	日本造機	平成 6年12月	20年4ヶ月
	救急城南1	トヨタ ハイエース	高規格救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成20年 2月	7年2ヶ月
	救急城南2	トヨタ グランビア	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成13年10月	13年6ヶ月
	城南指揮1	三菱 パジェロ	指揮車	4WD-AT	東邦自動車	平成23年 7月	3年9ヶ月
	資 材 1	トヨタ ダイナ	資材搬送車	4WD	福島トヨタ	平成14年10月	12年6ヶ月
消火通報訓練車	マツダ タイタン	消火訓練車		宝くじ協会寄贈	平成17年 8月	9年8ヶ月	
小 松 出 張 所	小 松 1	日野 デュトロ	CD-I型ポンプ車	4WD	GMいちはら	平成25年12月	1年4ヶ月
	救急小松1	トヨタ ハイエース	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成21年 1月	6年3ヶ月
	小 松 20	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	会津中央自動車商会	平成23年10月	3年6ヶ月
十 字 出 張 所	十 文 字 1	日野 デュトロ	CD-I型ポンプ車	4WD	GMいちはら	平成24年 3月	3年1ヶ月
	救急十文字1	トヨタ ハイエース	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成23年 2月	4年2ヶ月
	十 文 字 20	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	成田合名	平成21年 9月	5年7ヶ月

所属	車名	車種	主要装備			登録年月	車齢 (年.月)
			種別	特殊機装等	機装メーカー		
猪苗代消防署	猪苗代1	いすゞ フォワード	水槽付ポンプ車	1,500ℓ水槽 4WD	GMいちはら	平成12年12月	14年4ヶ月
	猪苗代2	三菱ふそう キャンター	CD-I型ポンプ車	4WD	日本機械	平成8年12月	18年4ヶ月
	救急猪苗代1	トヨタ ハイエース	高規格救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成25年10月	1年6ヶ月
	救急猪苗代2	トヨタ グランビア	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成17年3月	10年1ヶ月
	猪苗代指揮1	三菱 パジェロ	指揮車	4WD-AT	ミツビシテクノ	平成15年11月	11年5ヶ月
	猪苗代20	スバル プレオ	広報車	4WD-AT	会津自動車工業	平成16年9月	10年7ヶ月
磐梯出張所	磐梯1	日野 デュトロ	CD-I型ポンプ車	4WD	ネイチヤー	平成25年12月	1年4ヶ月
	救急磐梯1	トヨタ ハイエース	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成18年12月	8年4ヶ月
	磐梯20(広報)	スズキ ジムニー	広報車	4WD-AT	会津中央自動車商会	平成24年8月	2年8ヶ月
会津坂下消防署	坂下1	三菱ふそう ファイター	水槽付ポンプ車	1,500ℓ水槽 4WD	日本機械	平成15年12月	11年4ヶ月
	坂下2	三菱ふそう キャンター	CD-I型ポンプ車	4WD	日本造機	平成10年12月	16年4ヶ月
	坂下3	三菱ふそう キャンター	CD-I型ポンプ車	4WD	日本ドライケミカル	平成9年12月	17年4ヶ月
	救急坂下1	トヨタ ハイエース	高規格救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成25年10月	1年6ヶ月
	救急坂下2	トヨタ グランビア	普通救急車	4WD-AT	セントラル自動車	平成11年11月	15年5ヶ月
	坂下指揮1	三菱 パジェロ	指揮車	4WD-AT	東邦自動車	平成22年7月	4年9ヶ月
	坂下20	スバル プレオ	広報車	4WD-AT	会津自動車工業	平成16年9月	10年7ヶ月
柳津出張所	柳津1	トヨタ ダイナ	CD-I型ポンプ車	4WD	モリタ	平成20年12月	6年4ヶ月
	救急柳津1	トヨタ ハイエース	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成23年11月	3年5ヶ月
	柳津20	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	会津中央自動車商会	平成23年10月	3年6ヶ月
三島出張所	三島1	三菱ふそう キャンター	CD-I型ポンプ車	4WD	日本造機	平成8年3月	19年1ヶ月
	救急三島1	トヨタ グランビア	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成15年9月	11年7ヶ月
	三島20	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	会津中央自動車商会	平成23年10月	3年6ヶ月
金山出張所	金山1	トヨタ ダイナ	CD-I型ポンプ車	4WD	モリタ	平成23年2月	4年2ヶ月
	救急金山1	トヨタ グランビア	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成17年4月	10年0ヶ月
	金山20	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	東邦自動車	平成22年9月	4年7ヶ月
昭和出張所	昭和1	いすゞ エルフ	CD-I型ポンプ車	4WD	日本機械	平成8年1月	19年3ヶ月
	救急昭和1	トヨタ ハイエース	普通救急車	4WD-AT	トヨタテクノクラフト	平成18年12月	8年4ヶ月
	昭和20	ダイハツ テリオスキッド	広報車	4WD-AT	成田合名	平成21年9月	5年7ヶ月
会津美里消防署	美里1	日野 レンジャー	水槽付ポンプ車	1,500ℓ水槽 4WD	GMいちはら	平成25年3月	2年1ヶ月
	美里2	日野 デュトロ	CD-I型ポンプ車	4WD	GMいちはら	平成24年2月	3年2ヶ月
	救急美里1	トヨタ グランビア	高規格救急車	4WD-AT・4WS	トヨタテクノクラフト	平成15年11月	11年5ヶ月
	救急美里2	トヨタ グランビア	普通救急車	4WD-AT	セントラル自動車	平成19年7月	7年9ヶ月
	美里指揮1	三菱 パジェロ	指揮車	4WD-AT	東邦自動車	平成22年7月	4年9ヶ月
	美里20	スバル プレオ	広報車	4WD-AT	会津自動車工業	平成18年10月	8年6ヶ月





## 通信指令の現況

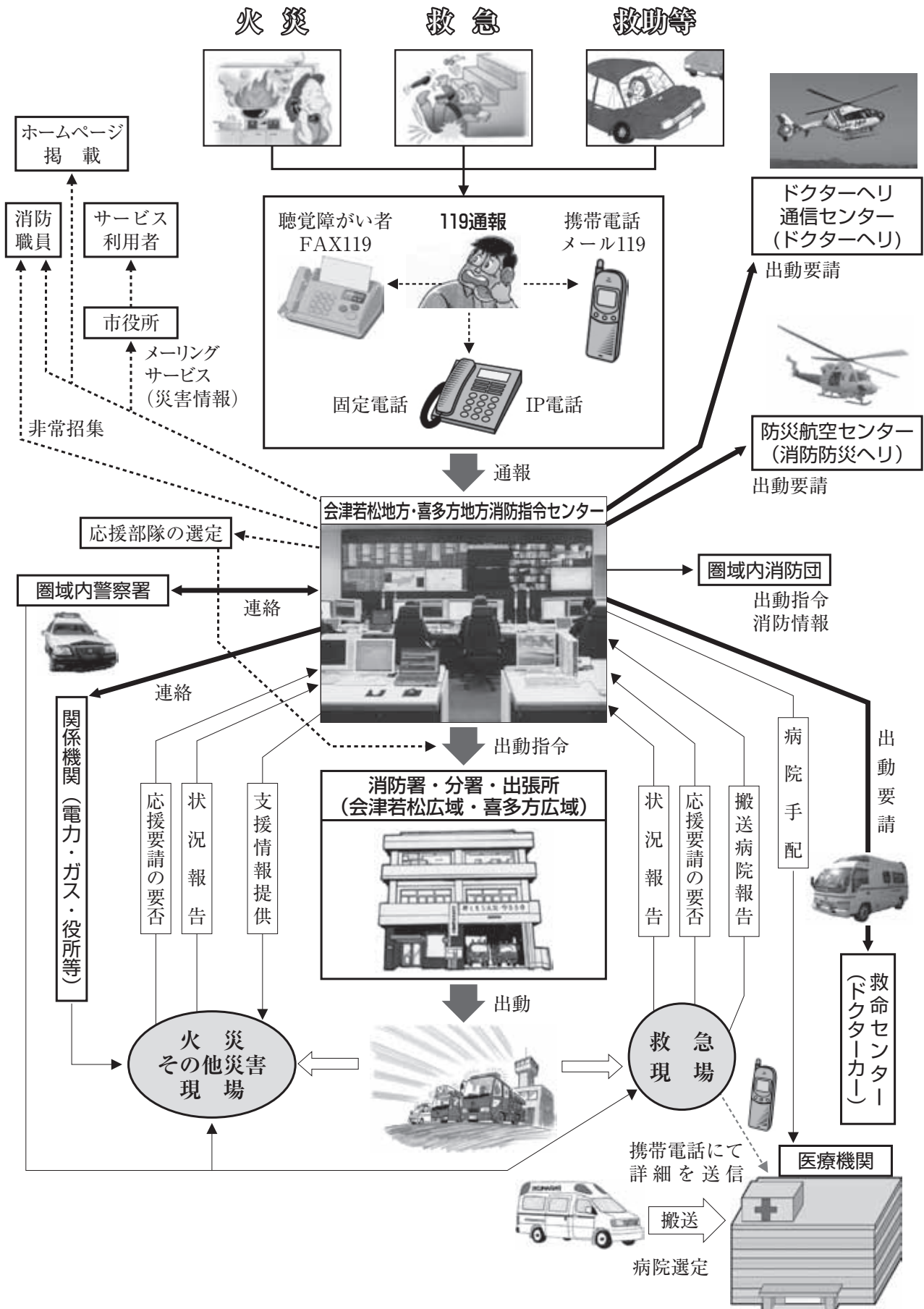
広域化の推進や、消防体制の強化などの目標を掲げ、平成23年度に会津若松地方及び喜多方地方消防通信指令事務協議会を設置し、高機能消防指令システムを導入。平成24年3月1日から「会津若松地方・喜多方地方消防指令センター」として運用を開始しております。

災害通報の受信エリアが拡大しましたが、「統合型位置情報通知システム」の導入により、災害地点を特定する時間を大幅に短縮することが可能となりました。

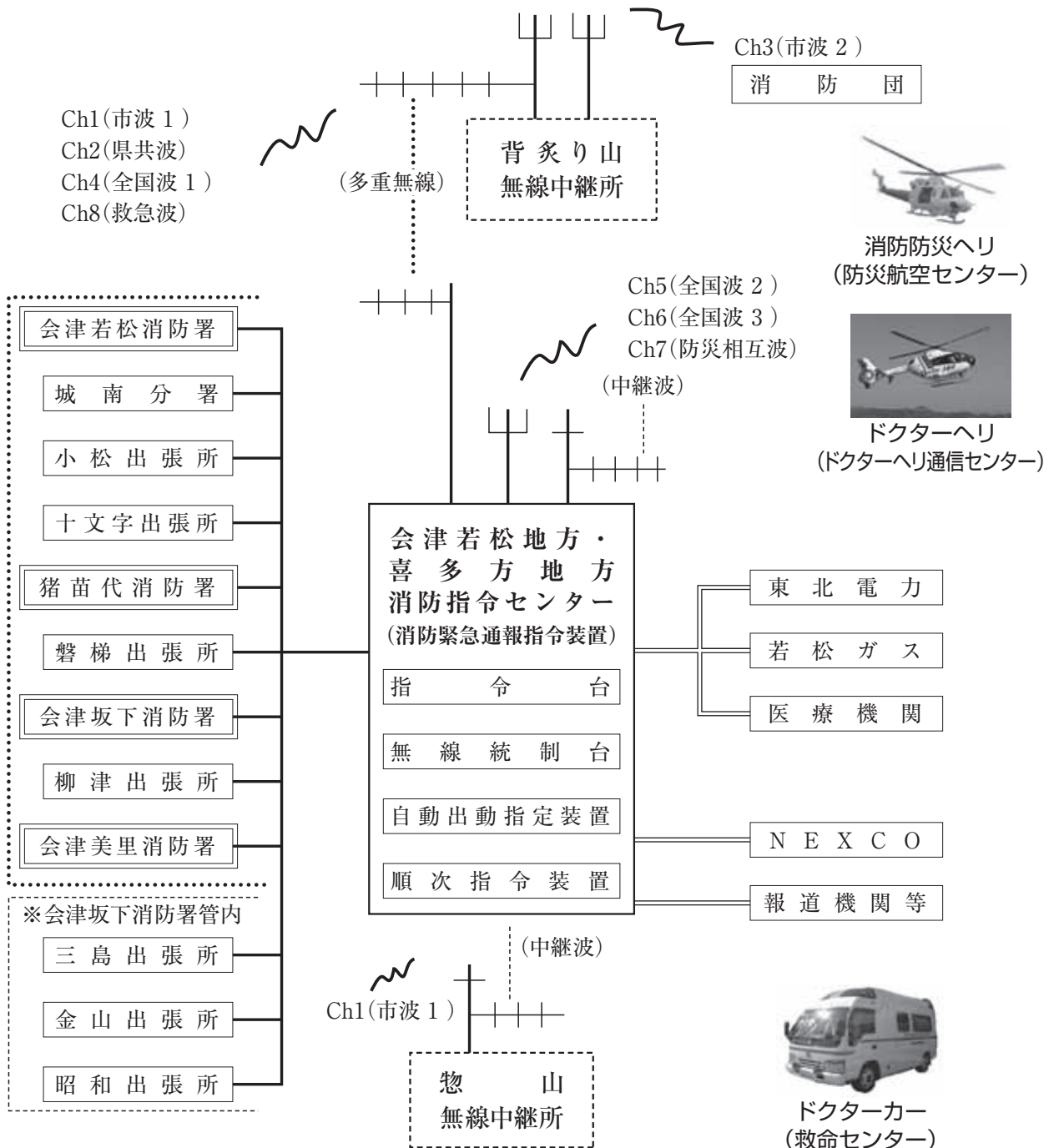
また、最新鋭の通信指令装置機能を活用することで現場到着時間の短縮、現場活動支援の強化、大災害への対応力の強化、情報の集中管理化が従前よりも図られています。

デジタル無線整備については、平成26年度に行った基地局施設設置及び無線機器製作に引き続き、製作機器の据付け及び調整作業に着手し、降雪期前の仮運用開始を目標として工程管理を行なっております。

# 災害通信体系



# 有・無線通信系統図



凡 例

—— 指令システムネットワーク (ビジネスイーサ回線)	Ch1(市波 1)	151.63 MHz
—— 専用回線等	Ch2(県共波)	152.81 MHz
..... 多重中継波(背炙り中継局エリア) 369.7375/387.7375MHz	Ch3(市波 2)	149.71 MHz
----- 中継波(惣山中継局エリア) 151.15MHz	Ch4(全国波 1)	150.73 MHz
	Ch5(全国波 2)	148.75 MHz
	Ch6(全国波 3)	154.15 MHz
	Ch7(防災相互波)	158.35 MHz
	Ch8(救急波) 基	146.86 MHz
	移	142.86 MHz

通  
信

# 通 信 施 設 一 覧

署 所 別 区 分		会津若松地方・ 喜多方地方 消防指令センター (会津若松分)	消防本部	会 津 若 松 消 防 署 管 内			
				会津若松 消 防 署	城南分署	小松出張所	十 文 字 出 張 所
消 防 緊 急 通 信 指 令 装 置 (Ⅱ型)	統合型位置情報通知装置	1					
	指 令 台	3					
	指 揮 台	1					
	無 線 統 制 台	1					
	指令情報出力装置		1	1	1	1	1
	火災報知専用電話(固定・IP)	8					
	火災報知専用電話(携帯)	4					
	衛星着信専用	1					
	119番回線等録音装置	1					
	消防緊急通報FAX回線	1					
	消防案内テレフォントーキー	1					
	順次指令装置(5回線)	1					
	車両運用端末装置(Ⅱ型)			6	3	2	2
	車両運用端末装置(Ⅲ型)		1	7	5		
	駆込通報装置(監視カメラ含)		1	1	1	1	1
消防OA用パソコン	1	3	4	2	1	1	
データメンテナンスパソコン	3						
消 防 救 急 無 線	固 定 局	○若消本部 ・背炙り向多重 ・惣山中継 ○中継若消背炙り ・指令向多重 ・市波1 ○中継若消惣山 ・本部中継 ・市波1		○若消若松 ・市波1		○若消小松 ・市波1	○若消十文字 ・市波1
	基 地 局	○若消本部 …背炙り ○若消本部 …惣山 ○若消会津 …通信指令センター ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1 ・全国波2 ・全国波3 ・防災相互波 ・救急波		○若消若松 ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1		○若消小松 ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1	○若消十文字 ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1
	陸上移動局…車載		6	13	9	3	3
	陸上移動局…携帯	2	1	13	4	3	3
	受令機(オートスキャン)		2	1	1	1	1
署活系移動局…携帯		2	15	6	4	4	



平成27年4月1日現在

猪苗代消防署管内		会津坂下消防署管内					会津美里消防署	関係機関等	合計
猪苗代消防署	磐梯出張所	会津坂下消防署	柳津出張所	三島出張所	金山出張所	昭和出張所			
									1
									3
									1
									1
1	1	1	1	1	1	1	1		13
									8
									4
									1
									1
									1
	2	1	2	2	2	2	1		25
5		4					4	1(※1)	27
1	1	1	1	1	1	1	1		13
3	1	3	1	1	1	1	3		26
									3
○若猪苗代 ・市波1	○若磐梯 ・市波1	○若坂下 ・市波1	○若柳津 ・市波1	○若三島 ・市波1	○若金山 ・市波1	○若昭和 ・市波1	○若美里 ・市波1		14
○若猪苗代 ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1 ・全国波2 ・全国波3 ・救急波	○若磐梯 ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1	○若坂下 ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1 ・全国波2 ・全国波3	○若柳津 ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1	○若三島 ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1 ・全国波2 ・全国波3 ・防災相互波	○若金山 ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1	○若昭和 ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1	○若美里 ・市波1 ・市波2 ・県共波 ・全国波1		14
6	3	7	3	3	3	3	6	1	69
6	3	6	3	3	3	3	5		58
1	1	1	1	1	1	1	1		14
7	4	7	4	4	4	4	7		72

※関係機関の1については、ドクターカー

# 災害等通報取扱状況（消防指令センター）

平成26年1月1日～平成26年12月31日

		消防指令センター				センター計	署所覚知		総計
		119	IP 119	携帯 119	その他		駆け込み	その他	
災害等	火災	43	39	87	16	185	1	12	198
	(重複)	(24)	(31)	(52)	(5)	(112)			(112)
	救急	6,023	2,555	2,930	212	11,720	459	474	12,653
	(重複)	(200)	(98)	(243)	(11)	(552)			(552)
	救助	46	15	74	16	151		19	170
	(重複)	(10)	(1)	(17)	(3)	(31)			(31)
	その他災害	158	37	173	104	472	2	85	559
(重複)	(10)	(8)	(15)		(33)			(33)	
(誤報)	(5)		(3)	(6)	(14)		(1)	(15)	
災害等計		6,270	2,646	3,264	348	12,528	462	590	13,580
いたずら等	いたずら	41	6	48	6	101			101
	間違い	263	93	335	88	779			779
	無応答	92	23	162	87	364			364
いたずら等計		396	122	545	181	1,244	0	0	1,244
その他	他消防本部へ転送		1	11		12			12
	問合せ	480	212	543	117	1,352	47		1,399
	訓練	652	206	77	14	949			949
	試験	555	7	35	19	616	404		1,020
その他計		1,687	426	666	150	2,929	451	0	3,380
総計		8,353	3,194	4,475	679	16,701	913	590	18,204

※ 「その他災害」…危害排除、非火災、安全・支援、調査、誤報等

※ 「他消防本部へ転送」…119通報を受理後、当該事案の管轄にあたる消防本部へ転送した件数です。

※ 「その他」の欄中、「問合せ」「試験」の署所覚知（駆け込み）の件数は、駆け込み通報装置からの問合せ及び駆け込み通報装置の機能試験の回数がかかります。

※ 平成26年1月1日から平成26年12月31日までの喜多方消防本部管内の通報件数も含まれます。

# 災害等通報取扱状況（会津若松消防本部管内）

平成26年1月1日～平成26年12月31日

		消防指令センター（若松管内）				センター 計	署所覚知		総計
		119	I P 119	携帯 119	その他		駆け込み	その他	
災 害 等	火 災	29	27	59	9	124	1	6	131
	（重複）	(13)	(20)	(36)	(5)	(74)			(74)
	救 急	4,486	1,999	2,348	192	9,025	279	260	9,564
	（重複）	(161)	(71)	(183)	(7)	(422)			(422)
	救 助	40	13	61	13	127		12	139
	（重複）	(10)	(1)	(14)	(2)	(27)			(27)
	その他災害	123	34	151	93	401	2	48	451
（重複）	(8)	(8)	(11)	(2)	(29)			(29)	
（誤報）	(3)		(2)	(6)	(11)		(1)	(12)	
災害等 計		4,678	2,073	2,619	307	9,677	282	326	10,285
いた ずら 等	いた ず ら	33	4	43	3	83			83
	間 違 い	191	66	277	72	606			606
	無 応 答	69	17	123	71	280			280
いたずら等 計		293	87	443	146	969			969
そ の 他	他消防本部へ転送		1	10		11			11
	問 合 せ	303	142	386	85	916	8		924
	訓 練	446	153	49	8	656			656
	試 験	367	4	35	19	425	308		733
その他 計		1,116	300	480	112	2,008	316		2,324
総 計		6,087	2,460	3,542	565	12,654	598	326	13,578

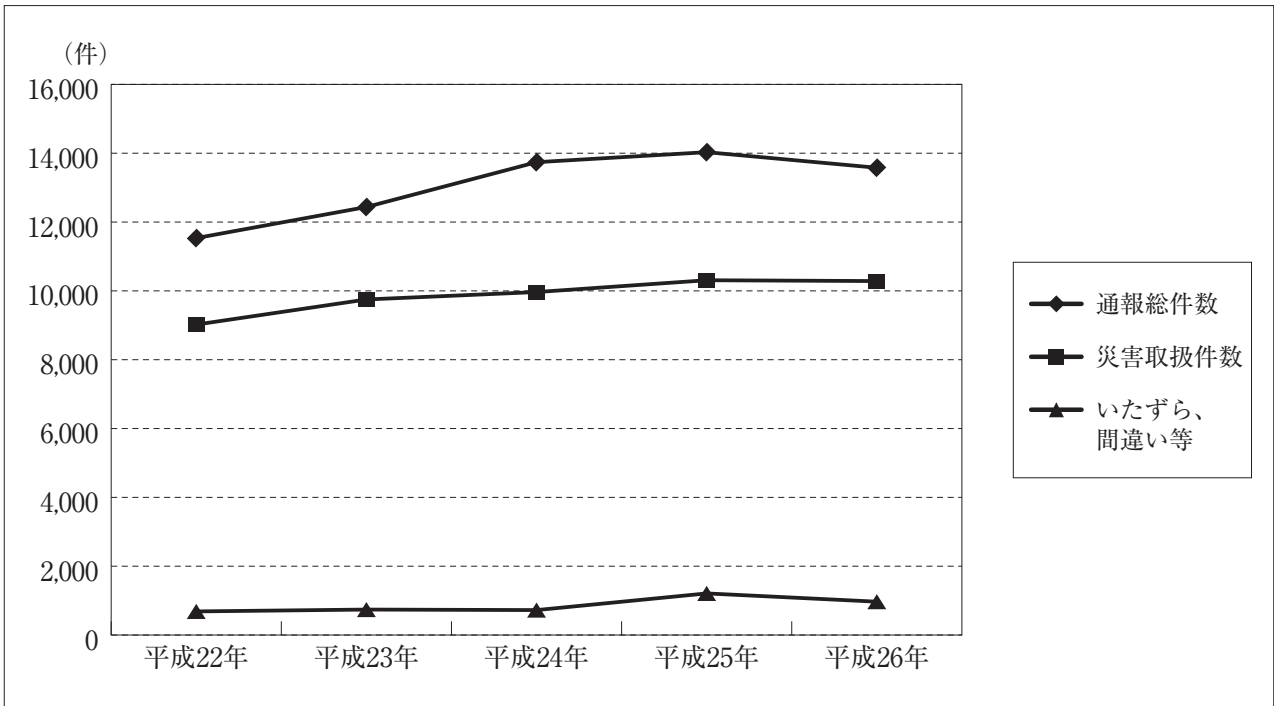
※ 「その他災害」…危害排除、非火災、安全・支援、調査、誤報等

※ 「他消防本部へ転送」…119通報を受理後、当該事案の管轄にあたる消防本部へ転送した件数です。

※ 「その他」の欄中、「問合せ」「試験」の署所覚知（駆け込み）の件数は、駆け込み通報装置からの問合せ及び駆け込み通報装置の機能試験の回数が計上されています。

通  
信

# 災害等通報取扱の推移（会津若松消防本部管内）

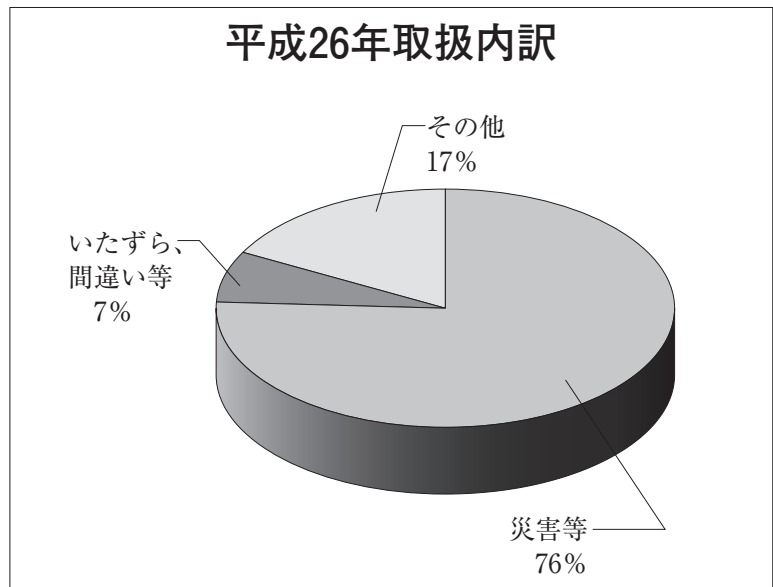


年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
通報総件数	11,534	12,437	13,739	14,030	13,578
災害取扱件数	9,021	9,750	9,966	10,309	10,285
いたずら、間違い等	686	740	725	1,209	969
その他	1,827	1,947	3,048	2,512	2,324

平成26年中における会津若松消防本部管内の通報総件数は13,578件あり、前年比で452件の減少となりました。

いたずら、間違い等については、969件と前年比で240件の減少となっており、市町村広報誌等による広報の効果が表れています。

その他の件数は、通報訓練や回線試験および問合せ等の合計件数です。



# 心肺停止状態における口頭指導状況

平成26年1月1日～平成26年12月31日

	口頭指導件数	バイスタンダー CPR件数	病院収容前 心拍再開件数	CPR実施予後		
				死 亡	重 症	中等症
火 災	1	1			1	
自 然 災 害						
水 難 事 故	1	1		1		
交 通 事 故	1	1		1		
労 働 災 害	1	1			1	
運 動 競 技						
一 般 負 傷	49	40	2	41	8	
加 害						
自 損 行 為	6	6	1	5	1	
急 病	140	106	19	124	16	
そ の 他						
計	199	156	22	172	27	0

※「その他」とは、転院搬送件数を計上したものの。

※「バイスタンダー」とは、救急現場に居合わせた人のことをいう。

※「CPR」とは、心肺蘇生法をいう。

通報内容から心肺停止状態と判断される事案のうち、指令課員による口頭指導を実施し、実際にバイスタンダーCPRが行なわれた割合は約8割と高く、心肺停止状態におけるバイスタンダーへの口頭指導の有効性があらわれています。

また、救命講習の受講経験者がバイスタンダーである事例も年々増加してきており、心肺蘇生法普及率の高まりも、バイスタンダーCPRの実施率を向上させている一因と推測されます。

心肺停止状態の場合、一刻も早くCPRを開始することが重要です。今後も更に応急処置や心肺蘇生法の普及啓発を進め、口頭指導を積極的に行い、バイスタンダーCPRの実施率を上げ、傷病者の病院収容前心拍の再開及び社会復帰率の向上に結びつけていきたいと思っております。

通  
信

# 消防案内電話着信度数（0242-25-1133）

平成26年1月1日～平成26年12月31日

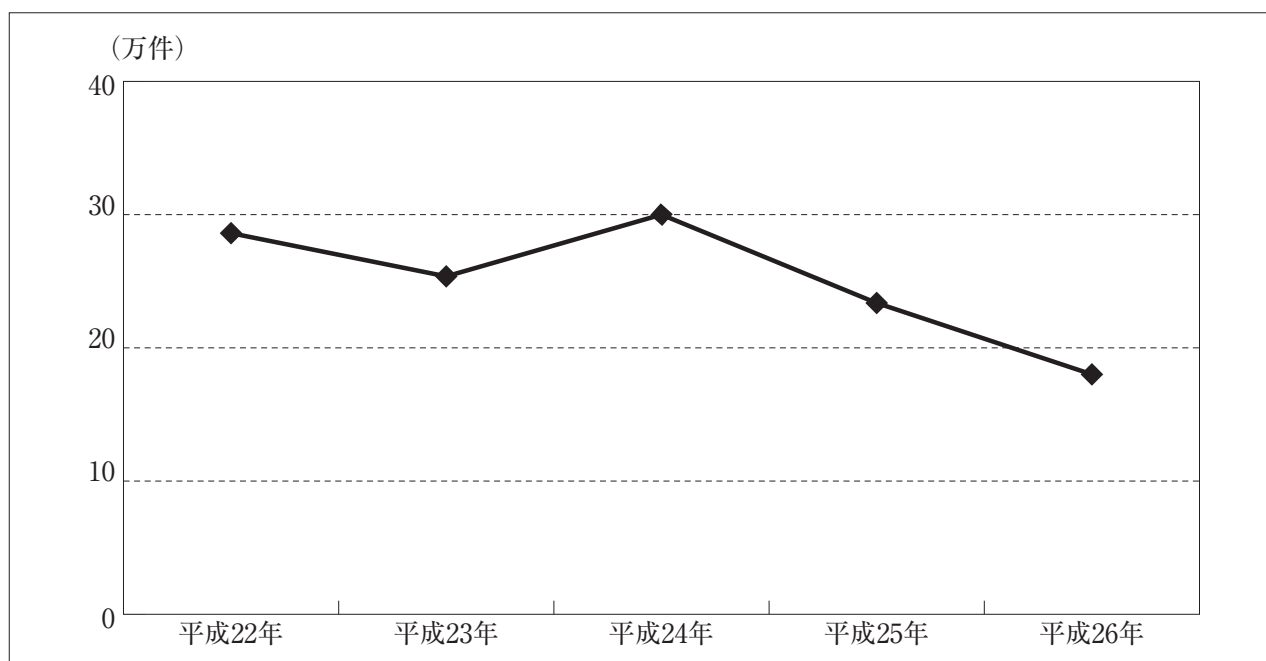
平成26年 月別着信度数

月別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
度数	4,616	20,528	8,897	24,962	18,342	29,582	
月別	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
度数	13,069	11,706	15,104	14,079	8,954	10,246	180,085

年別着信度数の推移

年別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
度数	286,082	253,648	299,984	233,678	180,085

年別着信度数の推移



消防案内電話では、災害出動案内のほかに夜間・休日の病院案内も実施しています。

平成26年における案内電話の利用件数は、180,085件と昨年比53,593件の減少となり、過去5年間の傾向をみると、横ばいから減少に転じている状態であり、市民情報メールや消防団員情報メールによる情報提供が理由と思われます。

しかし、緊急回線（119通報）の利用による問い合わせ件数は減少していないため、今後も、消防案内電話やメール配信サービス、ホームページ掲載などの情報提供方法を住民へ周知し、認知度を高めていかなければなりません。

# 消防団消防用無線設置状況

平成27年4月1日現在

無線機種別等 市町村名	無線設備（無線機台数）				基地局設置場所 「呼出名称」
	基地局	陸上移動局		受令機	
		車載	携帯		
会津若松市	1 (10W)	24 (10W)	59 (5W:46) (1W:13)	162	消防本部 「あいづしょうぼう」
磐梯町		4 (5W)		12	消防本部 「あいづしょうぼう」
猪苗代町	1 (10W)	8 (10W)	8 (1W)	19	猪苗代消防署 「わかしょういなわしろ」
会津坂下町	1 (10W)	9 (10W)	18 (5W)	57	会津坂下消防署 「わかしょうばんげ」
湯川村		4 (5W)		26	消防本部 「あいづしょうぼう」
柳津町				8	
会津美里町	1 (10W)	16 (10W:5) (5W:11)	2 (5W)	65	会津美里消防署 「わかしょうみさと」
計	4 (10W)	65 (10W:46) (5W:19)	87 (5W:66) (1W:21)	349	

当広域の上記市町村では、消防団の消防用無線として市町村波第2装置を装備しています。災害発生時には、出動指令及び災害現場の情報などを受信し、各種情報を交信する事でスムーズな活動と消防力の充実を図っています。







## 消 防 団 の 現 況

平成27年4月1日現在、当組合圏域内（1市7町2村）の消防団は全10団（分団数64分団）で、4,510人の団員が地域防災の最前線で活躍しています。

# 消防団員数・車両装備状況

平成27年4月1日現在

区分 市町村名	消防団員数等											車両装備状況													
	団 数	分 団 数	条 例 定 数	実 員	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	本 部 員	部 長	班 長	団 員	水 I A 型	C D I 型	C D II 型	B D I 型	B D II 型	B S I 型	B S II 型	小 型 動 力	ポ ン プ 積 載 車	小 型 動 力	ポ ン プ	計	
計	10	64	4,741	4,510	10	19	68	65	26	156	653	3,513	1	45	1	5				145	389	586			
会津若松市	1	19	1,436	1,350	1	5	19	19	10	59	195	1,042	1	19						24	123	167			
磐梯町	1	4	180	179	1	1	6	4		12	18	137		2						12	3	17			
猪苗代町	1	6	545	530	1	2	6	6	3	37	84	391		6		1				25	39	71			
会津坂下町	1	7	550	539	1	2	7	7	4		54	464		5		2				15	55	77			
湯川村	1	2	197	197	1	1	2	2	2	12	28	149		2						5	22	29			
柳津町	1	5	270	246	1	2	6	5		3	43	186		2						13	23	38			
三島町	1	2	188	169	1	1	2	1			14	150		1						12	7	20			
金山町	1	3	300	272	1	1	3	3	7	3	29	225		1		1				13	29	44			
昭和村	1	2	180	158	1	1	4	4		3	11	134								11	16	27			
会津美里町	1	14	895	870	1	3	13	14		27	177	635		7	1	1				15	72	96			

# 消防団員報酬額等の現況

平成27年4月1日現在

区分 市町村名	報酬額							諸手当						
	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員	出動手当		警 戒 手 当	訓 練 手 当	会 議 手 当	搜索手当	
								火 災	そ の 他				町 内 在 住 者	町 外 在 住 者
平均	190,000	132,600	91,700	68,000	55,333	44,100	25,500	1,485	1,420	1,400	1,393	1,340	1,507	10,000
会津若松市	217,000	144,000	101,000	65,000	52,000	35,000	27,000	1,500	1,500					
磐梯町	190,000	132,000	84,000	70,000	54,000	44,000	32,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	10,000
猪苗代町	184,000	124,000	92,000	67,000	45,000	37,000	28,000		1,000		1,000			
会津坂下町	203,000	150,000	107,000	78,000		45,000	24,000	1,940	1,940		1,940		1,940	
湯川村	196,000	133,000	95,000	80,000	56,000	46,000	26,000				1,100	1,100		
柳津町	173,000	124,000	96,000	68,000	62,000	47,000	24,000		1,500	1,500	1,500	1,500		10,000
三島町	185,000	118,000	78,000	59,000	59,000	49,000	23,000	1,500	1,500	1,500	1,500		1,500	10,000
金山町	179,000	123,000	88,000	69,000	58,000	48,000	24,000						1,500	10,000
昭和村	185,000	118,000	68,000	52,000	52,000	47,000	23,000		1,500		1,500	1,500	1,500	10,000
会津美里町	188,000	160,000	108,000	72,000	60,000	43,000	24,000			1,600	1,600	1,600	1,600	10,000

単位 (円)

# 年齢別消防団員数

平成27年4月1日現在

区分 市町村名	計	平均年齢	20歳未満	20歳以上25歳未満	25歳以上30歳未満	30歳以上35歳未満	35歳以上40歳未満	40歳以上45歳未満	45歳以上50歳未満	50歳以上55歳未満	55歳以上60歳未満	60歳以上
合計	4,510	39.8	17	184	608	1,002	980	602	353	274	230	260
会津若松市	1,350	38.8	3	28	167	292	331	213	118	92	68	38
磐梯町	179	33.4	3	17	41	43	44	18	3	6	1	3
猪苗代町	530	32.8	5	66	100	160	114	52	20	9	3	1
会津坂下町	539	35.7		17	83	165	130	87	36	13	5	3
湯川村	197	38.3		5	16	37	56	49	22	8	3	1
柳津町	246	41.7		3	17	47	50	37	27	36	20	9
三島町	169	47.2		5	13	13	26	15	21	23	21	32
金山町	272	47.9			13	12	20	23	24	36	49	95
昭和村	158	45.6	1	1	12	16	8	12	15	10	29	54
会津美里町	870	36.6	5	42	146	217	201	96	67	41	31	24

# 勤続年数別消防団員数

平成27年4月1日現在

区分 市町村名	計	平均年数	5年未満	5年以上10年未満	10年以上15年未満	15年以上20年未満	20年以上25年未満	25年以上30年未満	30年以上
合計	4,510	13.1	1,258	1,120	884	530	329	166	223
会津若松市	1,350	9.9	402	378	254	152	88	43	33
磐梯町	179	10.3	49	41	38	27	19		5
猪苗代町	530	9.8	173	138	117	63	28	8	3
会津坂下町	539	10.7	151	165	138	63	17	3	2
湯川村	197	11.8	37	41	51	40	15	11	2
柳津町	246	18.0	42	40	48	34	37	21	24
三島町	169	12.3	42	45	18	18	18	12	16
金山町	272	17.4	39	23	22	27	56	37	68
昭和村	158	22.0	27	19	18	13	12	10	59
会津美里町	870	8.9	296	230	180	93	39	21	11

